P-05C

取扱説明書　’11.7

docomo PRIME series

このたびは、「docomo PRIME series P-05C」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
P-05Cをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。

P-05Cの操作説明について

P-05Cの操作は、本書のほかに、「使いかたガイド」（本FOMA端末に搭載）や「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）で説明しています。

◆「取扱説明書」（本書）◆

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明

◆「使いかたガイド」（本FOMA端末に搭載）◆

よく使われる機能の概要や操作について説明
P-05Cから MENU ▶便利ツール▶使いかたガイド

◆「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）◆

すべての機能の詳しい案内や操作について説明
パソコンから　ドコモのホームページでダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※本書の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

- P-05C本体
（ルミックス　フォン　パネル P50、保証書含む）

- 電池パック P20

- 取扱説明書（本書）

- 本FOMA端末に対応したオプション品についてはP.101参照

本書のご使用にあたって

- 本書では「P-05C」を「FOMA端末」と表記させていただいております。
- 本書の手順や画面は、主に本体色「WHITE」のお買い上げ時の設定で記載しています。また、本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の手順や画面は、主にボタンを押す操作で記載しています。また、ボタンでもタッチパネルでも操作できる機能の場合は、ボタン操作を優先して記載しています。タッチパネルの操作についてはP.29参照。
- FOMAカード（緑色・白色）をご利用のお客様は、本書内に記載している「ドコモUIMカード」は「FOMAカード」と読み替えてください。

目次

※本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

FOMA端末について

- P-05Cは、W-CDMA･GSM/GPRS･無線LAN方式に対応しています。
- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル･地下･建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル･マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。
  しかし、W-CDMA･GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様はSSL/TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSL/TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL/TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、GMOグローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン、Entrust, Inc.、Go Daddy, Inc.
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ、伝言メモ、音声メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送･保管できます。
- 本書は、ドコモUIMカードをご使用の場合で記載しています。

SIMロック解除

本FOMA端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

P-05Cでできること

声の宅配便 ▶P.46

音声電話でメッセージを預かり、相手にメッセージを預かっていることをSMSで通知するサービスです。また相手が再生すると、メッセージが再生されたことをSMSでお知らせします。電話をかけるのと同じように簡単な操作で、メッセージを預けたり、再生することができます。

使いかたガイド ▶P.32

使いたい機能の操作方法をFOMA端末で確認できる便利な機能です。
手元に取扱説明書がなくても、すぐに調べられます。

iコンシェル ▶P.81

執事やコンシェルジュのように、お客様の生活をサポートするサービスです。お客様のさまざまなデータ（お住まいのエリア情報、メモ、スケジュール、トルカ、電話帳など）をお預かりし、メモやスケジュールの内容、生活エリアやお客様の居場所、趣味嗜好にあわせた情報を適切なタイミングでお届けします。

ecoモード ▶P.39

ディスプレイの明るさなどを調整することにより、電池の消費を抑えることができる機能です。また、電池残量に応じて自動でecoモードをONにすることができます。

■エコナビ ▶P.40
エコナビは、機器が自らムダを見つけて省エネする機能です。自動でecoモードに切り替わったときや、一定時間操作せずにワンセグが終了したときにお知らせアイコンを表示します。

ピクチャジャンプ ▶P.69

撮影した静止画などをタッチ操作でメールに添付したり、パナソニックの写真共有サイトPicMateやmixiなどに投稿したりできます。また、Wi-Fi機能を利用してパソコンにバックアップしたりすることもできます。

Wi-Fi ▶P.85

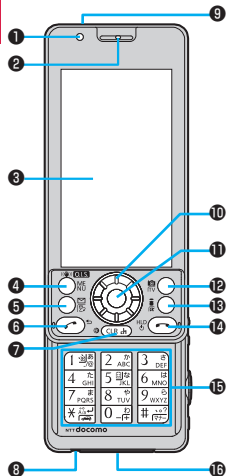
自宅や公衆の無線アクセスポイントからインターネットなどを利用することができます。また、FOMA端末をアクセスポイント（親機）にしてWi-Fi対応機器を接続することができます。

高画質カメラ ▶P.67

光学手ブレ補正を搭載し、約1320万画素の高画質カメラで暗い場所での撮影やフルHDなどもブレを抑えキレイに撮影できます。

DIGA/DLNA機器連携 ▶P.87

クライアントモードを利用して、P-05Cで撮影した静止画を外部機器で表示したり、DIGA機器で録画したテレビ番組などをP-05Cで再生したりできます。

各部の名称と機能

※FOMA端末を開くときや閉じるときは、FOMA端末を両手で持ち、上／下にスライドさせてください。また、その際にボタンに指が触れないようご注意ください。誤動作の原因となります。

❶光センサー
明るさを感知します。（手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。明るさを検知できないことがあります。）

❷受話口
相手の声をここから聞きます。

❸ディスプレイ／タッチパネル

❹(MENU)メニューボタン
メインメニューを表示します。

❺(✉)メールボタン
メールメニューを表示します。

❻開始ボタン
通話を開始します。

❼(CLR)クリアボタン／ｉチャネルボタン

❽送話口
自分の声をここから相手に送ります。

❾赤外線ポート
赤外線通信や赤外線リモコンに使用します。

❿(◎)スピードセレクター
機能操作やメニュー操作を行います。

⓫着信／充電ランプ
着信時や通話中、メール受信時、充電中などに光ります。

⓬カメラボタン／ワンセグボタン

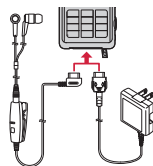
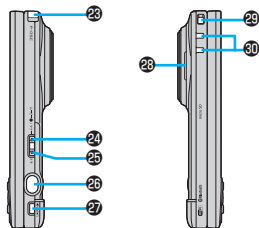
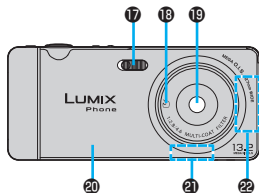
⓭ｉモードボタン／ｉアプリボタン

⓮電源／終了ボタン
電源の入／切や通話を終了します。

⓯ダイヤルボタン
電話番号や文字を入力します。

⓰外部接続端子
充電時およびイヤホン接続時などに使用する統合端子です。

イヤホンのご利用について
別売りの外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売の変換アダプタを接続してご利用ください。

外部接続端子用
ステレオイヤホンマイク 01（別売）接続例
ACアダプタ（充電）およびステレオイヤホンマイク 01（イヤホンマイク端子）の差込口が共通になっております。

ステレオイヤホンマイク 01　ACアダプタ

⑰フラッシュ

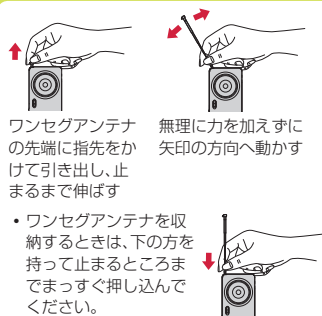
⑱ マーク
ICカードを搭載しています。おサイフケータイやiC通信を使用できます。

⑲カメラ
人や風景を撮影します。

⑳ルミックス　フォン　パネル
電池パック、ドコモUIMカード、microSDカードの付け外しをするときに取り外します。
ルミックス　フォン　パネル裏面のシールは、はがさないでください。
シールをはがすと、ICカードを読み書きできない場合があります。

㉑GPSアンテナ※

㉒FOMAアンテナ※

㉓ワンセグアンテナ
ワンセグ放送を受信します。

ワンセグアンテナの先端に指先をかけて引き出し、止まるまで伸ばす

無理に力を加えずに矢印の方向へ動かす

- ワンセグアンテナを収納するときは、下の方を持って止まるところまでまっすぐ押し込んでください。

㉔[▲]サイド▲ボタン
通話中に受話音量を上げます。

㉕[▼]サイド▼ボタン
通話中に受話音量を下げます。

㉖[シャッター]シャッターボタン
カメラで撮影します。

㉗マルチボタン
タスクメニューを表示します。

㉘スピーカー

㉙ストラップ取り付け穴

㉚充電端子

※アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

安全上のご注意 必ずお守りください

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁 止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指 示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、ドコモUIMカードの取り扱いについて〈共通〉

危険

禁止

高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。(ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- 電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
- FOMA端末の電源を切る。
- 電池パックをFOMA端末から取り外す。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

フラッシュの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のドコモUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてフラッシュを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で携帯電話が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部の表面には保護フィルム、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

注意

禁止

アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

ディスプレイの表面には、落下や衝撃などにより破損した場合の安全性確保（強化ガラスパネルの飛散防止）を目的とする保護フィルムがあります。このフィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。

フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。

また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質についてはP.13「材質一覧」参照。

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故の原因となります。

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁 止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指 示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタの取り扱いについて

警告

禁 止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁 止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁 止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁 止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁 止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁 止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁 止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指 示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V･24V
（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：
AC100V ～240V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指 示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。
指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指 示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指 示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモUIMカードの取り扱いについて

注意

指示

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
外装ケース	ディスプレイ面	PC ／ UV塗装
	電池面	ABS
	ダイヤルボタン側の側面、ディスプレイ側の側面、スピードセレクター面	ABS ／ UV塗装
	キャップ（スライド面）、シート部（スライド面）	PET
	金属部分（スライド面）	マグネシウム
外部接続端子		ステンレス鋼／ニッケルメッキ＋スズメッキ
外部接続端子カバー		PC、エラストマ／ UV塗装
カメラレンズ部		PMMA ／表面ハードコート＋ARコート＋撥水コート
サイド▲ボタン、サイド▼ボタン、マルチボタン		ABS ／ UV塗装
シート（電池収納部）		PC
充電端子		ベリリウム銅／ニッケルメッキ＋金メッキ
スピードセレクター、開始ボタン、クリアボタン／ｉチャネルボタン、電源／終了ボタン		PC ／ UV塗装
赤外線ポート部、フラッシュ部		PMMA
ダイヤルボタン面	ボタン部	PC ／ UV塗装
	シート部	PET、アクリルウレタン
ディスプレイパネル		ガラス、PET ／表面ハードコート
電池ストッパー（ルミックス　フォン　パネル内）、ルミックス　フォン　パネル用ロックツメ		POM
電池端子	樹脂部分	PPS
	端子部	ベリリウム銅／ニッケルメッキ＋金メッキ
電池パック	樹脂部分	PC
	ラベル	PET
	端子部	ガラスエポキシ基板／ニッケルメッキ＋金メッキ
ドコモUIMカード挿入面		ABS
ネジ（ルミックス　フォン　パネル内）、ネジ（ルミックス　フォン　パネル内ワンセグアンテナのホルダ部）		鉄／ニッケルメッキ
メニューボタン、メールボタン、カメラボタン／ワンセグボタン、ｉモードボタン／ｉアプリボタン、シャッターボタン、着信／充電ランプ		PC ／アルミ蒸着＋UV塗装
ラベル（電池収納部）		ポリエステル
ラベル（電池面）		PP

使用箇所		材質／表面処理
ルミックス フォン　パネル	本体	ABS ／アルミ箔＋UV塗装
	カメラリング部(内)	アルミ／アルマイト処理
	カメラリング部(中)	アクリルウレタン
	カメラリング部(外)※1	PC ／ UV塗装
	カメラリング部(外)※2	PC ／スズ蒸着＋UV塗装
	外部接続端子側	ABS ／ UV塗装
	外部接続端子側突起部	PC ／アルミ蒸着＋UV塗装
	電池収納面シート(大)、電池収納面シート(小)	PET
	ラベル	PP
ワンセグアンテナ	先端樹脂部分	PC ／ UV塗装
	金属部分(パイプ部)、根元ヒンジ部(ピン)	ステンレス鋼
	金属部分(ワイヤ部)	ニッケルチタン合金
	根元ヒンジ部(ワイヤ結合部)	ステンレス鋼／スズコバルトメッキ
	根元ヒンジ部(リフトアップ部)	黄銅／スズコバルトメッキ
	ホルダ部	亜鉛合金／ニッケルメッキ
	収納部	POM
microSDカード挿入口(ルミックス　フォンパネル内)	樹脂部分	LCP
	金属部分	ステンレス鋼／ニッケルメッキ

• 本体色により材質が異なる箇所があります。

※1 本体色「WHITE」「MAGENTA」

※2 本体色「BLACK」

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■水をかけないでください。
FOMA端末、電池パック、アダプタ、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子(イヤホンマイク端子)に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■電池パック、アダプタ、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

■タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
タッチパネルが破損する原因となります。

■極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■外部接続端子(イヤホンマイク端子)に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。
故障、破損の原因となります。

■使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■通常は外部接続端子カバーを閉じた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■ルミックス　フォン　パネルを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ボタンのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
故障、破損、誤動作の原因となります。

■FOMA端末のディスプレイ部分の背面に、ラベルやシールなどを貼らないでください。
FOMA端末を開閉する際にラベルやシールなどが引っかかり、故障、破損の原因となります。

■microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

■電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。

■電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

■電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

■電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
・フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
・電池残量なしの状態(本体の電源が入らない程消費している状態)での保管
電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本、または残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

■充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
■次のような場所では、充電しないでください。
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ·ラジオなどの近く
■充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
■DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
■抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
■強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

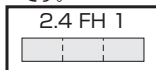
ドコモUIMカードについてのお願い

■ドコモUIMカードの取り付け/取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
■他のICカードリーダー/ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
■お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
■お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
■ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
■ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
■ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
■ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
■Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
■FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、ダイヤルアップ通信、オブジェクトプッシュ、シリアルポートを利用できます。また、オーディオではオーディオ/ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります。(対応しているBluetooth機器のみ)

■周波数帯について
FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4 FH 1

2.4	：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH	：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
1	：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
▭▭▭	：2400MHz ～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■Bluetooth機器使用上の注意事項
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

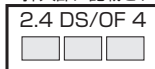
1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

■無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

■周波数帯について
WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4 DS/OF 4

2.4	：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
DS/OF	：変調方式がDS-SS方式、OFDM方式であることを示します。
4	：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
▭▭▭	：2400MHz ～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■2.4GHz機器使用上の注意事項
WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCa リーダー／ライターについてのお願い

■FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。

■使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

■改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■Bluetooth機能は日本国内で使用してください。
FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

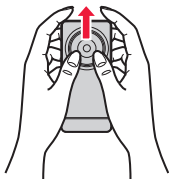
■無線LAN(WLAN)機能は日本国内で使用してください。
FOMA端末の無線LAN機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

■FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。
FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

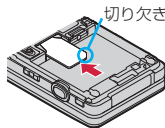
事前の準備

ドコモUIMカード・電池パックの取り付けかた

1 ルミックス　フォン　パネルの取り外し

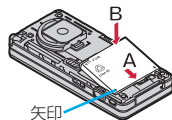
FOMA端末を閉じ、イラストのように両手でロックが外れるまで(2mm以上)矢印方向にスライドさせてルミックス　フォン　パネルを取り外す

2 ドコモUIMカードの取り付け

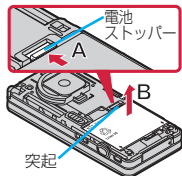
ドコモUIMカードの金色のIC面を下にして、カードの表面を押しながら、ゆっくりと奥まで差し込む

- ICを傷つけないようにご注意ください。

取り外すときは

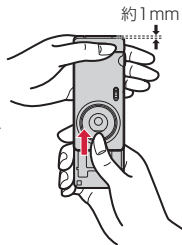
ドコモUIMカードをスライドさせながら、ゆっくりと引き抜きます。

3 電池パックの取り付け

矢印面を上にして、FOMA端末と電池パックのツメ側を確実に合わせ、Aの方向に押し付けながら、Bの方向に押し込む

取り外すときは

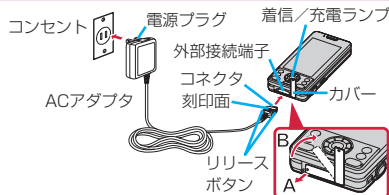
電池ストッパーをAの方向に押しながら、電池パックの突起を利用してBの方向に持ち上げます。

4 ルミックス　フォン　パネルの取り付け

FOMA端末を開き、ルミックス　フォン　パネルを約1mm開けた状態でFOMA端末に合わせて置き、イラストのようにルミックス　フォン　パネルを押さえながら矢印方向にスライドさせて取り付ける

- ルミックス　フォン　パネルとFOMA端末に隙間がないことを確認してください。

ドコモUIMカードとは
お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。ドコモUIMカードを取り付けないと、音声／テレビ電話、i モード、メールの送受信などの通信をご利用できません。

- ルミックス　フォン　パネルやドコモUIMカード、電池パックの付け外しは、電源を切ってから、FOMA端末を手で持った状態で行ってください。
- 本FOMA端末では、FOMAカード(青色)はご使用できません。FOMAカード(青色)をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取替えください。

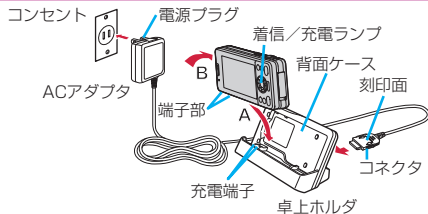
充電のしかた

ACアダプタを使って充電する

1 **ACアダプタ(別売)のコネクタの刻印面を上にして「カチッ」と音がするまで外部接続端子へ水平に差し込む**

- 充電するときは、外部接続端子のカバーをイラストの位置にしてください。外部接続端子のカバーは、Aの方向に引っ張り出したあと、Bの方向に回転させます。

2 **ACアダプタの電源プラグを起こし、家庭用などのAC100Vのコンセントに差し込む**

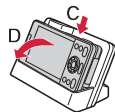
3 **充電が完了したら、コネクタのリリースボタンを押しながら、外部接続端子から引き抜く**

卓上ホルダを使って充電する

1 **ACアダプタ（別売）のコネクタの刻印面を上にして、卓上ホルダ（別売）のコネクタ端子へ水平に差し込む**

2 **ACアダプタの電源プラグを起こし、家庭用などのAC100Vのコンセントに差し込む**

3 **指で卓上ホルダを押さえて、FOMA端末を背面ケースに合わせながらのせ（A）、押し込む（B）**

- FOMA端末は、必ず閉じた状態で充電してください。
- 市販のストラップなどを挟まないようにご注意ください。

4 **充電が完了したら、指で卓上ホルダを押さえたままFOMA端末の上部をつかんで押し下げ（C）、前に倒して取り外す（D）**

- コネクタを抜くときは、コネクタの両側にあるリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に取り外そうとすると、故障の原因になります。
- 充電を開始するとFOMA端末の着信／充電ランプが赤色点灯し、充電が完了すると消灯します。

電源を入れる

1

⌐を1秒以上押す

ウェイクアップ画面が表示されたあと、待受画面が表示されます。

電源を切るには

1. ⌐(2秒以上)▶「YES」を選択

- 操作している画面によっては、確認画面が表示されない場合があります。

初期設定に未設定の機能があると、初期設定の画面が表示されます。画面の表示に従って設定してください。

初期設定を行う

初めて電源を入れると初期設定の画面が表示されます。

1 日付時刻を設定する

日付時刻を設定します。自動で日付時刻を補正することもできます。

2 端末暗証番号を設定する

各種機能の設定に必要な端末暗証番号を設定します。

- お買い上げ時は「0000」に設定されています。

3 文字サイズを設定する

画面に表示される文字の大きさを設定します。

4 位置提供設定を設定する

GPSの位置提供要求があったとき、現在地を知らせるかどうかを設定します。

5 ボタン確認音を設定する

ボタン確認音を鳴らすかどうかを設定します。

6 スピードセレクター音を設定する

スピードセレクターを回転させたときの音を設定します。

基本の操作

相手に自分の電話番号を通知する

1 MENU ▶電話機能▶発着信・通話設定▶発信者番号通知

2 「設定」を選択

3 「通知する」を選択

- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえたときは、発信者番号通知を設定するか「186」を付けてからおかけ直しください。

自分の電話番号を確認する

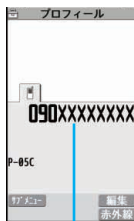
自分の電話番号（自局番号）や機種名などを確認できます。

1 MENU ▶プロフィール

- 右の画面で 📷TV（編集）を押すと、自分の名前やメールアドレスなどを登録できます。
- メールアドレスの確認／変更方法については「ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）」をご覧ください。

自局番号

基本の操作

画面の説明

ディスプレイ・アイコンの見かた

電池残量（目安）

多い ⟷ 少ない

- の状態になったときは充電してください。
- 使用状況によっては電池残量の表示が大きく変動することがあります。

電波の受信レベル（目安）

強い ⟷ 弱い

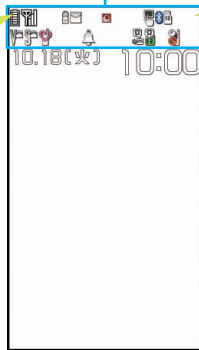
圏外…………FOMAサービスエリア外または電波の届かないところ

…………ecoモード中

（グレー）…ecoモード自動起動設定中

…………未読ｉモードメール・SMSあり

…………ｉコンシェルの新着インフォメーションあり

…………タッチ操作可能／不可能

ここでは主なアイコンを説明しています。ディスプレイに表示されるその他のアイコンの説明を以下の操作で確認できます。
MENU ▶本体設定▶画面･ディスプレイ▶表示アイコン説明

お知らせアイコン

……新着iモードメール･SMSあり
……不在着信あり
……伝言メモあり
……テレビ電話伝言メモあり
……自動的にecoモードに切り替わったとき(エコナビ)
……ワンセグが自動的に終了したとき(エコナビ)

貼り付けアイコン

…… iコンシェル
……使いかたガイド
…クライアントモード(子機)
……アクセスポイントモード(親機)
… iモードでサイトを表示
……音声クイック起動
……クイック検索
…タッチスライドショー
……歩数計

アイコンなどからそれぞれの機能に進むには

「状態表示アイコン」「お知らせアイコン」「貼り付けアイコン」や日付･時刻を利用して、それぞれの機能へ進むことができます。

1. でアイコンなどを選ぶ▶(選択)

モーションコントロールを利用する

FOMA端末を傾けるだけで、画面の表示方向を自動で切り替えることができるモーションコントロールを設定します。

- モーションコントロールに対応している主な機能は以下のとおりです。
  - ･ピクチャアルバム※1※2
  - ･Music&Videoチャネル※3
  - ･ｉモーションプレーヤー※3
  - ･ムービープレーヤー※3
  - ･DIGA/DLNA機器連携の動画再生※3
  - ･フルブラウザ※3
  - ･ワンセグ※3
  - ･ビデオプレーヤー※3

  ※1 左右に90度傾けるか、180度回転すると端末の向きに合った天地で表示されます。
  ※2 モーションコントロールを無効にしていると、横画面で表示されます。
  ※3 左に90度傾けると、横画面で表示されます。

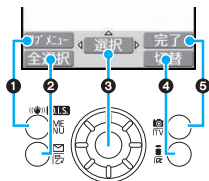
1 MENU▶**本体設定**▶**その他設定**▶**モーションコントロール設定**

2 **「すべてON」を選択**

- 確認画面やサブメニューなどがポップアップ表示されているときにFOMA端末を傾けると、ポップアップ表示が消える場合があります。

ナビゲーション表示とボタン操作

各機能を操作中に利用できる操作を画面下部に案内表示します。(ナビゲーション表示)

■ボタン割り当てと主なナビゲーション表示

❶	(MENU)ボタンで行う操作	ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ　閉
❷	(✉)ボタンで行う操作	全選択　▲ページ
❸	(●)ボタンで行う操作	選択　確定
	(○)ボタンで行うスクロールや項目の選択が可能な方向	▵ ◃ ▹ ▿
❹	(iα)ボタンで行う操作	切替　▼ページ
❺	(📷TV)ボタンで行う操作	完了　送信

スピードセレクターの操作

- カーソルまたは反転表示を上方向へ移動します。(押し続けると連続スクロールになります)
- 表示内容を上方向へスクロールします。

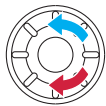
- カーソルを右方向へ移動します。
- 表示内容を画面単位で次の画面へスクロールします。(押し続けると連続スクロールになります)

- 操作を決定します。

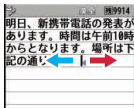
- カーソルを左方向へ移動します。
- 表示内容を画面単位で前の画面へスクロールします。(押し続けると連続スクロールになります)

- カーソルまたは反転表示を下方向へ移動します。(押し続けると連続スクロールになります)
- 表示内容を下方向へスクロールします。

スピードセレクターを回転させて操作

表示している画面によっては、スピードセレクターを回転させることで、◎を押したときと同じように項目の選択や、カーソルの移動などを行うことができます。

回転の方向	操作例

項目の選択

絵文字などの選択

ページのスクロール　カーソルの移動

- 機能によっては、回転による操作ができない場合があります。

メニュー操作

メインメニュー

待受画面でMENUを押すと、メインメニューを表示できます。

- 本書では、主に待受画面を起点に操作手順を説明しています。

待受画面　メインメニュー

◎でメニューアイコンを選んで◉（選択）を押します。メニュー項目ごとに分類された機能が表示されます。繰り返し項目を選択して、目的の機能を呼び出します。

- 一つ前の画面に戻るにはCLRを押します。また、どの画面からでも⌒を押すと待受画面に戻ります。
- 各機能のメニュー項目については、「機能一覧表」をご覧ください。（P.102参照）

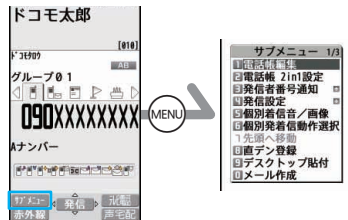
シンプルメニュー

シンプルメニューとは、基本機能に絞って使いやすくしたメニューです。きせかえツールで「シンプルメニュー」に設定し、待受画面でMENUを押すと、シンプルメニューが表示されます。

- シンプルメニューでの操作手順や画面に表示される項目は、本書に記載しているものとは一部異なります。

サブメニューについて

画面の左下に「サブメニュー」が表示されているときは、MENUを押すと登録や編集、削除などの機能を利用できます。

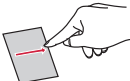
<例> 電話帳のサブメニューを表示する

- 項目の配下にさらに項目がある場合は、「＋」が表示されます。

簡単な操作で機能を起動する

機能によっては、メニューから選択して起動する方法だけでなく、待受画面からのボタン操作で起動できるものもあります。ボタンを1秒以上押して起動できる機能には、以下のようなものがあります。

ボタン	動作
	キーロックの設定／解除
	電話帳の登録画面を表示
	ワンセグを起動
	メール／メッセージ問合せを実行
	ソフト一覧画面を表示
	音声クイック起動を実行
3	ICカードロックの設定／解除
5	ecoモードの設定／解除
7	フォント設定の画面を表示
8	ビューブラインドのON／OFF
*	公共モード（ドライブモード）の設定／解除
#	マナーモードの設定／解除
▲	
▼	ピクチャアルバムを起動
	クライアントモードのON／OFF

基本の操作

タッチパネルの使いかた

項目の選択や画面のスクロールなどをタッチパネルで操作できます。タッチパネルでの操作ができるときは「」、できないときは「」が表示されます。

- お買い上げ時にタッチパネルに貼られているシートをはがしてからお使いください。

■タッチパネル利用上のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ・手袋をしたままでの操作
  - ・爪の先での操作
  - ・異物を操作面にのせたままでの操作
  - ・保護シートやシールなどを貼っての操作

- ｉアプリによっては、タッチパネルによる操作ができない場合があります。

タッチパネルの基本操作

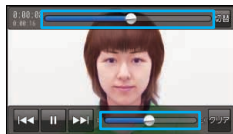
操作	主な操作
タッチ タッチパネルをトンとたたきます。	選択・決定 • 画面に表示される項目やコントロールボタンをタッチします。
ロングタッチ タッチパネルに触れたままにします。	カーソルまたは反転表示の移動 • 一覧画面などで項目をロングタッチします。
	連続操作 • 早送りなどのコントロールボタンをロングタッチします。
スライド タッチパネルに触れたまま上下左右に動かします。	画面のスクロール • 一覧画面などで項目をスライドします。
	前後のデータの表示 • 前後のデータやページなどを表示します。

操作	主な操作
すばやくスライド 上下左右にすばやくスライドして離します。 	画面のスクロール • 画面によっては離したあともしばらくの間スクロールし続けます。スクロール中にタッチすると停止します。
	前後のデータの表示 • 前後のデータやページなどを表示します。
広げる・挟める 2本の指を広げるようにスライドしたり、挟めるようにスライドします。 	拡大・縮小 • 画像や画面の表示を拡大・縮小します。

■コントロールボタン

スピードセレクター操作、ダイヤルボタン操作、サブメニュー操作などの代わりに、コントロールボタンをタッチ(ロングタッチ)して操作できます。

■スライドレバー

スライドレバーの位置を調節することで、音量などを調節できます。

■拡大・縮小

ピクチャアルバムで画像表示中やフルブラウザでサイト表示中などに画面を拡大・縮小できます。

• コントロールボタンやスライドレバーの表示位置、表示内容などは機能によって異なります。

画面ロック

FOMA端末を閉じている状態でタッチ操作に対応した機能を利用中に省電力モードになると、画面ロックがかかり、タッチパネルの操作ができなくなります。
かばんの中での誤動作が防止できます。

解除するには

1. [終話キー]を押して省電力モードを解除する
• 約10秒間何も操作しないと、再び省電力モードになります。
2. 「[鍵アイコン]」を右にスライド
• [決定キー]を1秒以上押すか、FOMA端末を開いても解除できます。

タッチメニューを表示する

待受画面でタッチパネルをタッチするとタッチメニューが表示されます。

ホームメニュー

「 」をタッチすると、ホームメニューが表示されます。
ホームメニューにはショートカットアイコンを6件まで登録でき、ショートカットアイコンをタッチすることでそれぞれの機能を起動できます。また、iチャネルのテロップも表示されます。

カスタマイズメニュー

「 」をタッチすると、カスタマイズメニューが表示されます。
カスタマイズメニューにはショートカットアイコンを27件まで登録でき、ショートカットアイコンをタッチすることでそれぞれの機能を起動できます。

ノーマルメニュー

「 」をタッチすると、ノーマルメニューが表示されます。
アイコンをタッチすることでそれぞれの機能を起動できます。ノーマルメニューのアイコンは変更できません。

タッチ操作ガイド

「 」をタッチすると、タッチ操作ガイドが表示されます。タッチパネルでの操作方法などを確認できます。

音声クイック起動を利用する

音声で機能を呼び出します。

- 初めて利用するときは、利用案内の画面で「利用する」を選択するか、📷(開始)を押します。

1 📞を1秒以上押す

2 「それではどうぞ　★★音声受付中★★」と表示されたら、10秒以内で送話口に機能を発声する

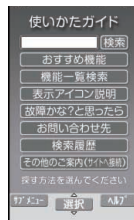
- 起動する機能が特定できない場合は、使いかたガイドで候補を検索します。

> - なるべくはっきりと、自然な会話の速度で発声してください。
> - 周囲の雑音の少ない、なるべく静かな場所で発声してください。
> - ご利用になる環境や話しかたによって認識結果が異なる場合があります。

使いかたガイドを利用する

知りたい機能、使いたい機能を探して操作方法などを確認します。機能によっては「使いかたガイド」から実行できるものもあります。

1 MENU▶便利ツール▶使いかたガイド

使いかたガイド
検索
おすすめ機能
機能一覧検索
表示アイコン説明
故障かな?と思ったら
お問い合わせ先
検索履歴
その他のご案内(サイトへ接続)
探す方法を選んでください
ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ　選択　ﾍﾙﾌﾟ

2 キーワードを入力または探す方法を選択

各項目を選んで📷(ﾍﾙﾌﾟ)を押すと詳しい説明が表示されます。

文字入力

電話帳の登録画面やメールの作成画面などで文字を入力します。

1 入力モードを選択します

(✉)(文字切替)を押して入力モードを選択します。

2 文字を入力します

各ダイヤルボタンを繰り返し押すと、そのボタンに割り当てられている他の文字を入力できます。

<例>(2)を押す場合

漢字ひらがな入力モード
「か→き→く→け→こ」

カタカナ入力モード
「カ→キ→ク→ケ→コ→2」

英字入力モード(大文字)
「A→B→C→a→b→c→2」

英字入力モード(小文字)
「a→b→c→A→B→C→2」

数字入力モード
「2」

3 文字を変換・確定します

1. (○)を押して変換する範囲を指定
2. (○)を押して候補リストにカーソルを移動
3. (○)を押して変換候補を選択
4. (●)を押して文字を確定

その他のボタン操作について

(📷)(記号/顔):記号、顔文字、URLを入力

(i)(絵/ピクチャ):絵文字、デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャを入力

(＊):改行を入力
(文字を入力したあとに押すと、大文字/小文字の切り替えや濁点・半濁点の入力が可能)

(📞)(1秒以上):確定・削除などをした文字を元に戻す

(CLR):文字を削除

<文字の入力例> i モードメールの本文に「タダの菓子」と入力する場合

1

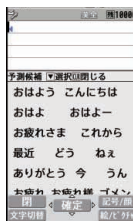
▶本文欄を選択

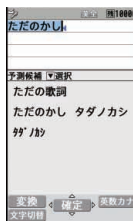
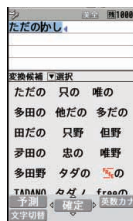
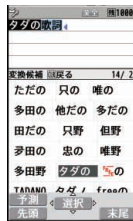
2 ひらがなを入力

た→4を1回、○を1回

だ→4を1回、＊を1回

の→5を5回

か→2を1回

し→3を2回

- 「あ」「い」のように同じボタンで文字を続けて入力する場合は、○でカーソルを進めてから次の文字を入力します。
- 文字入力中に予測変換候補から候補を選択するには、○を押します。

3 ○で「の」の右側までカーソルを移動

4 ○で候補リストにカーソルを移動▶○で「タダの」を選んで○（選択）

5 ○で候補リストにカーソルを移動▶○で「菓子」を選んで○（選択）

基本の操作

音／画面設定

着信音を変える

＜例＞音声電話の着信音を変更する

1 MENU ▶本体設定▶音／バイブ／マナー▶着信音選択

2 「電話」を選択

- TV（デモ）を押すと、実際に再生／表示される内容を確認できます。
- メールやテレビ電話などの着信音を設定する場合は、対応する項目を選択します。

3 「着信音」を選択

4 着信音の種類を選択

5 フォルダを選択▶着信音を選択

着信音の音量を調節する

＜例＞音声電話の着信音量を調節する

1 MENU ▶本体設定▶音／バイブ／マナー▶着信音量

2 「電話」を選択

- メールやテレビ電話などの着信音量を調節する場合は、対応する項目を選択します。

3 ◎で音量を調節

バイブレータを設定する

着信を振動でお知らせします。

＜例＞音声電話の着信時のバイブレータを設定する

1 MENU ▶本体設定▶音／バイブ／マナー▶バイブレータ設定

2 「電話」を選択

- メールやテレビ電話などの着信時のバイブレータを設定する場合は、対応する項目を選択します。

3 パターンを選択

マナーモードを利用する

着信音やボタン確認音、アラーム音などの音がFOMA端末から鳴らないようにボタン1つで設定できます。マナーモードに設定すると、音の代わりに振動(バイブレータ)でお知らせします。

1

#を1秒以上押す

待受画面に「♥」が表示されます。

解除するには

同様の操作を行います。

オリジナルマナーを利用する

「オリジナルマナー」を利用して、マナーモード中の動作をお好みに合わせて設定できます。

1. MENU▶本体設定▶音／バイブ／マナー▶マナーモード設定▶マナーモード選択▶オリジナルマナー
2. 各項目を設定
3. 📷(完了)を押す

- マナーモード設定中でも、カメラのシャッター音・フォーカスロック音や、ボイスレコーダーの録音開始音・終了音は鳴ります。

ボタンを押したときの音を消す

ボタンを押したときに鳴る「ピッ」という確認音を鳴らさないようにします。

1 **MENU▶本体設定▶音／バイブ／マナー▶その他音設定▶ボタン確認音**

2 **「OFF」を選択**

画面の設定を変える

待受画面の表示を変える

1 **MENU▶本体設定▶画面・ディスプレイ▶待受画面設定**

2 **「待受画面」を選択**

3 **画像の種類を選択**

4 **フォルダを選択▶画像を選択**

- 画像によっては表示方法を選択できる場合があります。

ディスプレイの明るさを変える

ディスプレイの明るさを調節します。また、周囲の明るさに合わせて自動で調整するように設定します。

1 MENU ▶本体設定▶照明・イルミネーション▶照明設定

2 「明るさ」を選択▶「自動調整ON」を選択

3 で明るさを調節

照明OFF・省電力モード

ディスプレイの照明をOFFに設定します。また、省電力モードに切り替わるまでの時間を設定します。FOMA端末を何も操作しないで省電力移行時間で設定した時間が経過すると、省電力モードに切り替わります。ディスプレイの表示が消え、電池の消費を抑えることができます。

1. MENU ▶本体設定▶照明・イルミネーション▶照明設定
2. 「通常時」を選択
   - FOMA端末を閉じたときの省電力移行時間は「スライドクローズ動作時」から設定できます。
3. 「OFF」を選択▶省電力移行時間（秒）を入力

周りの人からディスプレイを見えにくくする

斜めの角度からディスプレイを見えにくくする「ビューブラインド」を設定します。

1

8 を1秒以上押す

待受画面に「 」が表示されます。

解除するには

同様の操作を行います。

文字サイズを変える

<例>文字のサイズを一括で「特大」に変更する

1 7を1秒以上押す

2 「文字サイズ」を選択

3 「特大」を選択

- 各機能の文字サイズを個別に設定する場合は、「個別設定」を選択します。

マチキャラの設定を変える

不在着信や新着メール、i コンシェルの新着インフォメーションなどをお知らせするマチキャラを変更できます。

1 MENU ▶本体設定▶画面・ディスプレイ▶マチキャラ設定

2 「表示設定」を選択▶「ON」を選択▶フォルダを選択

3 マチキャラを選んで📷TV（設定）を押す

きせかえツールを利用する

着信音や待受画面、メニューアイコンなどをまとめて設定できます。

1 MENU ▶本体設定▶画面・ディスプレイ▶きせかえツール設定

2 フォルダを選択

3 きせかえツールを選んで📷TV（一括設定）を押す

4 「YES」を選択

- メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。

メニューアイコンをお買い上げ時の設定に戻すには

1. MENU ▶ MENU（ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ）▶メニュー画面リセット
2. 端末暗証番号を入力▶「YES」を選択

基本の操作

着信時のイルミネーションを変える

<例>音声電話の着信イルミネーションを変更する

1 MENU ▶本体設定▶照明・イルミネーション▶イルミネーション設定

2 「着信イルミネーション」を選択▶「着信イルミネーション選択」を選択

3 「電話」を選択

- メールやテレビ電話などの着信イルミネーションを設定する場合は、対応する項目を選択します。

4 イルミネーションを選択

- 「グラデーション」を選択すると、色1～12が順番に光ります。

着信したときに、選択した色で光ります。

ecoモードに切り替える

電池の消費を抑えるecoモードにボタン1つで設定できます。ecoモードに切り替わるとディスプレイの照明が暗くなるなど、「ecoモード設定」で設定した項目の動作が変更されます。

1

5を1秒以上押す

「」が表示されます。

解除するには

同様の操作を行います。

ecoモード設定

ecoモードに切り替えたときに電池の消費を抑える項目を設定します。

1 MENU ▶本体設定▶電池▶ecoモード設定

2 設定したい項目にチェック

3 TV（完了）を押す

基本の操作

ecoモード自動起動設定

電池残量が設定した数値以下になったときに、自動でecoモードに切り替わるように設定します。
お買い上げ時は「ecoモード自動起動設定」の「電池残量」は「40%」に設定されています。

1 MENU▶本体設定▶電池▶ecoモード自動起動設定

2 「ON」を選択

3 各項目を設定▶TV（完了）

ecoモード自動起動設定を「ON」にすると、「 （グレー）」が表示されます。自動でecoモードに切り替わると、「 」が表示され、デスクトップに「 」が表示されます。

ロック／セキュリティ

各種暗証番号について

■各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号　お買い上げ時は「0000」

データ全削除や設定変更時に使用する4～8桁の番号です。端末暗証番号入力の画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、◉（確定）を押します。

変更するには

1. MENU▶本体設定▶ロック・セキュリティ▶端末暗証番号変更

ネットワーク暗証番号　ご契約時に任意の番号を設定

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。

変更するには

ｉモードから、「ｉMenu」→「お客様サポート」→「各種設定（確認・変更・利用）」→「ネットワーク暗証番号変更」で変更できます。

ｉモードパスワード　ご契約時は「0000」

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行うときに必要な4桁の番号です。

変更するには

ｉモードから、「ｉMenu」→「お客様サポート」→「各種設定（確認・変更・利用）」→「ｉモードパスワード変更」で変更できます。

PIN1コード・PIN2コード　ご契約時は「0000」

ドコモUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。

PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号です。

PIN2コードは、積算料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の番号です。

PIN1コード／PIN2コード入力の画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1コード／PIN2コードを入力し、◉（確定）を押します。

- 3回連続して誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります。

変更するには

1. MENU▶本体設定▶ロック・セキュリティ▶UIM（FOMA）カード設定
2. 端末暗証番号を入力▶「PIN1コード変更」または「PIN2コード変更」を選択

- PIN1コードを変更するには、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておく必要があります。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。
なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、ドコモUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

PIN1コード入力設定

FOMA端末の電源を入れたとき、PIN1コードを入力しないと使用できないようにします。

1 MENU▶本体設定▶ロック・セキュリティ▶UIM(FOMA)カード設定

2 端末暗証番号を入力▶「PIN1コード入力設定」を選択

3 「ON」を選択▶PIN1コードを入力

解除するには

「OFF」を選択します。

各種ロック機能

FOMA端末には、他人の不正使用を防いだり、個人情報を守ったりするためのさまざまなロック機能が搭載されています。

ダイヤルロック	FOMA端末を他の人が使用できないようにします。 電話の応答、電源のON／OFF以外の操作ができなくなります。 1. MENU▶本体設定▶ロック・セキュリティ▶ロック▶端末暗証番号を入力▶ダイヤルロック • 解除するには待受画面で端末暗証番号を入力します。
ICカードロック	ICカード機能をロックします。 おサイフケータイやトルカ取得、iC通信などが使用できなくなります。 1. 3を1秒以上押す • 解除するには同様の操作を行い、端末暗証番号を入力します。

基本の操作

おまかせロック	FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけることができます。 • おまかせロックの詳細については「ご利用ガイドブック（基本編）」をご覧ください。 ■おまかせロックの設定／解除 0120-524-360　受付時間 24時間（年中無休） ※一部のIP電話からは接続できない場合があります。 • パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。
オリジナルロック	電話帳やスケジュールなど、個人情報を利用する機能を利用できないようにします。 1. MENU▶本体設定▶ロック･セキュリティ▶ロック▶端末暗証番号を入力▶オリジナルロックのレベルを選択 • 解除するには「OFF」を選択します。
キーロック	ボタンやタッチパネルの操作ができなくなるようにします。 1. ◎を1秒以上押す • 解除するには同様の操作を行うか、FOMA端末を開きます。

自動キーロックを設定する

FOMA端末を閉じたときや、何も操作をしないで設定した時間が経過したときに、キーロックがかかるように設定します。

1 MENU▶本体設定▶ロック･セキュリティ▶キーロック

2 端末暗証番号を入力▶自動キーロック

3 「クローズロック設定」または「無操作ロック設定」を選択▶項目を選択

• お買い上げ時は「クローズロック設定」が「ON」に設定されています。FOMA端末を閉じたときにキーロックがかかると、省電力モードになり画面の表示が消えます。また、FOMA端末を閉じた状態で省電力モードになったときにも画面の表示が消え、キーロックがかかります。⌒を押すと画面が表示されます。FOMA端末を閉じたときなどにキーロックがかからないようにするには、上記手順で「クローズロック設定」を「OFF」に設定してください。

基本の操作

電話の着信制限をする

電話帳に登録されていない相手からの着信や、電話番号が通知されない着信の発信者番号非通知理由によって、電話を受ける(許可)か受けない(拒否)かを設定します。発信者番号非通知理由には「非通知設定」、「公衆電話」、「通知不可能」の3つがあります。

1 MENU ▶本体設定▶ロック・セキュリティ▶着信拒否設定

2 端末暗証番号を入力▶設定する項目を選択

3 「許可」または「拒否」を選択

- 「非通知設定」、「公衆電話」、「通知不可能」の場合、「許可」を選択すると、着信音や着信画面を設定できます。

お買い上げ時の状態に戻す

各種機能の設定をリセットする

「機能一覧表」の　　の項目をお買い上げ時の設定に戻します。(P.102参照)

- 　　の項目には、お買い上げ時の設定や状態に戻らない機能を含んでいる場合があります。

1 MENU ▶本体設定▶その他設定▶設定リセット

2 端末暗証番号を入力▶「YES」を選択

登録データを一括して削除する

登録データを一括して削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

1 MENU ▶本体設定▶その他設定▶端末初期化

2 端末暗証番号を入力▶「YES」を選択

3 「YES」を選択

電話

電話／テレビ電話をかける

電話番号を入力して電話をかける

1 市外局番から電話番号を入力

2 ［発信］を押して電話をかける

- ［TV］（［テレビ電話］）を押すとテレビ電話発信になります。

3 ［終話］を押して通話を終了

- 本FOMA端末は内側にカメラを搭載しておりませんので、相手に送る画像はキャラ電、静止画または外側のカメラで撮影中の映像となります。

通話中に［CLR］を押すと通話を保留できます。
［CLR］を押すと保留を解除できます。

電話帳から電話をかける

<例>電話帳に登録している名前で検索する

1 ［下］を押す

2 「名前検索」を選択

名前を先頭の文字から入力して検索します。

- 「電話番号検索」「アドレス検索」など、他の検索方法も利用できます。

3 名前の一部を入力▶［上下］

- 何も入力せずに［上下］を押すと、すべての電話帳が表示されます。

4 電話帳を選択▶［発信］

同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は［左右］を押して目的の電話番号を選択します。

- ［TV］（［テレビ電話］）を押すとテレビ電話発信になります。

つながる

リダイヤル／着信履歴を利用して電話をかける

1 **(リダイヤル)または(着信履歴)を押す**

2 **履歴を選択▶**

- (テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

声の宅配便を利用する

お客様に代わって音声メッセージをお預かりするサービスです。

- 詳細はドコモのホームページをご覧ください。

1 **電話番号を入力**

- 電話帳･リダイヤル･発信履歴･着信履歴からも声の宅配便を発信できます。

2 **(声宅配)▶音声ガイダンスに従って操作**

メッセージの再生

声の宅配便をお預かりすると、録音通知SMSにてお知らせします。録音通知SMSの詳細画面で「再生」を選択すると、メッセージを再生できます。

- 「(MENU)▶電話機能▶声の宅配便▶メッセージ再生」の操作を行ってもメッセージを再生できます。

国際電話をかける

日本から国際電話をかけるときはWORLD CALLを利用します。

- WORLD CALLの詳細については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときには、各国際電話サービス会社にお問い合わせください。

1 **0(1秒以上)▶国番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順に入力**

- 0を1秒以上押すと「+」が入力されます。
- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国･地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

2 **を押す**

- (テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

3 **「発信」を選択**

- ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPPで標準化された、3G-324M」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

電話／テレビ電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、着信／充電ランプが光ります。

2 [通話キー]を押して電話を受ける

テレビ電話がかかってきた場合

同様の操作で受けられます。
相手には代替画像が送信されます。

3 [終話キー]を押して通話を終了

相手の声の大きさを変える

1 通話中に[方向キー]を1秒以上押す

- テレビ電話で通話中の場合は、[方向キー]を押します。

2 [方向キー]を押して音量を調節

電話に出られないときは

伝言メモを設定する

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに相手の用件を録音・録画できます。

- 電話がかかってくると、呼出時間が経過後、応答メッセージが再生されます。その後、相手の用件が録音・録画されます。

1 MENU▶電話機能▶伝言メモ／音声メモ▶伝言メモ設定

2 「ON」を選択▶「電話」を選択

- テレビ電話用の伝言メモを設定する場合は、「テレビ電話」を選択します。

3 応答メッセージを選択▶呼出時間（秒）を入力

伝言メモが録音・録画されると、待受画面に「[伝言アイコン]」や「[伝言アイコン]」のお知らせアイコンが表示されます。
アイコンを選択すると伝言メモを再生できます。

つながる

公共モード(ドライブモード)を利用する

公共モード(ドライブモード)を設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控えるような場所(電車、バス、映画館など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

1

[＊]を1秒以上押す

解除するには

同様の操作を行います。

公共モード(ドライブモード)中に着信があると、着信音は鳴らず、着信履歴に記憶されます。また、アラーム設定時刻になってもアラーム音は鳴りません。

公共モード(電源OFF)を利用する

公共モード(電源OFF)を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所(病院、飛行機、電車の優先席付近など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

1 [＊][2][5][2][5][1]を入力

2 [発信]を押す

解除するには

1. [＊][2][5][2][5][0]を入力
2. [発信]を押す

つながる

各種ネットワークサービスを利用する

■利用できるネットワークサービス
FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名称	お申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料
電源OFF･圏外時着信お知らせサービス	不要	無料
キャッチホン	必要	有料
転送でんわサービス	必要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料
発信者番号通知サービス	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料
デュアルネットワークサービス	必要	有料

サービス名称	お申し込み	月額使用料
英語ガイダンス	不要	無料
マルチナンバー	必要	有料
2in1	必要	有料
公共モード(ドライブモード)	不要	無料
公共モード(電源OFF)	不要	無料
OFFICEED	必要	有料
メロディコール	必要	有料
声の宅配便	不要	無料

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 「サービス停止」とは留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- 「OFFICEED」の詳細については、ドコモの法人向けサイト(http://www.docomo.biz/html/service/officeed/)をご確認ください。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

留守番電話サービスを利用する

1 MENU ▶**電話機能**▶**留守番電話サービス**

サービスを開始するには

1.「留守番サービス開始」を選択▶「YES」を選択
- 続けて呼出時間も設定できます。

メッセージを再生するには

1.「留守番メッセージ再生」を選択
▶「再生(音声電話)」または「再生(テレビ電話)」を選択▶「YES」を選択
2. 音声ガイダンスに従って操作

キャッチホンを利用する

1 MENU ▶**電話機能**
▶**その他ネットワークサービス**
▶**キャッチホン**

サービスを開始するには

1.「開始」を選択▶「YES」を選択

通話中にかかってきた電話に出るには

[通話キー]を押します。[通話キー]を押すたびに通話する相手が切り替わります。

転送でんわサービスを利用する

1 MENU ▶**電話機能**
▶**その他ネットワークサービス**
▶**転送でんわ**

サービスを開始するには

1.「転送サービス開始」を選択▶「開始」を選択
▶「YES」を選択
- 転送先や呼出時間も設定できます。

つながる

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、待受画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署などに接続されない場合があります。
- FOMA端末から110番、119番、118番へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。

海外で利用する

国際ローミング(WORLD WING)とは、日本国内で使用しているFOMA端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。音声電話、SMS、i モードメールは設定の変更なくご利用になれます。

- 対応エリアについて
  本FOMA端末は3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。
- 海外で本FOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  - 「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」
  - ドコモの「国際サービスホームページ」
  - 「MENU▶地図/海外▶海外ご利用ガイド」またはデータBOXの「マイドキュメント」にプリインストールされている「海外ご利用ガイド」
- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。
- 海外でのご利用料金(通話料、パケット通信料)は日本国内とは異なります。

ご利用できるサービス

主な通信サービス	3G	GSM/GPRS	GSM
音声電話※1	○	○	○
テレビ電話※1	○	×	×
SMS※2	○	○	○
i モード※3	○	○	×
i モードメール	○	○	×
i チャネル※3※4	○	○	×
i コンシェル※5	○	○	×
i ウィジェット※6	○	○	×
パソコンと接続して行うパケット通信	○	○	×
GPSの現在地確認※7	○	○	×

○:利用できます。　×:利用できません。

※1 2in1利用時はBナンバーでの発信はできません。マルチナンバー利用時は付加番号での発信はできません。

※2 宛先がFOMA端末の場合は、日本国内と同様に相手の電話番号をそのまま入力します。

※3 i モード海外利用設定が必要となります。

※4 i チャネル海外利用設定が必要となります。ベーシックチャネルの情報の自動更新にもパケット通信料がかかります(日本国内では i チャネル利用料に含まれます)。

※5 i コンシェルの海外利用設定が必要となります。インフォメーションの受信ごとにパケット通信料がかかります。

※6 i ウィジェットの海外利用設定が必要となります。i ウィジェット画面を表示すると複数のウィジェットアプリが通信する場合があり、この場合1通信ごとにパケット通信料がかかります。

※7 GPS測位(現在地確認)は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などはパケット通信料がかかります。

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

滞在国外に電話をかける

1 0(1秒以上)▶国番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順に入力

- 0を1秒以上押すと「+」が入力されます。
- 日本に国際電話をかける場合は、国番号に「81」を入力してください。
- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

2 を押して電話をかける

- (テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

滞在国内に電話をかける

1 電話番号を入力

2 を押して電話をかける

- (テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

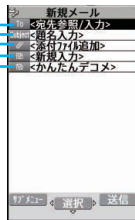
相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

メール

iモードメールを送信する

iモードを契約するだけで、インターネットを経由してe-mailでのやりとりができます。テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内のファイル(写真や動画ファイルなど)を10個まで添付できます。詳細については、「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」をご覧ください。

1

2 各項目を入力

3 (送信)を押す

デコメール®を送信する

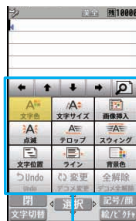
文字の色・大きさや背景色を変えたり、画像やデコメ絵文字®を挿入できます。

1 ✉▶✉（New）

- 「デコメテンプレート」を選択して、作成することもできます。

2 宛先や題名を入力

3 本文欄を選択▶📞▶パレットからデコレーションを選択▶本文を入力▶◉（確定）

- 本文欄を選択すると予測変換候補が表示されます。CLRを押して変換候補の表示を閉じてから📞を押してパレットを表示します。

パレット

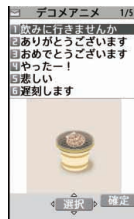
4 📷（送信）を押す

デコメアニメ®を送信する

メッセージや画像をFlash画像に挿入して表現力豊かなメールを作成できます。

1 ✉▶新規デコメアニメ作成

2 宛先や題名を入力

3 本文欄を選択▶デコメアニメ®テンプレートを選んで📷（確定）

4 文字や画像を編集▶📷（完了）

5 📷（送信）を押す

つながる

受信したｉモードメールを見る

1 ▶受信BOX

2 フォルダを選択

3 ｉモードメールを選択

ｉモードメールを受信すると、画面の上部に「✉」が表示されます。

ｉモードメールに返信する

1 ｉモードメール表示中に（返信）を押す

2 各項目を入力

3 （送信）を押す

ｉモードメールを転送する

1. ｉモードメール表示中にMENU（ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ）▶返信／転送▶転送
2. 各項目を入力
3. （送信）を押す

ｉモードメールが届いているか問い合わせる

ｉモードセンターに新着ｉモードメールやメッセージR/Fを問い合わせます。

1

✉を1秒以上押す

問い合わせが終了すると、次の画面が表示されます。

件数
選択すると、各項目を表示できる画面になります。

ｉモードメールを振り分ける

あらかじめ「仕事」「友人」などのフォルダを作成しておくと、「自動振分け設定」を使って受信／送信メールを振り分けることができます。

<例>電話帳に登録しているアドレスからのメールをフォルダに振り分ける

1 **受信BOXでフォルダを選んで MENU（サブメニュー）▶自動振分け設定**

2 **「アドレス振分け」を選択**

3 **「アドレス参照入力」を選択▶「電話帳」を選択**

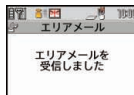
4 **電話帳を検索して目的のメールアドレスを選択**

つながる

緊急速報「エリアメール」

エリアメールを受信する

気象庁から配信される緊急地震速報などをエリアメールとして受信できます。
エリアメールを受信すると「」が点灯し、エリアメール専用のブザー音が鳴ります。
受信内容が自動で表示されるものもあります。表示を消すには「OK」を選択します。

- ｉモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。

エリアメールの設定をする

1 ▶メール設定▶緊急速報「エリアメール」設定

2 設定する項目を選択▶各項目を設定

- 「着信音確認」でエリアメール受信時のFOMA端末の動作を確認することもできます。

SMSを利用する

相手の携帯電話番号宛にメッセージを送信できます。

SMSを送信する

1 ▶新規SMS作成

2 各項目を入力

3 (送信)を押す

受信したSMSを見る

1 ✉▶受信BOX

2 フォルダを選択

3 SMSを選択

SMSを受信すると、画面の上部に「✉」が表示されます。

電話帳

電話帳に登録する

新しい電話番号／メールアドレスなどを登録する

FOMA端末（本体）またはドコモUIMカードの電話帳に登録します。

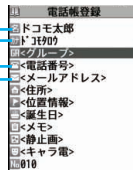
1 👤を1秒以上押す

2 「本体」を選択

名前の入力画面が表示されます。入力して次に進みます。

ドコモUIMカードの電話帳に登録するときは

「UIM(FOMA)カード」を選択します。

3 各項目を入力

4 📷（完了）を押す

リダイヤル／着信履歴から電話帳に登録する

1 (リダイヤル)または(着信履歴)を押す

2 履歴を選んでMENU(サブメニュー)
▶「電話帳登録」を選択

3 「本体」を選択▶「新規登録」を選択

4 各項目を入力

5 (完了)を押す

登録した誕生日はスケジュールにも表示されます。スケジュールに表示しない場合は、誕生日入力画面のサブメニューから「スケジュール表示」→「スケジュール表示しない」を選択してください。

電話帳を修正する

1 ▶電話帳を検索して選択

2 MENU(サブメニュー)▶電話帳編集
▶修正したい項目を選択▶内容を修正

3 (完了)を押す

4 「YES」を選択

電話帳を削除する

1 ▶電話帳を検索して選択

2 MENU(サブメニュー)▶「電話帳削除」を選択

3 「1件削除」を選択

4 「YES」を選択

ｉモード／フルブラウザ

ｉモードサイトを表示する

ｉモードでは、ｉモード対応端末のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）」をご覧ください。
- FOMA端末ではSSL/TLS※対応のページを表示できます。
  ※SSL/TLSは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。

1 ｉαを押す

ｉMenuに接続します。項目（リンク先）の選択を繰り返して目的のサイトを表示します。

- 通信中は「⇔」が点滅します。

■ｉモードのご利用にあたって

- サイトやインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイトやインターネットホームページからｉモード対応端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 別のドコモUIMカードを差し替えたり、ドコモUIMカードを未挿入のまま電源ONにした場合、サイトから取り込んだ静止画・動画・メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画・動画・メロディなど）、「画面メモ」および「メッセージR/F」などを表示・再生できません。
- ドコモUIMカードにより表示・再生が制限されているファイルを待受画面・指定着信音などに設定されている場合、別のドコモUIMカードを差し替えたり、ドコモUIMカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

パソコン向けのホームページを表示する

パソコン向けに作成されたインターネットホームページを、フルブラウザの機能を利用して閲覧できます。

- 画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料の詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。
- フレームで構成されたインターネットホームページも閲覧できます。また、選択したフレームごとに表示することもできます。

1 MENU ▶ ｉモード／web ▶フルブラウザホーム

- お買い上げ時の状態では、フルブラウザを利用するかどうかの確認画面が表示されます。

- インターネットホームページによっては表示できない場合や正しく表示できない場合があります。
- Wi-Fi通信を使用してフルブラウザを利用することができます。Wi-Fi通信からFOMAネットワークに切り替えるとパケット通信料がかかります。また、FOMAネットワークに切り替えた場合、自動的にWi-Fi通信には戻りませんのでご注意ください。

ブラウザを切り替える

ｉモードで正しく表示できなかったインターネットホームページをフルブラウザに切り替えて表示します。

- ｉモードとフルブラウザでは課金体系が異なります。フルブラウザご利用時のパケット通信料は、データ通信量により高額になりますので、ｉモードパケット定額サービスのご利用をおすすめします。

1 ｉモードでページを表示中に MENU（）▶フルブラウザ ▶フルブラウザ切替

2 「YES」を選択

フルブラウザからｉモードに切り替えるには

1. フルブラウザでサイトを表示中に MENU（サブメニュー）▶ｉモードブラウザ▶ｉモードブラウザ切替

しらべる

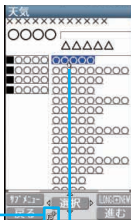
サイトの見かたと操作

サイト表示中の操作

画面のスクロール／反転表示の移動／ポインタの移動：

項目（リンク先）の選択：（選択）

前のページへ戻る：（戻る）

次のページへ進む：（進む）

フルブラウザで接続中は「」、「FB」が表示されます。

ポインタ

よく見るサイトを登録する

よく利用するホームページやサイトのURLをBookmarkに登録しておくと、簡単に表示できます。

1 サイト表示中にMENU（サブメニュー）▶Bookmark▶Bookmark登録

2「OK」を選択▶登録したいフォルダを選択

登録したサイトに接続するには

1. MENU▶ｉモード／web▶Bookmark
2. フォルダを選択▶Bookmarkを選択

サイトの内容を保存する

一度表示したページを画面メモとして保存しておくと、ｉモード接続せずに簡単に参照できます。

1 サイト表示中にMENU（サブメニュー）▶画面メモ▶画面メモ保存

2「本体」を選択▶「YES」を選択

保存した画面メモを表示するには

1. MENU▶ｉモード／web▶画面メモ
2. 「本体」または「microSD」を選択
3. 画面メモを選択

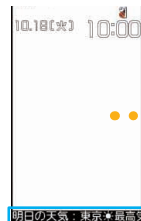
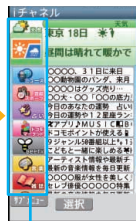
• サイト側で画面メモを保存できないように設定している場合など、サイトによっては画面メモを正しく保存できないことがあります。

i チャネル

ニュースや天気などの情報が i チャネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が待受画面にテロップとして流れます。また、CLRを押すことで最新情報がチャネル一覧画面に表示されます。
また、i チャネルにはドコモが提供する「ベーシックチャネル」とIP(情報サービス提供者)が提供する「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」は、配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。
お好きなチャネルを登録し利用できる「おこのみチャネル」は、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」共に詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。
国際ローミングサービスご利用の際は、自動更新・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。

- i チャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みには i モード契約が必要です）。
- i チャネルの詳細については、「ご利用ガイドブック（i モード<FOMA>編）」をご覧ください。

i チャネルを表示する

1 CLRを押す

テロップ

各チャネルを選択するとそれぞれの詳細情報画面が閲覧できます。

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

テロップの文字サイズは以下の操作で変更できます。
1. MENU ▶ i モード／web ▶ i チャネル ▶テロップ表示設定 ▶テロップ文字サイズ設定
2. 項目を選択

地図／GPS

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信してFOMA端末の位置情報を取得する機能です。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、FOMA端末の故障や誤動作、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
  - ・密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - ・建物の中や直下
  - ・地下やトンネル、地中、水中
  - ・高圧線の近く
  - ・自動車や電車などの室内
  - ・大雨や雪などの悪天候
  - ・かばんや箱の中
  - ・FOMA端末の周囲に障害物（人や物）がある
  - ・FOMA端末の画面、ボタン、マイクやスピーカー周辺を手で覆い隠すように持っている場合
- 位置提供や現在地通知のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらの機能の利用は有料となる場合があります。
- 圏外では現在地確認以外のGPS機能をご利用いただけません。
- 以下の場合は位置提供以外のGPS機能をご利用いただけません。
  - ・ダイヤルロック中
  - ・キーロック中
  - ・おまかせロック中

地図を見る

GPS対応ｉアプリが起動し、現在地や指定した場所の地図を見たりできます。

- お買い上げ時は「地図アプリ」が設定されています。

1 MENU ▶**地図／海外**▶**地図**

起動するGPS対応ｉアプリを変更するには

1. MENU ▶地図／海外▶地図･GPS設定／履歴▶地図設定▶地図選択
2. ｉアプリを選択▶「OK」を選択

ナビを利用する

GPS対応ｉアプリを起動してナビゲーションの機能を利用できます。

- お買い上げ時は「地図アプリ」が設定されています。

1 MENU ▶**地図／海外**▶**ナビ**

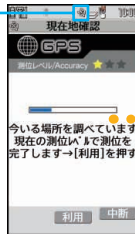
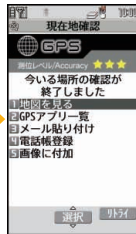
GPS対応ｉアプリを利用すると、利用するソフトの情報提供者に位置情報が送信されます。

現在地を確認する

現在地を測位します。測位した位置情報を利用して地図を表示したり、位置情報をｉモードメールで送信したりできます。

- 現在地確認をしたときのパケット通信料は無料です。ただし位置情報から地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。

1 MENU ▶**地図／海外**▶**現在地確認／通知**▶**現在地確認**

点滅します

測位中　　測位結果

現在地が測位され、測位レベルが表示されます。

現在地を地図で表示するには

1. 測位結果の画面で「地図を見る」を選択
- GPS対応ｉアプリが起動して地図を表示します。

オートGPSを利用する

現在地を自動で測位し、位置情報を定期的にGPSサービス提供者に送信することで、お客様の居場所に合わせて、天気情報や店舗情報などの周辺情報や観光情報をお知らせするサービスなど、様々なサービスをご利用いただけます。

- オートGPS機能に対応しているサービスを利用するには、各サービスのオートGPS機能対応ｉアプリからオートGPSサービス情報を設定してください。
- オートGPS機能を利用すると、お客様の移動状況に基づき自動的に現在地を測位して、サービス提供者に位置情報や歩数計情報を送信します（お客様の移動状況に応じて、おおむね5分に1回測位します）。
- オートGPS機能のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらのサービスの利用は有料となる場合があります。
- 位置情報の送信には、別途パケット通信料がかかる場合があります。
- お客様のご利用状況によっては、定期的な通信を行うことによりFOMA端末の消費電力が増加しますのであらかじめご了承ください。

オートGPS機能を設定する

オートGPS機能を利用するかどうかを設定します。（お買い上げ時は「ON」に設定されています。）
オートGPSでは、お客様の移動状況を判定する際に歩幅を利用するため、歩幅も設定します。

1 MENU▶地図／海外▶地図・GPS設定／履歴▶オートGPS▶オートGPS動作設定

2 「ON」を選択

3 歩幅（cm）を入力

ドコモが提供するサービスを利用する

ｉコンシェルまたはドコモが提供する各種サービスと連動したオートGPSのサービスを利用するかどうかを設定します。

- 「利用する」に設定すると、FOMA端末の位置情報をドコモに定期的に自動で送信します。
- ｉコンシェルや各種サービスは別途お申し込みや利用設定が必要です。

1 MENU▶地図／海外▶地図・GPS設定／履歴▶オートGPS▶ドコモ提供サービス設定

2 「利用する」または「利用しない」を選択

カメラ

撮影画面の見かたとタッチ操作

カメラを使って静止画や動画を撮影します。撮影時の操作をタッチパネルで行えます。

各種設定を確認できます。

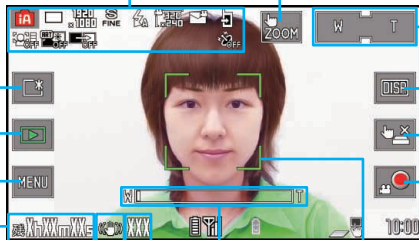
タッチするとディスプレイの照明を通常より明るくします。

タッチすると撮影した静止画や動画をピクチャアルバムで表示します。

タッチするとサブメニューを表示します。各種設定を変更できます。

動画の残り撮影可能時間が表示されます。

手ブレ補正設定中に表示されます。

静止画の残り撮影可能枚数が表示されます。

タッチするとタッチズームに切り替えます。ズームしたい箇所をタッチします。

W(広角)・T(望遠)をタッチしてズーム倍率を調節します。

タッチするごとにアイコンまたはガイドラインを表示/非表示に切り替えます。

タッチするとタッチシャッターに切り替えます。タッチパネルをタッチして撮影できます。

タッチすると動画を撮影します。

フォーカスが合うと緑色になります。

望遠・広角の状態が表示されます。

- レンズを直射日光に向けて放置しないでください。素子の褪色・焼付きを起こすことがあります。
- 電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。

静止画／動画を撮影する

静止画を撮影する

1 ［シャッター］を押す

2 ［シャッター］を押す

自動で保存されます。

動画を撮影する

1 ［シャッター］を押す

2 「 」をタッチして録画を開始

▶「 」をタッチして録画を終了

自動で保存されます。

- フルHD（1920×1080）またはHD（1280×720）の動画を撮影する場合は、スピードクラスに対応しているmicroSDカードが必要です。

撮影した静止画／動画を見る

撮影した静止画または動画をピクチャアルバムで表示します。撮影した静止画から人物の顔を検出して拡大したり、検出した顔に補正効果をかけることもできます。また、エフェクト機能を利用して表現力豊かなスライドショーを再生できます。

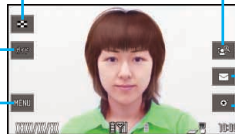
1 ▼を1秒以上押す

- 撮影画面で「 」をタッチしても起動します。

2 ファイルをタッチする

タッチすると静止画・動画の一覧画面を表示します。

タッチすると操作ガイドを表示します。

タッチするとサブメニューを表示します。

タッチすると検出した顔にズームします。

タッチすると表示中のファイルをｉモードメールに添付します。

タッチするとお気に入りに登録／解除します。

たのしむ

ピクチャジャンプを利用する

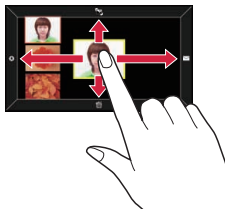
撮影した静止画などをタッチ操作でメールに添付したり、パナソニックの写真共有サイトPicMateやmixiなどに投稿したりできます。
また、Wi-Fi機能を利用してパソコンにバックアップしたり、大画面テレビで見たりすることもできます。
ピクチャジャンプには以下の機能を設定できます。

・メール添付	・PicMate投稿	・mixiフォト投稿
・GREEへ投稿	・ブログ投稿	・フォトパネル
・PCバックアップ	・写真を転送	・写真を表示
・お気に入り	・削除	・毎回選択

- Wi-Fi機能を利用するには、あらかじめP-05Cをアクセスポイント機器（親機）と接続し、設定する必要があります。

1 **ファイルの一覧画面でファイルをロングタッチする**

ディスプレイの上下左右に機能のアイコンが表示されます。

2 **ファイルをアイコンにスライドする**

さまざまな方法で撮影する

おまかせチョイスで撮影する

静止画を8枚続けて撮影します。FOMA端末がよく撮れている静止画をピントや構図から自動的に判断して表示します。

1 **[シャッター]▶MENU▶連写▶おまかせチョイス**

2 **連写速度を選択▶[シャッター]**

- 1番よく撮れていると判断された静止画が大きく表示されます。
- 上位の3枚には「👑」が付きます。
- 左右にスライドすると、前または次の静止画を大きく表示します。

3 **保存したい静止画をタッチして「保存」をタッチする**

- 「全保存」をタッチすると、すべての静止画を保存できます。

オートシャッターで撮影する

顔認識で検出した顔の数や顔と顔との距離を判別して自動で撮影します。
<例>3人で「グループシャッター」を使って撮影する

1 ［シャッター］▶MENU▶オートシャッター

2 「グループシャッター」をタッチする

3 「3人」をタッチする

3人の顔を検出するとセルフタイマーが作動し、約3秒後に撮影されます。
自動で保存されます。

光学手ブレ補正（O.I.S.）

撮影時の手ブレを補正して、ブレの少ない静止画や動画を撮ることができます。手ブレをセンサーが検出して、カメラユニット自体がそれを打ち消すように動くことにより、従来よりも手ブレによる画質の劣化を抑えることができます。

- P-05Cの光学手ブレ補正はカメラレンズ部が動く方式のため、カメラレンズ部の中心が外枠の中心に合っていない場合がありますが、性能には問題ありません。
- お買い上げ時は「オート」に設定されています。

1 撮影画面でMENUを押す

- MENUを押すごとに、「OFF」と「オート」が切り替わります。「OFF」に設定すると「」、「オート」に設定すると「」が表示されます。

歩きながらの動画撮影もブレの少ない画面で確認しながら撮影できます。

ワンセグのご利用にあたって

■ワンセグのご利用にあたって
ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
※「データ放送サイト」「ｉモードサイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
※「ワンセグ」サービスの詳細については、下記のホームページなどでご確認ください。
社団法人 デジタル放送推進協会
パソコン：http://www.dpa.or.jp/　ｉモード：http://www.dpa.or.jp/1seg/k/
■放送波について
ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。
次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。
・放送波が送信される電波塔から離れている場所
・山間部やビルの陰など
・トンネル、地下、建物内の奥まった場所など
受信状態を良くするためには、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。
■電池残量について
電池残量が少ないときにワンセグを利用しようとすると、電池残量警告音が鳴り、起動するかどうかの確認画面が表示されます。確認画面で約1分間何も操作しないと、自動的にワンセグが終了します。
■初めてワンセグを利用する場合の画面表示
お買い上げ後、初めてワンセグを利用する場合、免責事項の確認画面が表示されます。
◉（OK）を押したあとに表示される確認画面で「NO」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。

チャンネルを設定する

はじめてワンセグをご利用になるときや地域が変わったときなどは「チャンネル設定」を行う必要があります。「自動チャンネル設定」を行うと、受信できる放送局を自動で検索します。

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内で、ワンセグアンテナを伸ばして設定してください。

1 MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶ワンセグ▶チャンネル設定▶自動チャンネル設定

2 「YES」を選択

3 「YES」を選択▶タイトルを入力

地域を選択して設定するときは

1. MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶ワンセグ▶チャンネル設定▶地域選択
2. 地域を選択▶都道府県を選択
3. 「YES」を選択

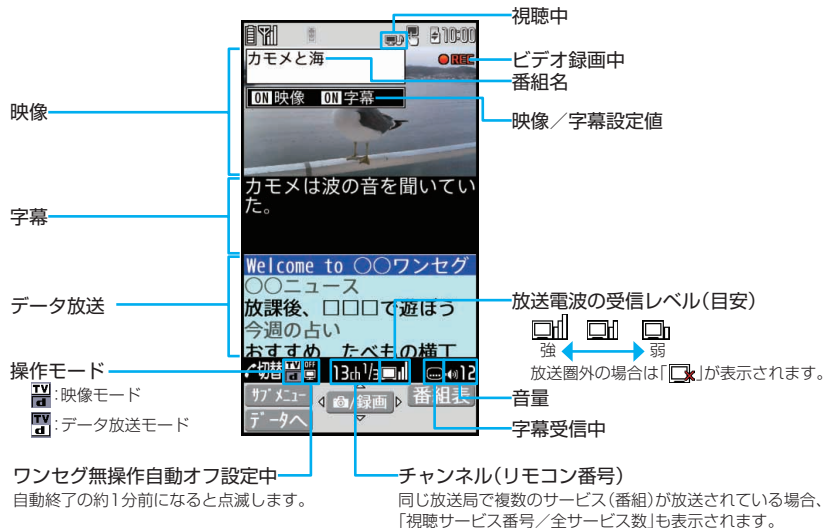
ワンセグを見る

1

TVを1秒以上押す

ワンセグが起動し、視聴画面が表示されます。

視聴中にCLRを押すごとに、消音／消音解除ができます。

視聴画面の見かたと操作

視聴画面の操作

チャンネル切替: 音量調節: または 映像／データ放送切替:

ビデオ録画: ( )(1秒以上)または [シャッター](1秒以上)

• 録画したビデオはmicroSDカードに保存されます。

ワンセグの視聴／録画を予約する

日時、チャンネル、番組名などを設定して視聴予約／録画予約を登録します。設定した日時になると、自動的に視聴／録画を開始します。

1 MENU ▶カメラ／TV／MUSIC ▶ワンセグ

2 「視聴予約リスト」または「録画予約リスト」を選択

3 TV（新規）を押す

4 各項目を入力

5 TV（完了）を押す

録画したビデオを再生する

1 MENU ▶データBOX▶ワンセグ

2 「ビデオ」を選択▶ファイルを選択

再生中にTVを押すごとに、消音／消音解除ができます。

たのしむ

Music

Music&Videoチャネルについて

Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大2時間程度の音声番組が自動配信されるサービスです。また、最大1時間程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。

■Music&Videoチャネルのご利用にあたって

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。(お申し込みにはｉモード契約およびｉモードパケット定額サービスのご契約が必要です。)
- Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいたあと、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にドコモUIMカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料がかかりますのでご注意ください。
- 国際ローミング中は番組設定や取得は行えません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。
  ※国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- Music&Videoチャネルの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

番組を設定する

1 MENU▶カメラ／TV ／ MUSIC ▶Music&Videoチャネル▶番組設定

2 画面に従って番組の設定操作を行う

番組の取得は夜間に自動的に行われます。

番組を再生する

1 MENU▶カメラ／TV ／ MUSIC ▶Music&Videoチャネル

2 番組を選択

Music&Videoチャネル再生時の操作

停止：(■)

一時停止：◉(▮▮)

または [シャッター]

音量調節：◉または▲▼

早送り：◉(押し続ける)

早戻し：◉(押し続ける)

着うたフル®をダウンロードする

サイトから着うたフル®をダウンロードします。

1 着うたフル®のダウンロードが可能なサイトで着うたフル®を選択

2 「保存」を選択▶「YES」を選択

3 保存したいフォルダを選択

- 「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

■音楽データの取り扱いについて

microSDカードに保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご使用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分にご配慮ください。

音楽データを再生する

ミュージックプレーヤーでは、サイトからダウンロードした着うたフル®やパソコンを利用してmicroSDカードに保存したWindows Media® Audio(WMA)ファイルなどを再生できます。

1 MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶ミュージックプレーヤー

2 「全曲」を選択▶曲を選択

ミュージックプレーヤー画面の操作

停止：TV（■）

一時停止：◎（❚❚）

　　または［ｼｬｯﾀｰ］

早送り：◎（押し続ける）

早戻し：◎（押し続ける）

音量調節：◎または▲▼

次の曲：◎または▼（1秒以上）

前の曲：◎または▲（1秒以上）

（再生時間が3秒以上は頭出し）

たのしむ

ｉアプリ／ｉウィジェット

ｉアプリとは、ｉモード対応端末用のソフトです。ｉモードサイトからさまざまなソフトをダウンロードすれば、自動的に株価や天気情報などを更新させたり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだり、FOMA端末をより便利にご利用いただけます。
ｉウィジェットとは電卓･時計や、メモ帳、株価情報など頻繁に利用する任意のコンテンツおよびツール(ウィジェットアプリ)に簡単にアクセスすることができる便利な機能です。
ウィジェットアプリはサイトからダウンロードすることにより、追加することが可能です。

- ｉアプリによってはご利用に通信料がかかる場合があります。
- 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。
- ｉウィジェット画面を表示すると、複数のウィジェットアプリが通信することがあります。詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかります。
- ｉアプリ／ｉウィジェットの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

ｉアプリを起動する

1 ｉαを1秒以上押す

2 ソフトを選択

ウィジェットアプリを起動する

1 ◎を押す

複数のウィジェットアプリを同時に起動できるｉウィジェットを表示します。

2 ウィジェットアプリを選択

ウィジェットアプリを個別で操作できます。

サイトからｉアプリをダウンロードする

1 ｉアプリのダウンロードが可能なサイトでソフトを選択

2 ダウンロードが完了したら「OK」を選択

- 「カスタマイズメニュー」に登録できるソフトの場合、登録するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「YES」を選択

- お買い上げ時に登録されているｉアプリは削除できます。削除したｉアプリは「P-SQUARE」のサイトから再びダウンロードできます。
  P-SQUAREでは、ｉアプリだけでなく、お買い上げ時に登録されているデコメ絵文字®、きせかえツール、マチキャラ、キャラ電、テンプレート、辞書、コンテンツパッケージをダウンロードできます。
  ｉMenu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE
- 再ダウンロードサービス期限
  ･「リバーシ」：2015年3月末日
  ･「ハイパー四川省」：2015年3月末日
  ･「モバイルGoogleマップ」：2014年5月末日
- 再ダウンロードサービスは、期限内であっても予告なく休止または終了する場合があります。

ｉモーション／ムービー

ｉモーションは、映像や音声、音楽のデータで、ｉモーション対応サイトからFOMA端末に取り込み再生できます。
また、ｉモーションを着信音に設定することもできます。
また、高速通信を利用して、インターネット上のポータル系サイトや動画専門サイトなどで提供されている様々なムービーを、滑らかに高画質で再生できます。

- ｉモーション／ムービーのダウンロード、ストリーミング時には大容量データを受信する可能性があります。送受信データが大きい場合はパケット通信料が高額になりますので、ｉモードパケット定額サービスのご利用をおすすめします。
- ｉモーション／ムービーには、ストリーミングタイプと標準／ダウンロードタイプの2種類があります。

種類	説明
ストリーミングタイプ（保存不可）	受信しながら同時に再生を行います。
標準／ダウンロードタイプ（保存可）	取得が完了するとデータ取得完了の画面が表示され、再生、保存などの操作ができます。

ｉモーション／ムービーを取得する

1 ｉモーション／ムービーの取得が可能なサイトでｉモーション／ムービーを選択

2 「保存」を選択▶「YES」を選択

3 保存したいフォルダを選択

ｉモーション／ムービーを再生する

1 MENU▶データBOX
▶ｉモーション・ムービー

2 フォルダを選択▶ファイルを選択

たのしむ

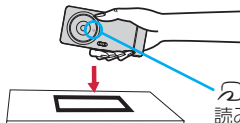
おサイフケータイ

おサイフケータイ／トルカについて

おサイフケータイは、ICカードが搭載されており、お店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただける機能です。さらに、読み取り機にFOMA端末をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して最新のクーポン券の入手、電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。また、安心してご利用いただけるよう、セキュリティも充実しています。
トルカとは、FOMA端末で取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。トルカは読み取り機やサイト、データ放送などから取得が可能で、メールや赤外線通信、iC通信、microSDカードを使って簡単に交換できます。取得したトルカは「おサイフケータイ」の「トルカ」内に保存されます。
おサイフケータイ、トルカの詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失･変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失･変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難･紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。
- おサイフケータイの機能ご利用時は、電源OFF時や、電源が切れてからもマークを読み取り機にかざしておサイフケータイの機能をご利用いただくことができます。ただし、電池パックを長時間利用しなかったり、電池切れアラームが鳴ったあとで充電せずに放置した場合はご利用いただけなくなる場合があります。

1 マークを読み取り機にかざす

FOMA端末を読み取り機に近づけて通信が可能な状態になると着信／充電ランプが光ります。

ｉコンシェル

ｉコンシェルとは、執事やコンシェルジュのように、お客様の生活をサポートするサービスです。お客様のさまざまなデータ（お住まいのエリア情報、メモ、スケジュール、トルカ、電話帳など）をお預かりし、メモやスケジュールの内容、生活エリアやお客様の居場所、趣味嗜好に合わせた情報を適切なタイミングでお届けします。FOMA端末に保存されたメモやスケジュール、ToDoに対して、関連する情報をお伝えしたり、スケジュールやトルカを自動で最新の情報に更新したり、電話帳にお店の営業時間などの役立つ情報を自動で追加したりもします。また、お預かりしているスケジュールや画像を友達や家族などのグループと共有することができます。お預かりしている画像は簡単にプリントすることもできます。ｉコンシェルの情報は、待受画面上でマチキャラ（待受画面上のキャラクタ）がお知らせします。

- ｉコンシェルの詳細については「ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）」をご覧ください。
- ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです。（お申し込みにはｉモードの契約が必要です）
- ケータイデータお預かりサービスのご契約をされていないお客様が、ｉコンシェルを新たにご契約になる場合、同時にケータイデータお預かりサービスにもご契約いただいたことになります。
- コンテンツ（インフォメーション、ｉスケジュールなど）によっては、ｉコンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- インフォメーションの受信には一部を除いて別途パケット通信料がかかります。
- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- ｉスケジュール・メモ・トルカ・電話帳などの自動更新時には別途パケット通信料がかかります。

インフォメーションを受信する

1 インフォメーションを受信するとが点滅し、待受画面に内容が表示される

2 メッセージを選択
▶インフォメーションを選択

ｉコンシェルを表示する

1 MENU▶ｉコンシェル
▶インフォメーション一覧

2 インフォメーションを選択

スケジュールを利用する

1 MENU▶便利ツール▶スケジュール

日付を選択すると選択した日付のスケジュールが表示されます。スケジュールを選択すると内容を確認できます。

2 MENU(サブメニュー)▶「新規登録」を選択

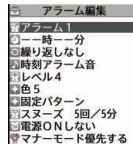
3 各項目を入力

4 TV(完了)を押す

アラームを利用する

1 MENU▶便利ツール▶アラーム

2 アラームを選んでTV(編集)を押す

3 各項目を入力

4 TV(完了)を押す

- 公共モード(ドライブモード)中、ダイヤルロック中、オリジナルロックで「アラーム」をロック中、おまかせロック中はアラーム音は鳴りません。

バーコードリーダーを利用する

カメラを使ってQRコードなどを読み取り、データとして登録できます。
データを使って電話をかけたり、ｉモードメールの作成、インターネット接続などができます。

■バーコードリーダーで読み取りを行うときは

- できるだけコードがガイド枠内に大きく写るようにします。
- オートフォーカスは約10cm以上の距離でフォーカスが合います。
  フォーカスが外れた状態で読み取りを行った場合は、認識率が低下します。
- コードに対してカメラが平行になるようにして読み取ってください。

■QRコードとは

縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。

- FOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

コード読み取り

<例>右記のQRコードを利用して
P-SQUAREに接続する

サイト接続用QRコード

1 MENU▶便利ツール▶バーコードリーダー

2 「コード読み取り」を選択

3 コードをガイド枠に合わせて◎を押す

オートフォーカス機能でフォーカスが合います。

4 ●(開始)を押してコードを読み取る

読み取り結果としてURLが表示されます。

5 URLを選択▶「ｉモードで接続」を選択

Bluetooth機能

ワイヤレスイヤホンセット 02(別売)などのBluetooth機器とワイヤレスで接続し、通話や音楽再生機能を利用できます。

Bluetooth機器をFOMA端末に登録する

Bluetooth機器を検索し、FOMA端末に登録します。あらかじめ、登録したいBluetooth機器を登録待機状態にしておきます。

＜例＞ワイヤレスイヤホンセット 02を登録してハンズフリーサービスで接続する

1 MENU ▶便利ツール▶Bluetooth ▶新規機器登録

2 「OK」を選択

3 ワイヤレスイヤホンセット 02を選択 ▶「YES」を選択

- ワイヤレスイヤホンセット 02以外のBluetooth機器を登録する場合は、「Bluetoothパスキー」を入力する必要があります。

4 「ハンズフリー」を選択

通話に利用するには「ヘッドセット」や「ハンズフリー」を、音楽再生などに利用するには「オーディオ」を選択します。

Bluetooth機器と接続する

1 MENU ▶便利ツール▶Bluetooth ▶登録機器リスト

2 Bluetooth機器を選択 ▶接続したいサービスを選択

Wi-Fi

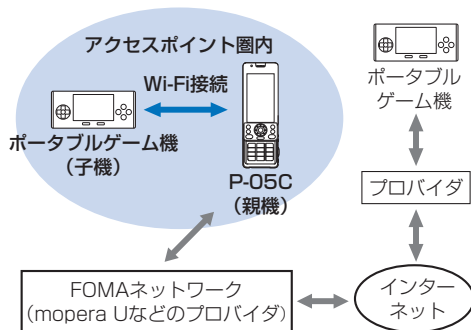
本FOMA端末はWi-Fiに対応しており、ご家庭のアクセスポイントや公衆無線LANサービスを通じて、フルブラウザを利用してインターネットに接続できます。
アクセスポイントモードを利用すれば、ポータブルゲーム機やパソコンなどのWi-Fi対応機器でのオンライン通信が楽しめます。

- アクセスポイントモードを利用するには、mopera Uなどのプロバイダへの接続が必要となります。
- お買い上げ時の接続先には「mopera U 128k」が設定されています。

アクセスポイントモードを利用する

1 MENU ▶**便利ツール**▶**Wi-Fi**▶**アクセスポイントモード(親機)**▶**接続開始**

- 初めて利用される際は、ご利用上の注意事項に承認いただく必要があります。

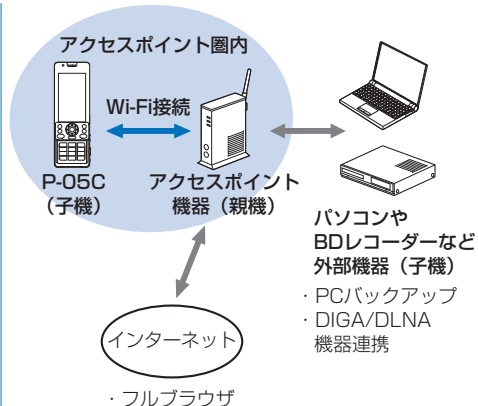
より便利に

クライアントモードを利用する

1 MENU▶便利ツール▶Wi-Fi
▶クライアントモード(子機)

2 接続先登録▶アクセスポイント検索

3 アクセスポイントを選択▶📷TV(接続)
▶「YES」を選択▶「YES」を選択

クライアントモードを開始または停止するには

待受画面で🔇を1秒以上押します。

PCバックアップ

クライアントモードを利用して、microSDカード内の著作権のない静止画や動画をパソコンにバックアップすることもできます。

より便利に

DIGA/DLNA機器連携

クライアントモードを利用して、P-05Cで撮影した静止画を外部機器で表示したり、DIGA機器で録画したテレビ番組などをP-05Cで再生したりできます。

- microSDカードが取り付けられていないと本機能はご利用になれません。

動画再生

DIGA機器内の動画をP-05Cで再生します。

1 MENU▶便利ツール▶DIGA/DLNA機器連携

2 外部機器の番組参照▶DIGA機器を選択

3 フォルダを選択▶ファイルを選択

静止画ダウンロード

外部機器内の静止画をP-05CのmicroSDカードにダウンロードします。

1 MENU▶便利ツール▶DIGA/DLNA機器連携

2 外部機器の写真取得▶外部機器を選択

3 ダウンロードしたいファイルにチェック▶📷TV(完了)

静止画表示

P-05CのmicroSDカード内にある静止画を外部機器側で表示します。

- ピクチャジャンプの「写真を表示」を利用しても操作できます。

1 MENU▶便利ツール▶DIGA/DLNA機器連携

2 外部機器へ写真表示▶外部機器を選択

3 ピクチャ▶項目を選択▶ファイルを選択

静止画アップロード

P-05CのmicroSDカード内にある静止画を外部機器内へアップロードします。

- ピクチャジャンプの「写真を転送」を利用しても操作できます。

1 MENU▶便利ツール▶DIGA/DLNA機器連携

2 外部機器へ写真転送▶外部機器を選択

3 ピクチャ▶項目を選択▶アップロードしたいファイルにチェック▶📷TV(完了)

歩数計を利用する

FOMA端末を持ち歩いている間の歩数を計測し、計測結果に基づいて歩行距離や消費カロリー、脂肪燃焼量を表示します。

■歩数計利用時のご注意

- メイン時計設定を行っていない場合は、利用できません。
- キャリングケースL 01／キャリングケース 02(別売)に入れるときは、キャリングケースを腰のベルトなどに装着してください。
- かばんなどに入れるときは、固定できるポケットや仕切りの中に入れてください。

■計測について

- 計測値はあくまで目安としてご活用ください。
- 電源が入っていないときやソフトウェア更新中は計測されません。
- 使用状況によっては、歩数が正確に計測されないことがあります。

1 MENU ▶便利ツール▶歩数計

歩数の計測履歴が表示されます。

- サブメニューから歩数計のON ／ OFFを設定したり、ユーザ情報を設定したりできます。

手書きフォト／メモを作成する

タッチパネルで画像に手書きの絵や文字を書いたり、デコレーションしたりできます。作成した手書きフォト／メモはJPEG画像として保存されます。

1 ノーマルメニュー▶ツール▶手書きフォト／メモ

2 背景を設定する▶手書きフォト／メモを編集する▶「編集完了」をタッチする

- 絵や文字を書いたり、スタンプを配置したりできます。

3 「縦向き保存」または「横向き保存」をタッチする

4 「ピクチャーに保存」をタッチする

より便利に

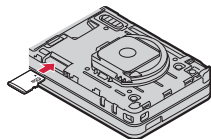
データ管理

microSDカードを利用する

microSDカードをお持ちでない場合は、別途お求めいただく必要があります。

- P-05Cでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています。(2011年5月現在)
  microSDカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  ・ｉモードから
  P-SQUARE(2011年5月現在)
  ｉMenu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE
  ・パソコンから
  http://panasonic.jp/mobile/
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- フルHD(1920×1080)またはHD(1280×720)の動画を撮影する場合は、スピードクラスに対応しているmicroSDカードが必要です。
- microSDカードの取り付け／取り外しをするときは、必ずFOMA端末の電源を切ってから行ってください。

microSDカードを取り付ける／取り外す

1 金属端子面を下にし、切り込みの部分が右側になっていることを確認して差し込む

- 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

microSDカードを取り外すときは

microSDカードをいったん奥まで押し込み、抜き取ります。

- microSDカードを取り付けたり取り外したりするときは、飛び出すことがありますのでご注意ください。

microSDカードの挿入箇所はルミックス　フォン　パネル内部にあります。

画面表示について

SD：microSDカード装着中
：データ読み込み／書き込み中
（microSDカードを抜いたり、FOMA端末の電源を切らないでください。）
：ライトプロテクトがかかっています。
：使用不可
（microSDカードを取り付け直してください。それでも「」が表示される場合は、「microSDチェックディスク」または「microSDフォーマット」を行ってください。）

microSDカードをフォーマットする

microSDカードを初めて利用するときには、フォーマット（初期化）する必要があります。

- フォーマットは必ずP-05Cで行ってください。パソコンなど他機器でフォーマットしたmicroSDカードは正常に使用できない場合があります。
- フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 MENU▶便利ツール▶microSD▶microSDデータ参照▶MENU（ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ）▶microSDフォーマット

2 端末暗証番号を入力▶「YES」を選択

より便利に

データをmicroSDカードへコピーする

<例>静止画を1件コピーする

1 MENU ▶データBOX▶マイピクチャ ▶フォルダを選択

2 コピーしたい画像を選んでMENU(サブメニュー) ▶「microSDへコピー」を選択 ▶「1件コピー」を選択

データをFOMA端末へコピーする

<例>静止画を1件コピーする

1 MENU ▶データBOX▶マイピクチャ ▶✉(microSD)▶フォルダを選択

2 コピーしたい画像を選んでMENU(サブメニュー) ▶「本体へコピー」を選択 ▶「1件コピー」を選択

microSDカード内のデータを表示する

<例>静止画を表示する

1 MENU ▶データBOX▶マイピクチャ ▶✉(microSD)

2 フォルダを選択▶画像を選択

保存容量を確認するときは

microSDカード全体の容量と保存容量(目安)を表示します。

1. MENU ▶便利ツール▶microSD ▶microSDデータ参照
2. MENU(サブメニュー)▶「microSD情報表示」を選択

データをmicroSDカードにバックアップする

FOMA端末内に登録している電話帳、スケジュール、メール、メモ、Bookmark、FOMA端末の設定内容・情報を一括してmicroSDカードにバックアップします。バックアップデータをFOMA端末に復元する場合も一括して復元します。

- バックアップはバックアップ項目のデータすべてを一括して行うため、データが1件も登録されていない項目もバックアップデータが作成されます。そのようなバックアップデータを復元した場合、バックアップ時にデータが1件も登録されていない項目についても上書きされます。

1 MENU ▶便利ツール▶microSD ▶バックアップ／復元 ▶microSDへバックアップ

2 端末暗証番号を入力▶「YES」を選択

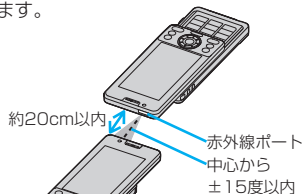
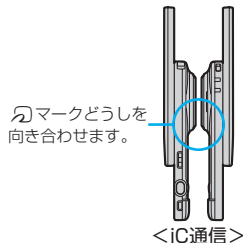
バックアップデータをFOMA端末に復元するには

1. MENU ▶便利ツール▶microSD ▶バックアップ／復元▶本体へ復元
2. 端末暗証番号を入力▶「YES」を選択

赤外線通信／iC通信を利用してデータを送受信する

赤外線通信機能、iC通信機能を持つ機器との間で電話帳などのデータを送受信できます。

- 相手機器、FOMA端末によっては送受信できないデータがあります。

より便利に

データを送信する

- 赤外線通信の場合、受信側を先に設定し、30秒以内に送信側の送信を開始します。

1 送信したいデータのサブメニュー ▶「赤外線送信」または「iC送信」を選択

- データによっては操作が異なる場合があります。

2「YES」を選択

赤外線通信でデータを受信する

1 MENU ▶便利ツール▶赤外線受信▶受信

2「YES」を選択

iC通信でデータを受信する

1 待受画面を表示した受信側端末の マークと送信側端末の マークを向き合わせる

2「YES」を選択

パソコンと接続する

FOMA端末とパソコンを接続しmicroSDカード内のWMAファイルや画像などをやりとりすることができます。
また、インターネットへ接続してデータ通信を行うこともできます。
※FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)またはFOMA USB接続ケーブル(別売)が必要です。
※データ通信を行うには、「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をインストールする必要があります。
詳しくは「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。
「FOMA通信設定ファイル」と「パソコン接続マニュアル」は、ドコモのホームページからダウンロードできます。
http://www.nttdocomo.co.jp/support/

ドコモ コネクションマネージャ

「ドコモ コネクションマネージャ」は、ドコモのデータ通信を行うのに便利なソフトウェアです。
お客さまのご契約状況に応じた、パソコン設定を簡単に行うことができます。
また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。
詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/service/connection_manager/

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。ソフトウェア更新についてはP.98参照。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

電源

FOMA端末の電源が入らない

…電池パックが正しく取り付けられていますか。（P.19参照）
…電池切れになっていませんか。（P.20参照）

充電

充電ができない
（着信／充電ランプが点灯しない、または点滅する）

…電池パックが正しく取り付けられていますか。（P.19参照）
…アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。
…アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。（P.20参照）
…ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダ（別売）にしっかりと接続されていますか。（P.20、P.21参照）
…卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れているときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
…充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して着信／充電ランプが点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。（P.20参照）

端末操作

操作中・充電中に熱くなる

…操作中や充電中、また、充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

電池の使用時間が短い

…圏外の状態で長時間放置するようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態になるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。

…電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。

…電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

電源断・再起動が起きる

…電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れているときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

ボタンを押しても動作しない

…ダイヤルロックを設定していませんか。(P.42参照)

…キーロックを設定していませんか。(P.43参照)

ドコモUIMカードが認識されない

…ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。(P.19参照)

時計がずれる

…長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。メイン時計設定の「自動時刻時差補正」や時差の補正方法が「自動」に設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。

通話

ダイヤルボタンを押しても発信できない

…指定発信制限を設定していませんか。

…オリジナルロックで「ダイヤル発信」をロックしていませんか。(P.43参照)

…ダイヤルロックを設定していませんか。(P.42参照)

…セルフモードを設定していませんか。

通話ができない
(場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)

…電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモUIMカードを入れ直してください。(P.19、P.22参照)

…電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は「Yııl」を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。

…指定着信拒否、指定着信許可など着信制限を設定していませんか。

…電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

おサイフケータイ

おサイフケータイが使えない

…電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、ICカードロックの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。(P.19、P.43参照)

…ICカードロックを起動していませんか。(P.42参照)

…FOMA端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。(P.80参照)

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

◎調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書または本FOMA端末に搭載の「使いかたガイド」の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

◎お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

・保証書の規定に基づき無料で修理を行います。

・故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。

・ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

・故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）

・お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

◎お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - ・改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ・液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    - ・接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって、クリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所:スピーカー、受話口部
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

iモード故障診断サイト

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

- 「iモード故障診断サイト」への接続方法
  iモードサイト:iMenu→お知らせ→サポート情報→お問い合わせ→故障・電波状況お問い合わせ先→iモード故障診断

サイト接続用QRコード

- 海外でのご利用は有料となります。

ソフトウェア更新

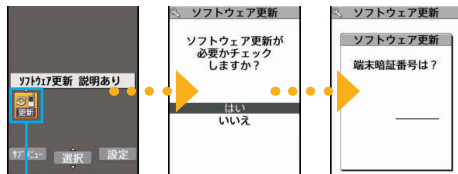
FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お客様サポート」にてご案内いたします。更新方法には、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3種類があります。

- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

■ご利用にあたって

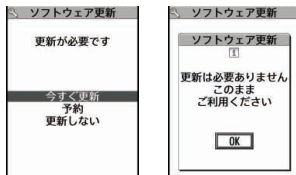
- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他の機能を利用できません。（ダウンロード中は音声着信が可能です。）
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

アイコンからソフトウェアを更新する

1 待受画面で「更新お知らせアイコン」を選択

更新お知らせアイコン

ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックします。

2 ソフトウェア更新が必要な場合には「更新が必要です」と表示され、「今すぐ更新」するか「予約」するかを選択できます。

- 「今すぐ更新」を選択した場合は、すぐに更新を行います。
- 書き換えが終了すると、自動的に再起動し、更新完了の確認画面が表示されます。
- 「予約」を選択した場合は、希望日時を選択できます。

メニューからソフトウェア更新をする

1 MENU ▶本体設定▶その他設定▶ソフトウェア更新

2 端末暗証番号を入力▶「更新実行」を選択

3 P.99「アイコンからソフトウェアを更新する」手順2へ進みます。

スキャン機能

FOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際にFOMA端末に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防げませんのであらかじめご了承ください。

パターンデータ更新

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

MENU▶本体設定▶ロック･セキュリティ▶スキャン機能▶パターンデータ更新▶YES▶YES

スキャン結果の表示

■スキャンされた問題要素の表示について

スキャン機能
以下の問題を検出しました
問題要素名1
問題要素名2
問題要素名3
問題要素名4
問題要素名5
他XXXX件

障害を引き起こす可能性を含むデータがあった場合は警告画面が表示されます。警告画面で iα(詳細)を押すと問題要素の名前が表示されます。

- 問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略されます。
- 検出した問題要素によっては、「詳細」が表示されない場合があります。

■スキャン結果の表示について

	画面	操作
警告レベル0	スキャン機能 正常に動作できない場合があります	●(OK)を押すと、動作を継続します。
警告レベル1	スキャン機能 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？	●(YES)を押すと、動作を中止して終了します。 TV(NO)を押すと、動作を継続します。
警告レベル2	スキャン機能 正常に動作できない場合があるため終了します	●(OK)を押すと、動作を中止して終了します。
警告レベル3	スキャン機能 正常に動作できない場合があります データを削除しますか？	TV(YES)を押すと、データを削除して終了します。 ●(NO)を押すと、動作を中止して終了します。
警告レベル4	スキャン機能 正常に動作できないためデータを削除します	●(OK)を押すと、データを削除して終了します。

- 上記以外の警告画面が表示される場合もあります。

その他

オプション・関連機器

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

・電池パック P20
・ルミックス　フォン　パネル　P50
・卓上ホルダ P46
・FOMA ACアダプタ 01/02※1
・FOMA海外兼用ACアダプタ 01※1
・FOMA DCアダプタ 01/02
・FOMA 補助充電アダプタ 01/02/03
・FOMA乾電池アダプタ 01
・FOMA ecoソーラーパネル 01
・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02※2
・FOMA USB接続ケーブル※2
・FOMA室内用補助アンテナ※3
・FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※3
・キャリングケースL 01
・キャリングケース 02
・車内ホルダ 01
・イヤホンマイク 01
・ステレオイヤホンマイク 01
・スイッチ付イヤホンマイク P001/P002※4
・平型スイッチ付イヤホンマイク P01/P02※5
・平型ステレオイヤホンセット P01※5
・イヤホンジャック変換アダプタ P001※5
・外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
・イヤホン変換アダプタ 01
・平型コネクタ・ステレオミニジャック変換アダプタ P01※5
・Bluetoothヘッドセット F01※6
・Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
・ワイヤレスイヤホンセット P01/02
・骨伝導レシーバマイク 01※5/02
・車載ハンズフリーキット 01※7
・FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01

※1　ACアダプタでの充電方法についてはP.20、P.21参照。
※2　USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※3　日本国内で使用してください。
※4　イヤホンジャック変換アダプタ P001と外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※5　外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※6　Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01が必要です。
※7　P-05Cを充電するためには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。

付録

機能一覧表

 の項目はP.44「各種機能の設定をリセットする」を行うと、お買い上げ時の設定に戻ります。

分類	項目	詳細
メール	受信BOX	
	送信BOX	
	保存BOX	
	送受信BOX	
	新規メール作成	
	新規デコメアニメ作成	
	デコメテンプレート	デコメール
		デコメアニメ
	新規SMS作成	
	メール／メッセージ問合せ	
	SMS問合せ	
	メール選択受信	
	メール設定	受信設定
		表示設定
		本文入力時予測
		冒頭文／署名設定
		定型文／単語登録
		BOXロック
		メール／メッセージ問合せ設定
		アドレス･迷惑メール設定
		編集時自動保存設定
		SMS設定
		緊急速報「エリアメール」設定
		かんたんデコメ設定
		メール設定確認
		メール設定リセット

分類	項目	詳細
iモード／web	i Menu･検索	
	Bookmark	
	画面メモ	
	サイト閲覧履歴	
	URL入力	URL入力
		URL入力履歴
	iチャネル	iチャネル一覧
		テロップ表示設定
		iチャネル初期化
	iモード／web設定	iモードブラウザ設定
		フルブラウザ設定
		共通設定
		iモード設定確認
		iモード設定リセット
	フルブラウザホーム	

分類	項目	詳細
iアプリ	ソフト一覧（本体）	
	iアプリ（microSD）	ソフト一覧（microSD）
		iアプリ使用データ
	iアプリコール履歴	
	iアプリ実行情報	待受画面終了情報
		ウィジェットアプリ終了情報
		セキュリティエラー履歴
		自動起動情報

iアプリ	ｉアプリ実行情報	トレース情報
	ｉアプリ設定	自動起動設定
		ソフト情報表示設定
		ｉウィジェット海外利用設定
		ｉウィジェット効果音設定
		オートGPS優先設定
		ｉアプリコール機能設定
		ｉアプリ音量設定
		ｉアプリ音優先設定
		α照明設定
		αバイブレータ
		ｉアプリ設定確認

カメラ／TV／MUSIC	カメラ	デジカメモード
		フォトモード
		ムービーモード
		ピクチャアルバム
	ワンセグ	ワンセグ視聴
		番組表
		視聴予約リスト
		録画予約リスト
		予約録画結果
		テレビリンク
		チャンネルリスト選択
		チャンネル設定
		ユーザ設定
	ミュージックプレーヤー	
	Music&Videoチャネル	

データBOX	マイピクチャ	
	ミュージック	
	Music&Videoチャネル	
	ｉモーション･ムービー	
	メロディ	
	コンテンツパッケージ	
	マイドキュメント	
	きせかえツール	
	マチキャラ	
	キャラ電	
	ワンセグ	イメージ
		ビデオ
		しおり
	ドキュメントビューア	
	フォント	
	SDその他ファイル	
	全検索履歴	

便利ツール	バーコードリーダー	コード読み取り
		保存データ一覧
	電卓	
	アラーム	
	赤外線受信	受信
		全件受信
	スケジュール	
	メモ	
	歩数計	

便利ツール	ケータイデータお預かりサービス	データ確認／ダウンロード
		電話帳等を更新
		画像を更新
		設定情報を更新
		詳細設定／通信履歴
	microSD	microSDデータ参照
		バックアップ／復元
	使いかたガイド	
	ボイスレコーダー	
	Bluetooth	登録機器リスト
		新規機器登録
		Bluetoothオン･Bluetoothオフ
		接続待機
		ダイヤルアップ登録待機
		Bluetooth設定
	Wi-Fi	クライアントモード（子機）
		アクセスポイントモード（親機）
	mixi接続設定	
	PicMate接続設定	
	GREE投稿設定	
	PCバックアップ	バックアップ
		バックアップ先登録
		バックアップ先一覧
		バックアップ履歴
		バックアップ自動通知
	DIGA/DLNA機器連携	
	DIGAリモコン	
	おしゃべり機能	

便利ツール	辞典	直接入力
		検索履歴
	定型文／単語登録	定型文
		単語登録
	ダウンロード辞書	
	ドコモへのお問合せ	

電話機能	電話帳	電話帳検索
		電話帳登録
		UIM(FOMA)カード操作
		電話帳設定･確認
		電話帳画像転送
	直デン	
	伝言メモ／音声メモ	メモの再生／消去
		テレビ電話メモの再生／消去
		音声メモ録音
		伝言メモ設定
	発着信履歴	発信履歴
		着信履歴
		リダイヤル
	発着信･通話設定	迷惑電話ストップ
		番号通知お願いサービス
		発信者番号通知
		通話中の着信動作
		発信詳細設定
		着信詳細設定
		通話中詳細設定
		イヤホン機能設定
		着信拒否設定

電話機能	発着信・通話設定	着信通知
	テレビ電話設定	受信画質設定
		画像選択
		音声自動再発信
		テレビ電話切替機能通知
		テレビ電話着信拒否
		ハンズフリー切替
		パケット通信中着信設定
	通話時間・料金	通話時間・料金
		通話料金通知
		積算リセット
		積算料金自動リセット
	声の宅配便	メッセージ再生
		設定
	2in1	
	メロディコール	
	留守番電話サービス	留守番メッセージ再生
		留守番サービス開始
		留守番サービス停止
		留守番呼出時間設定
		留守番設定確認
		留守番サービス設定
		メッセージ問合せ
		件数増加鳴動設定
		表示消去
		留守番テレビ電話設定

電話機能	その他ネットワークサービス	転送でんわ
		キャッチホン
		英語ガイダンス
		遠隔操作設定
		マルチナンバー
		デュアルネットワーク
		追加サービス
		OFFICEED

本体設定	画面・ディスプレイ	きせかえツール設定
		待受画面設定
		カラーテーマ設定
		各種画面設定
		マチキャラ設定
		ソフトキー
		プライベートメニュー設定
		メニューテーマ
		ピクチャ表示設定
		表示アイコン説明
		表示アイコン設定
		ビューブラインド
		表示画質モード設定
		液晶AI
		メールテロップ表示設定
		インフォメーション表示設定

本体設定	音／バイブ／マナー	着信音量
		着信音選択
		その他音設定
		バイブレータ設定
		マナーモード設定
		ステレオ・3Dサウンド設定
		マチキャラおしゃべり設定
	照明・イルミネーション	照明設定
		イルミネーション設定
	文字表示／入力	フォント設定
		文字入力機能
		Select language
	時計	メイン時計設定
		サブ時計設定
		待受時計表示
		自動電源ON
		自動電源OFF
	ロック・セキュリティ	ロック
		キーロック
		シークレットモード
		シークレット専用モード
		着信拒否設定
		端末暗証番号変更
		UIM(FOMA)カード設定
		スキャン機能
		閉じタイマーロック設定
		ICカードロック設定

本体設定	電池	ecoモード
		ecoモード設定
		ecoモード自動起動設定
		使用履歴
		電池残量
	外部接続	USBモード
		Bluetooth
		イヤホンマイク
		フェムトセル
		Wi-Fi
	その他設定	待受時タッチメニュー起動設定
		スピードセレクター設定
		モーションコントロール設定
		カメラボタン設定
		アラーム通知設定
		セルフモード
		設定リセット
		端末初期化
		ソフトウェア更新
		クイック検索接続先設定

地図／海外	地図	
	ナビ	
	イマドコサーチ	イマドコかんたんサーチ
		イマドコサーチ
	ｉエリア―周辺情報―	
	GPSアプリ一覧	
	現在地確認／通知	現在地確認
		現在地通知

地図／海外	地図・GPS設定／履歴	位置履歴
		地図設定
		GPSボタン設定
		位置提供設定
		オートGPS
		測位モード設定
		現在地通知先登録
		サービス利用設定
		サービス利用／接続先設定
		イルミネーション／鳴動音設定
	海外ネットワークサーチ	3G/GSM切替
		ネットワークサーチ設定
		優先ネットワーク設定
		オペレータ名表示設定
		在圏状態表示
		再検索アイコン表示設定
	海外設定	お問合せ(海外)
		サブ時計設定
		ローミング時着信規制
		ローミング着信通知
		ローミングガイダンス
		国際ダイヤルアシスト
		ｉモードサービス利用設定
		メール／メッセージ利用設定
		ネットワークサービス
	海外ご利用ガイド	

ｉコンシェル

プロフィール

おサイフケータイ	ICカード一覧	
	DCMX	
	トルカ	
	ICカードロック設定	ICカードロック
		電源OFF時ICロック設定
	設定	トルカ設定
		放送トルカ取得設定
		ICカード通知設定
	ICオーナー確認	
	ICオーナー変更	
	ｉモードで探す	

その他	文字入力
	ホームメニュー
	カスタマイズメニュー

主な仕様

■本体

品名			P-05C
サイズ(閉じたとき)			高さ:約116mm　幅:約52mm 厚さ:約17.7mm(最厚部:約24mm)
質量(電池パック装着時)			約149g
連続待受時間	FOMA/3G	3G/GSM切替[3G]	移動時:約350時間
		3G/GSM切替[自動]	静止時:約530時間 移動時:約330時間
	GSM	3G/GSM切替[自動]	静止時:約230時間
連続通話時間	FOMA/3G		音声電話時　:約210分 テレビ電話時:約100分
	GSM		音声電話時　:約220分
ワンセグ視聴時間			約310分 (ワンセグecoモード時:約350分)
充電時間			ACアダプタ:約120分 DCアダプタ:約120分
ディスプレイ	方式		TFT　262,144色
	サイズ		約3.3inch
	画素数		409,920画素 (480ドット×854ドット)
撮像素子	種類		CMOS
	サイズ		1/2.4inch
カメラ部	有効画素数		約1320万画素
	記録画素数(最大時)		約1300万画素
記録部	静止画記録枚数※1		最大約1400枚(お買い上げ時)
	静止画連写撮影		デジカメモード連写設定時 3M:8枚　2Mワイド:8枚 2M:8枚　待受:8枚 連写モード時 VGA:4枚　QVGA:5～10枚 QCIF:5～20枚　Sub-QCIF:5～20枚
音楽再生	連続再生時間※2		SDオーディオ(バックグラウンド再生対応):約6500分※3 着うたフル®(バックグラウンド再生対応):約6000分※3 ｉモーション(着うた®を含む):約420分※3 WMAデータ(バックグラウンド再生対応):約4600分 Music&Videoチャネル(バックグラウンド再生対応) 音声:約6000分　動画:約270分
保存容量	着うた®		約201Mバイト(お買い上げ時)※4
	着うたフル®		
無線LAN			IEEE802.11b/g/n(2.4GHz)準拠

「着うた」は株式会社ソニー･ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

※1　記録画素数:QVGA(320×240)、クオリティ:スタンダード、ファイルサイズ:25Kバイト

※2　連続再生時間とは、FOMA端末を閉じた状態で、ステレオイヤホンマイク 01(別売)を使用して再生できる時間の目安です。

※3　ファイル形式:AAC形式

※4　静止画、ｉモーション、メロディ、PDFデータ、Music&Videoチャネル、きせかえツール、マチキャラ、コンテンツパッケージ、フォント、画面メモ、トルカ、ｉアプリと共有

■電池パック

品名	電池パック P20
使用電池	Li-ion(リチウムイオン)電池
電圧	3.7V
容量	800mAh

■撮影の仕様

<静止画(フォトモード)>

ファイル形式(拡張子)	JPEG(jpg)
P-05Cに保存可能な枚数	最大約1400枚※1※2
microSDカード(2Gバイト)に保存可能な枚数	最大約61466枚※2

<動画(ムービーモード)>

ファイル形式(拡張子)	MP4、ASF(3gp、asf)
P-05Cに録画可能な時間	最大約30秒※1※3
microSDカード(2Gバイト)に録画可能な時間	最大約180分※4

<ズーム>

静止画(フォトモード)	ズーム段階	21段階
	最大倍率	約16.2倍
動画(ムービーモード)	ズーム段階	21段階
	最大倍率	約10.8倍

※1 お買い上げ時の場合

※2 記録画素数:QVGA(320×240)、クオリティ:スタンダード、ファイルサイズ:25Kバイトの条件で保存できる枚数

※3 記録画素数:VGA(640×480)、動画容量:メール制限(大)、クオリティ:スタンダード、撮影種別設定:通常の条件で保存できる、1回あたりの最大録画時間

※4 記録画素数:VGA(640×480)、動画容量:長時間、クオリティ:スタンダード、撮影種別設定:通常の条件でmicroSDカード(2Gバイト)に保存できる、1回あたりの最大録画時間

■ワンセグの録画時間

microSDカード(2Gバイト)に保存可能な最大録画時間(合計)	約640分
microSDHCカード(32Gバイト)に保存可能な最大録画時間(合計)	約10240分

- 最大録画時間は、映像:224kbps、音声:48kbps、データ(字幕含む):52kbpsの場合の目安であり、放送局、番組によって録画時間は異なります。
- SD-VIDEO規格では、連続録画最大ファイルサイズは2Gバイトまでです。

■FOMA端末の保存・登録件数

機能		保存・登録件数
電話帳		1000
スケジュール		2500
メール	受信メール	最大2500※1※2
	送信メール	最大1000※2
静止画		最大3500※2
iモーション		最大3500※2
Music&Videoチャネル	配信番組	2
	保存番組	最大10※2
きせかえツール		最大3500※2
iアプリ		最大100※2

※1 お買い上げ時に登録されているデータも含めます。

※2 データ量によって実際に保存・登録できる件数が少なくなる場合があります。

携帯電話機の比吸収率など

携帯電話機の比吸収率(SAR)

この機種P-05Cの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.482W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することが出来るハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ:
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ:
http://panasonic.jp/mobile/

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。(平成23年5月現在)

その他

European RF Exposure Information

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.496 W/kg.**
While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet* the EU requirements for RF exposure.**

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Declaration of Conformity

CE0168

The product "P-05C" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://panasonic.net/pmc/support/index.html.

※The European RTTE approval of this product is limited to the use of the P-05C handset, Battery Pack and FOMA AC Adapter for Global use (100 to 240 V AC) only. Other accessories are not part of the approval.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules.
  Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and
  (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. government's requirements for exposure to radio waves.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base

station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in various positions and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 1.010 W/kg, and when worn on the body in a holster or carry case, is 0.412 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after search on FCC ID UCE211039A.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.
DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.
HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.
PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.
INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.
Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.
Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.
For other Medical Devices:
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモーション」「デコメール®」「デコメ®」「デコメ絵文字®」「キャラ電」「トルカ」「きせかえツール」「ケータイデータお預かりサービス」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「デュアルネットワーク」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「DCMX」「セキュリティスキャン」「ｉエリア」「WORLD WING」「公共モード」「メッセージF」「マルチナンバー」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「iCお引っこしサービス」「マチキャラ」「OFFICEED」「2in1」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「エリアメール」「デコメアニメ®」「ｉコンシェル」「ｉウィジェット」「ｉアプリコール」「ｉスケジュール」「docomo PRIME series」「かんたんデコメ」「声の宅配便」および「i-mode」ロゴ「i-αppli」ロゴ「Music&Videoチャネル」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は、米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2011 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- 「AXISフォント」は株式会社アクシスの登録商標です。また、「AXIS」フォントはタイププロジェクト株式会社が制作したフォントです。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Document Viewer、NetFront Sync Clientを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
  Copyright © 2011 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Google、モバイルGoogleマップは、Google Inc.の登録商標です。
- Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
  Mascot Capsule®は株式会社エイチアイの商標です。
- 「ブルーレイディスク」「ブルーレイ」はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- AirStation™, AOSS™は、株式会社バッファローの商標です。

- DLNA®は、Digital Living Network Allianceの商標、サービスマーク、または認証マークです。

- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、株式会社ACCESSのIrFrontを搭載しています。
IrFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
- The IrDA® Feature Trademark is owned by the Infrared Data Association and used under license therefrom.
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Player、Adobe® Flash® Lite®およびAdobe Reader® Mobile テクノロジーを搭載しています。
Powered by ADOBE® FLASH®

Adobe、Adobe Reader、Flash、およびFlash LiteはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- 「CROSS YOU」は、ソニー株式会社の商標です。
- 本製品にはGNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
当該ソフトウェアに関する詳細はメインメニュー→「データBOX」→「マイドキュメント」→「ｉモード」→「GPL/LGPLライセンス説明」をご参照ください。
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。

- テキストプロファイラはオムロン株式会社の商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- MPEG Audio Layer-3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonからライセンスを受けています。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License、AVC Patent Portfolio License及びVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  - 画像情報をMPEG-4 Visual、AVC、VC-1規格に準拠して(以下、MPEG-4/AVC/VC-1ビデオ)を記録すること。
  - 個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVC/VC-1ビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVC/VC-1ビデオを再生すること。

  詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- 本製品は、InterDigital Technology社からのライセンスに基づき生産・販売されています。
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
Windows Vistaは、Windows Vista® (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- 本製品に搭載しているWindows Media Technologyはマイクロソフト社および第三者の知的財産権により保護されています。本製品以外にマイクロソフト社およびその関連会社の許可なくその技術を使用することおよび頒布することは禁止されています。

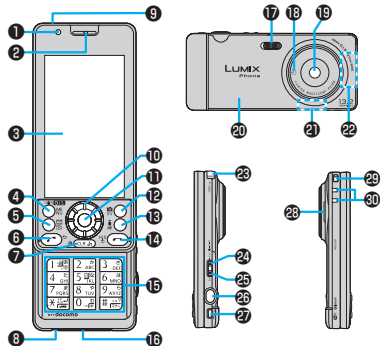
- 本製品は、マイクロソフト社の知的財産権により保護されています。マイクロソフトもしくはマイクロソフトによる承認を受けた子会社からのライセンスを得ずに、本製品以外で技術の使用もしくは頒布を行うことは禁止されています。
- コンテンツプロバイダーは、本製品に含まれるWindows Mediaデジタル著作権管理技術(WM-DRM)によってコンテンツの内容を保護し(以下、"保護コンテンツ"といいます)、そのコンテンツの著作権を含む知的財産権が不正に利用されないようにしています。本製品は、保護コンテンツの再生にWM-DRMソフトウェアを使用しています。本製品のWM-DRMソフトウェアの安全性が損なわれた場合、保護コンテンツの所有者はWM-DRMソフトウェアによる本製品の保護コンテンツの複製、表示、再生を可能にする新ライセンス取得権の無効化をマイクロソフトに要求できます。無効化は、WM-DRMソフトウェアによる保護コンテンツ以外のコンテンツの再生能力に影響するものではありません。インターネットもしくはパソコンから保護コンテンツのライセンスをダウンロードする際に、無効化されたWM-DRMソフトウェアリストが製品に送付されます。Microsoftはライセンスとともに、保護コンテンツ所有者に代わり無効化リストを製品にダウンロードする場合があります。
- 本製品に搭載しているHMM音声合成エンジンは、修正BSDライセンスを使用しています。

The HMM-Based Speech Synthesis System (HTS)
hts_engine API developed by HTS Working Group
http://hts-engine.sourceforge.net/

English

Quick Manual

The latest information of this manual can be downloaded from the DOCOMO website.
Further, the detailed English manual can be downloaded from the following URL:
http://www.nttdocomo.co.jp/english/support/trouble/manual/download/index.html

Part Names

❶Light sensor
❷Earpiece
❸Display/Touch panel
❹ MENU Menu key
❺ Mail key
❻ Start key
❼ CLR Clear key/i-Channel key
❽Microphone
❾Infrared data port
❿ Speed selector
⓫Call/Charging indicator
⓬ Camera key/1Seg key
⓭ i-mode key/i-αppli key
⓮ Power/End key
⓯Numeric keys
⓰Connector terminal
⓱Flash
⓲ mark
⓳Camera
⓴LUMIX Phone panel
㉑GPS antenna
㉒FOMA antenna
㉓1Seg antenna
㉔ Side ▲ key
㉕ Side ▼ key
㉖ [Shutter] Shutter key
㉗ Multi key
㉘Speaker
㉙Strap hole
㉚Charging terminal

＊Operate from the Stand-by display. Press (hang-up key) to return to the Stand-by display after each operation.

Basic Operation

Power ON/OFF

■**Power On**

Press and hold (power key) for at least one second.

■**Power Off**

Press and hold (power key) for at least two seconds ▶ ***YES***

Switch to English Display

MENU ▶ 本体設定 ***(Setting)*** ▶ 文字表示／入力 ***(Text display/input)*** ▶ ***Select language*** ▶ ***English***

Initial Settings

The Initial Setting display appears after turning on the power for the first time.

Turn on the power ▶ YES
▶ Set the date and time
▶ Set your Terminal Security Code
▶ Set font size
▶ Set Location Request Set.
▶ Set Keypad Sound
▶ Set Speed Selector Sound.

＊The Terminal Security Code is set to “0000” at purchase.

Check My Phone Number

MENU ▶ ***Profile***

Set Ring Tones

MENU ▶ ***Setting*** ▶ ***Sound/Vib./Manner*** ▶ ***Select ring tone*** ▶ Select an incoming type ▶ ***Select ring tone*** ▶ Select a type of ring tone ▶ Select a folder ▶ Select a ring tone.

Calls

Make Voice Calls/Videophone Calls

Enter a phone number with area code ▶ (call key)

Press (camera/TV key) to make a videophone call.

Answer Calls

Press (call key).

End Calls

Press (hang-up key).

Redial

(navigation key) ▶ Select an item ▶ (call key)

Make Calls to Received Calls

(navigation key) ▶ Select an item ▶ (call key)

Call Abroad from Japan

Press and hold 0 for at least one second to enter “+” ▶ Country code ▶ Area code (city code) ▶ Destination phone number ▶ (call key) ▶ ***Dial***

＊You can make international calls also by the following ways:

- 0 1 0 ▶ Country code ▶ Area code (city code) ▶ Destination phone number ▶ (call key)
- 0 0 9 1 3 0 ▶ 0 1 0 ▶ Country code ▶ Area code (city code) ▶ Destination phone number ▶ (call key)

＊Dial the other party’s phone number excluding “0” at the beginning of the area code (city code). (Except for some countries and regions.)

Phonebook

Store in Phonebook (Phone)

Press and hold (navigation key) for at least one second ▶ ***Phone*** ▶ Enter a name ▶ Select a necessary item and enter contents ▶ (camera/TV key)

Retrieve from All Phonebook Entries

(navigation key) ▶ ***Search all*** ▶ Use (navigation key) to select a Phonebook entry.

Character Entry

Select Input Mode

From the message entry display, you can press (mail key) to select input modes.

Input mode

Entering Characters

<Ex.> Enter "DOCOMO" in a mail message.

1. (✉) ▶ (✉) ▶ Select the text field.
2. Check to see if the input mode is "E".
3. Press (3) four times
   ▶ (6) three times
   ▶ (2) three times
   ▶ (6) three times ▶ (◎)
   ▶ (6) once ▶ (◎)
   ▶ (6) three times.

■Other key operations

(📷TV): Enter symbols, smileys, or URLs.

(i ɑ): Enter pictograms, Deco-mail pictograms, or Deco-mail pictures.

(✳): Enter a line feed. (You can switch between uppercase and lowercase by pressing this key after you enter a character.)

(↶) (for at least one second): Undo the fixed/erased characters.

(CLR): Clear text.

Mail

Send i-mode Mail

(✉) ▶ (✉) ▶ Enter each item ▶ (📷TV)

Enter an address.
Enter a subject.
Enter text.

Read Received Mail

(✉) ▶ ***Inbox*** ▶ Select a folder ▶ Select a message you want to read.

＊ When a mail message arrives, "✉" appears at the top of the display.

Check Mail/message

(✉) (for at least one second)

Reply/Forward

■Replying

Call up a mail message to be replied ▶ (📷TV) ▶ Enter each item ▶ (📷TV)

■Forwarding

Call up a mail message to be forwarded ▶ (MENU) ▶ ***Reply/Forward*** ▶ ***Forward*** ▶ Enter each item ▶ (📷TV)

Camera

Shoot Still Images

( )[Shutter] ▶ ( )[Shutter]

Shoot Moving Pictures

( )[Shutter] ▶ Touch [●] ▶ Touch [■].

Play Back Shot Images/Moving Pictures

Press and hold [▾] for at least one second ▶ Touch a file.

1Seg

Channel Setting

(MENU) ▶ ***CAMERA/TV/MUSIC*** ▶ ***1Seg*** ▶ ***Channel setting*** ▶ ***Auto channel setting*** ▶ ***YES*** ▶ ***YES*** ▶ Enter a title.

Select Channel List

(MENU) ▶ ***CAMERA/TV/MUSIC*** ▶ ***1Seg*** ▶ ***Channel list*** ▶ Select a channel list.

Activate 1Seg

(📷TV) (for at least one second)

Music Playback

Playback by Music&Video Channel

(MENU) ▶ ***CAMERA/TV/MUSIC*** ▶ ***Music&Video Channel*** ▶ Select a program.

Playback by MUSIC Player

(MENU) ▶ ***CAMERA/TV/MUSIC*** ▶ ***MUSIC Player*** ▶ ***All music*** ▶ Select a music file.

Network Services

Voice Mail Service

■Activating

MENU ▶ ***TEL function***
▶ ***Voice mail service*** ▶ ***Activate***
▶ ***YES*** ▶ ***YES***
▶ Enter a ring time (seconds).

■Playing Back Messages

MENU ▶ ***TEL function***
▶ ***Voice mail service***
▶ ***Play messages*** ▶ ***Play (voice call)*** or ***Play (videophone)*** ▶ ***YES***
▶ Operate following the voice guidance.

Call Waiting Service

■Activating

MENU ▶ ***TEL function***
▶ ***Other network serv.*** ▶ ***Call waiting***
▶ ***Activate*** ▶ ***YES***

■Answering an Incoming Call during a Call

A call comes in during a call ▶ (call key)
Each time you press (call key), you can switch the parties you talk with.

Call Forwarding Service

■Activating

MENU ▶ ***TEL function***
▶ ***Other network serv.***
▶ ***Call forwarding*** ▶ ***Activate***
▶ ***Register fwd number*** ▶ Enter the phone number of the forwarding destination ▶ ***Set ring time***
▶ Enter a ring time (seconds)
▶ ***Activate*** ▶ ***YES***

Overseas Use

Make Calls while Abroad

Make a Call in Country You Stay

Enter a destination phone number
▶ (call key)
Press (TV key) to make a videophone call.

■Making a Call Using Phonebook

Call up the detailed Phonebook display ▶ (call key) ▶ ***Original phone No.***

Make a Call to Outside the Country You Stay in (Including Japan)

■Making a Call Using Phonebook

Call up the detailed Phonebook display ▶ (call key) ▶ ***Dial***
Press (TV key) to make a videophone call.

■Making a Call Using "+"

Press and hold (0) for at least one second to enter "+"
▶ Country code※
▶ Area code (city code)
▶ Destination phone number ▶ (call key)
※Japan's country code is 81.
Press (TV key) to make a videophone call.
＊Dial the other party's phone number excluding "0" at the beginning of the area code (city code). (Except for some countries and regions.)

Make a Call to WORLD WING User Overseas

When you make a call to a person who is also internationally roaming, make the call in the same way as to make international calls to Japan even if he/she is in the country you stay at.

Receive a Call

Press (call key) when a call comes in.
(For a videophone call, press (call key) as well.)

Set after Returning to Japan

After you return to Japan, the FOMA network is automatically searched and connected.

- When the FOMA network is not connected, set "3G/GSM setting" to "AUTO" and set "Network search setting" to "Auto".

Inquiries

General Inquiries <docomo Information Center>

0120-005-250 (toll free)
＊Service available in English, Portuguese, Chinese, Spanish, and Korean.
＊Unavailable from part of IP phones.
(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m.)

■ **From DOCOMO mobile phones** (In Japanese only)
(No prefix) 151 (toll free)
＊Unavailable from land-line phones, etc.

■ **From land-line phones** (In Japanese only)
0120-800-000 (toll free)
＊Unavailable from part of IP phones.
(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m. (open all year round))

Repairs

■ **From DOCOMO mobile phones** (In Japanese only)
(No prefix) 113 (toll free)
＊Unavailable from land-line phones, etc.

■ **From land-line phones** (In Japanese only)
0120-800-000 (toll free)
＊Unavailable from part of IP phones.
(Business hours: 24 hours (open all year round))
- Please confirm the phone number before you dial.
- For Applications or Repairs and After-Sales Service, please contact the above-mentioned information center or the docomo Shop etc. near you on the NTT DOCOMO website or the i-mode site.
  NTT DOCOMO website　http://www.nttdocomo.co.jp/english/
  i-mode site　iMenu→お客様サポート(User support)
  →ドコモショップ(docomo Shop) (In Japanese only)

Loss or theft of FOMA terminal or payment of cumulative cost overseas <docomo Information Center>

(available 24 hours a day)
■ **From DOCOMO mobile phones**
International call access code for the country you stay at -81-3-6832-6600* (toll free)
*You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.
＊If you use P-05C, you should dial the number +81-3-6832-6600 (to enter "+", press and hold the "0" key for at least one second).

■ **From land-line phones <Universal number>**
Universal number international prefix -8000120-0151*
*You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay at.
※For international call access codes for major countries and universal number international prefix, refer to the DOCOMO International Services website.

Failures encountered overseas <Network Support and Operation Center>

(available 24 hours a day)
■ **From DOCOMO mobile phones**
International call access code for the country you stay at -81-3-6718-1414* (toll free)
*You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.
＊If you use P-05C, you should dial the number +81-3-6718-1414 (to enter "+", press and hold the "0" key for at least one second).

■ **From land-line phones <Universal number>**
Universal number international prefix -8005931-8600*
*You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay at.
※For international call access codes for major countries and universal number international prefix, refer to the DOCOMO International Services website.
- **If you lose your FOMA terminal or have it stolen, immediately take the steps necessary for suspending the use of the FOMA terminal.**
- **If the FOMA terminal you purchased is damaged, bring your FOMA terminal to a repair counter specified by DOCOMO after returning to Japan.**

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

i モードから	i Menu ▶ お客様サポート ▶ お申込・お手続き ▶ 各種お申込・お手続き　パケット通信料無料
パソコンから	My docomo（http://www.mydocomo.com/）▶ 各種お申込・お手続き

※ i モードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ i モードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID ／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

公共の場所で携帯電話をご利用の際は周囲への心くばりを忘れずに。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合
- 航空機内、病院内や電車などの優先席付近では、必ず携帯電話の電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合
- 運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■劇場・映画館・美術館など、公共の場所にいる場合

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

ドコモの環境への取り組み

取扱説明書の薄型化

本書では、基本的な機能の操作について説明することにより、取扱説明書の薄型化を図り、紙の使用量を削減いたしました。
よく使われる機能や詳しい説明については、使いかたガイド（本FOMA端末に搭載）やドコモのホームページでご確認いただけます。

携帯電話の回収・リサイクル

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するためにお客さまが不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカー問わず左記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っております。お近くのドコモショップへお持ちください。

※ この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

海外での紛失、盗難、精算などについて
<ドコモ インフォメーションセンター>(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600*(無料)**

* 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※P-05Cからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります。
(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

一般電話などからの場合
<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

* 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について
<ネットワークオペレーションセンター>(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414*(無料)**

* 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※P-05Cからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります。
(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

一般電話などからの場合
<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

* 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

総合お問い合わせ先
＜ドコモ インフォメーションセンター＞

■ ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00(年中無休)

故障お問い合わせ先

■ ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間(年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、iモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

iモードサイト　iMenu ▶ お客様サポート ▶ ドコモショップ

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

Li-ion 00

'11.7(第1.1版)
3TR100369AAA
F0511-1

P-05C

パソコン接続マニュアル

パソコン接続マニュアルについて

本マニュアルでは、P-05Cでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、「FOMA通信設定ファイル」・「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール方法などを、主にWindows 7の操作を例にして説明しています。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

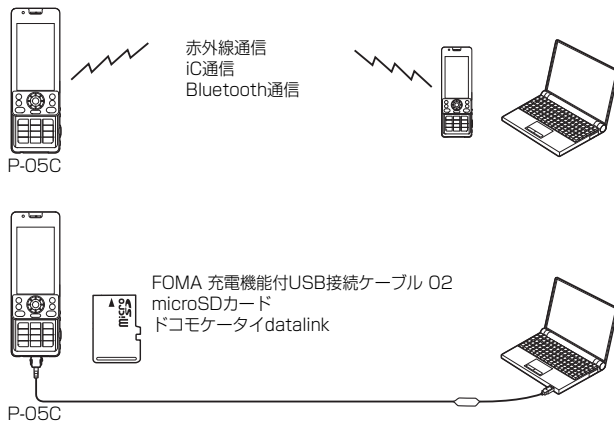
FOMA端末から利用できるデータ通信

FOMA端末とパソコンを接続してご利用できるデータ通信は、データ転送(OBEX™通信)とパケット通信・64Kデータ通信に分類されます。
FOMA端末はパケット通信用アダプタ機能を内蔵しています。

- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください。(PPP接続ではパケット通信できません。)
- 海外では、64Kデータ通信はご利用になれません。

データ転送(OBEX™通信)

画像やメロディ、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

- 転送方法により送受信できるデータが異なります。詳細は各転送方法をご確認ください。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信方式です。(受信最大7.2Mbps、送信最大2.0Mbpsのベストエフォート方式)※ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用します。
パケット通信はFOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)やBluetooth通信、Wi-Fi通信で接続し、各種設定を行うことで利用でき、高速通信を必要とするアプリケーションの利用に適しています。
P.4以降の説明に従って、設定と接続を行ってください。

※技術規格上の最大値であり、実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDA「sigmarion Ⅲ」などHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合、通信速度が遅くなる場合があります。

- パケット通信では送受信したデータ量に応じて課金されます。画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて、通信料金がかかる通信方式です。FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)やBluetooth通信で接続し、通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」などのFOMA 64Kデータ通信対応の接続先、またはISDNの同期64K対応の接続先を利用します。P.4以降の説明に従って、設定と接続を行ってください。

- 64Kデータ通信では、接続した時間量に応じて課金されます。長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

お知らせ

- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion Ⅲ」に接続してデータ通信を行うことができます。
- Bluetooth機能を利用してデータ通信を行う場合は、FOMA端末の通信速度はハイスピード用の通信速度になりますが、Bluetooth機能の通信速度に限界があるため、最大速度では通信できない場合があります。

ご使用になる前に

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。
「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要(有料)となります。

接続先(インターネットサービスプロバイダなど)の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaの接続先には接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法についてはmoperaのホームページをご確認ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.html

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証(IDとパスワード)が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト(ダイヤルアップネットワーク)でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、そちらにお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

パソコンのブラウザでFirstPass対応サイトを利用するときのアクセス認証ではFirstPass(ユーザ証明書)が必要です。ドコモのホームページからFirstPass PCソフトをダウンロードし、インストール、設定を行ってください。
詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内でFOMA端末による通信を行うには、以下の条件が必要になります。

・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)が利用できるパソコンであること
・Bluetooth通信で接続する場合は、パソコンがBluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0+EDRのDial-up Networking Profile(ダイヤルアップネットワーキングプロファイル)に対応していること
・Wi-Fi通信を使用する場合は、パソコンが無線LAN標準規格IEEE802.11b/gに対応していること
・FOMAパケット通信、64Kデータ通信に対応したPDAであること
・FOMAサービスエリア内であること
・パケット通信の場合、接続先がFOMAのパケット通信に対応していること
・64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上の条件が整っていても、基地局が混雑している、または電波状況が悪い場合は通信ができないことがあります。

動作環境

データ通信におけるパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)を使用する場合: USBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0準拠) Bluetooth通信を使用する場合: Bluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0+EDR準拠(ダイヤルアップネットワーキングプロファイル) Wi-Fi通信を使用する場合: 無線LAN標準規格IEEE802.11b/g準拠 ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨。 ●ドコモ コネクションマネージャは1024×600ドット以上(1024×768ドット以上を推奨)
OS	Windows 7 32ビット版/64ビット版(日本語版) Windows Vista 32ビット版/64ビット版(日本語版) Windows XP(日本語版)
必要メモリ	Windows 7 32ビット版:1Gバイト以上 Windows 7 64ビット版:2Gバイト以上 Windows Vista:512Mバイト以上 Windows XP:128Mバイト以上(各日本語版)
ハードディスク容量	5Mバイト以上の空き容量 ●ドコモ コネクションマネージャは10Mバイト以上の空き容量

- ●ドコモ コネクションマネージャを利用するための動作環境はInternet Explorer 6.0以上、メールソフトは「Windowsメール」および「Outlook Express 6.0」です。
- ●動作環境の最新情報については、ドコモのホームページにてご確認ください。
- ●OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- ●必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)または、FOMA USB接続ケーブル(別売)※1

・「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)※2

※1 USB接続の場合

※2 ドコモのホームページからダウンロードしてください。

お知らせ

- ●USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02」または、「FOMA USB接続ケーブル」をご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- ●USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

データ転送(OBEX™通信)の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)をご利用になる場合には､｢FOMA通信設定ファイル｣(ドライバ)をインストールしてください。

「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をインストールする(P.6参照)
- ドコモのホームページから「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をダウンロードし、インストールします。

データ通信の準備の流れ

パケット通信・64Kデータ通信を行う場合の準備について説明します。以下のような流れになります。

USB接続の場合

「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をダウンロード、インストールする(P.6)
- ドコモのホームページから「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をダウンロードし、インストールします。

↓

パソコンとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)で接続する

↓

インストール後の確認をする(P.7)

Bluetooth接続の場合

パソコンとFOMA端末をBluetooth通信でワイヤレス接続する(P.10)

↓

モデムの確認をする(P.11)

↓

ドコモのホームページから「ドコモ コネクションマネージャ」をダウンロードしてインストールする(P.15)

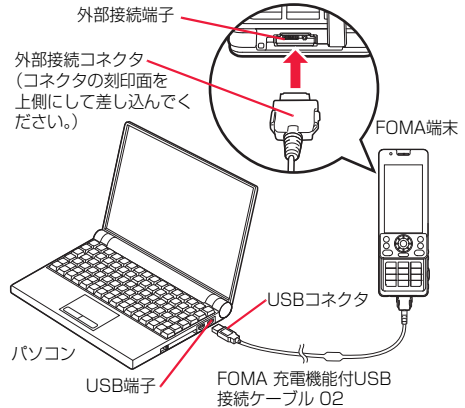
「ドコモ コネクションマネージャ」を使わずに手動で通信の設定をする(P.19、P.36)

↓

接続する(P.18、P.33)

パソコンとFOMA端末を接続する

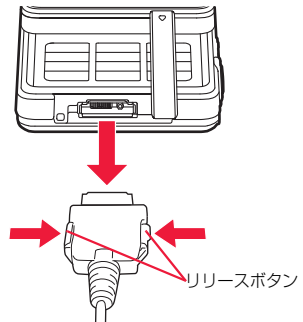
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)の取り付け方法について説明します。

1 FOMA端末の外部接続端子の向きを確認し、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02の外部接続コネクタをまっすぐ「カチッ」と音がするまで差し込む

2 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02のUSBコネクタをパソコンのUSB端子に接続する

お知らせ

- データ通信を行うには「USBモード」を「通信モード」に設定してください。
  「(MENU)▶本体設定▶外部接続▶USBモード▶通信モード」の操作を行います。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02のコネクタは無理に差し込まないでください。故障の原因となります。各コネクタは正しい向き、正しい角度で差し込まないと接続できません。正しく差し込んだときは、強い力を入れなくてもスムーズに差し込めるようになっています。うまく差し込めないときは、無理に差し込まず、もう一度コネクタの形や向きを確認してください。
- USBケーブルは専用のFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02をご利用ください。(パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。)
- FOMA端末に表示される「 」は、パケット通信または64Kデータ通信のFOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストールを行い、パソコンとの接続が認識されたときに表示されます。FOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストール前には、パソコンとの接続が認識されず、「 」も表示されません。

■取り外し方

1. FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02の外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、まっすぐ引き抜く。
2. パソコンのUSB端子からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を引き抜く。

お知らせ

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02は無理に取り外さないでください。故障の原因となります。
- データ通信中はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を取り外さないでください。パソコンやFOMA端末の誤動作や故障、データ消失の原因となります。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02の取り付け・取り外しは連続して行わないでください。一度、取り付け・取り外しを行った場合は、間隔をおいてから再び行ってください。

FOMA通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする

FOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストールは、ご使用になるパソコンにFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)で初めて接続するときに必要です。

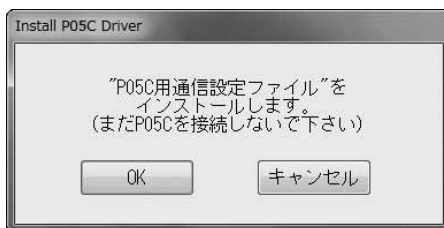
- ●Bluetooth通信やWi-Fi通信でワイヤレス接続する場合はFOMA通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする必要はありません。
- ●必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。
- ●FOMA通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする前に、パソコンに常駐しているソフトはすべて終了してください。

1 ドコモのホームページからFOMA通信設定ファイル(ドライバ)をダウンロードする

2 ダウンロードしたFOMA通信設定ファイル(ドライバ)の「exe」ファイルをダブルクリックで実行し、任意のフォルダに解凍する

3 解凍したフォルダの中から「P05C_ins.exe」をダブルクリックし、「はい」をクリックする

- ●Windows Vistaの場合、「はい」の代わりに「続行」をクリックします。
- ●Windows XPの場合、ユーザーアカウントの制御画面は表示されません。

4 「OK」をクリックする

5 FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02で接続する(P.5参照)

インストールが始まります。

6 「OK」をクリックする

「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)のインストールが完了すると、タスクバーのインジケータから「デバイスを使用する準備ができました。デバイス ドライバ ソフトウェアが正しくインストールされました。」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。

インストールしたFOMA通信設定ファイル(ドライバ)を確認する

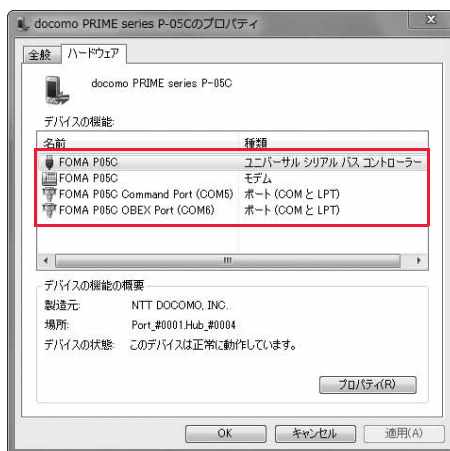
「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)が正しくインストールされていることを確認します。

Windows 7の場合

1 「(スタート)」▶「デバイスとプリンター」を開く

2 「docomo PRIME series P-05C」を開く
▶「ハードウェア」タブをクリックする

3 インストールされたドライバ名を確認する

すべてのドライバ名が表示されていることを確認します。

●COMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

Windows Vista、Windows XPの場合

1 「(スタート)」▶「コントロールパネル」を開く
▶「システムとメンテナンス」を開く

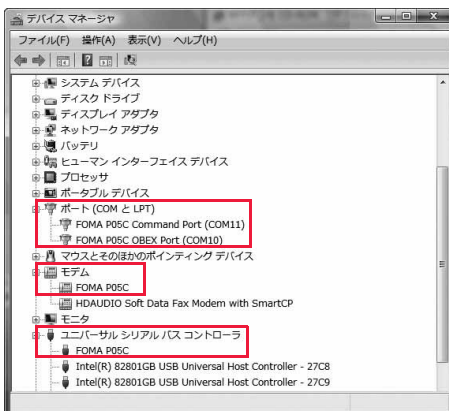
<Windows XPの場合>
「スタート」→「コントロールパネル」を開く→「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」を開く

2 「ハードウェアとデバイスを表示」を開く▶「続行」をクリックする

<Windows XPの場合>
「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリックする

3 各デバイスをクリックして、インストールされたFOMA通信設定ファイル(ドライバ)名を確認する

「ポート(COMとLPT)」、「モデム」、「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」の下にすべてのFOMA通信設定ファイル(ドライバ)名が表示されていることを確認します。

●COMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をインストールすると、以下のドライバがインストールされます。

デバイス名	FOMA通信設定ファイル(ドライバ)名
ポート(COMとLPT)	･FOMA P05C Command Port ･FOMA P05C OBEX Port
モデム	･FOMA P05C
<Windows 7、Windows Vistaの場合> ユニバーサル シリアル バス コントローラ <Windows XPの場合> USB(Universal Serial Bus)コントローラ	･FOMA P05C

FOMA通信設定ファイル(ドライバ)をアンインストールする

「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)のアンインストールが必要になった場合(バージョンアップする場合など)は、次の手順で行ってください。

●必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

1 **FOMA端末とパソコンがFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)で接続されている場合は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を取り外す**

2 **「(スタート)」▶「コントロールパネル」を開く ▶「プログラムのアンインストール」を開く**

＜Windows XPの場合＞
「スタート」→「コントロールパネル」を開く→「プログラムの追加と削除」を開く

3 **「FOMA P05C USB」を選択し「アンインストールと変更」をクリックする**

＜Windows Vistaの場合＞
手順3のあとにユーザーアカウントの制御画面が表示された場合は、「続行」をクリックする
＜Windows XPの場合＞
「FOMA P05C USB」を選択して、「変更と削除」をクリックする

4 **「OK」をクリックする**

5 **「はい」をクリックしてWindowsを再起動する**

以上でアンインストールは終了です。
●「いいえ」をクリックした場合は、手動で再起動をしてください。

お知らせ

●「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をインストールするときに、途中でパソコンからFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を抜いてしまったり、「キャンセル」ボタンをクリックしてインストールを中止してしまった場合は、「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)が正常にインストールされない場合があります。このような場合は、P.6手順2で解凍したフォルダ内の「P05C_un.exe」を実行して「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)を一度削除してから、再度インストールし直してください。

Bluetooth通信を準備する

Bluetooth通信対応パソコンとFOMA端末をワイヤレス接続して、データ通信を行います。

初めてパソコンと接続する

初めてFOMA端末に接続するパソコンの場合、パソコンをFOMA端末に登録します。

1 MENU▶便利ツール▶Bluetooth▶ダイヤルアップ登録待機

- 「MENU▶本体設定▶外部接続▶Bluetooth▶ダイヤルアップ登録待機」の操作を行っても「ダイヤルアップ登録待機」を設定できます。
- 解除する場合は待機中に(中止)を押します。また、待機中に5分間接続がなかった場合は自動的に解除されます。
- 接続待機中は「(青色)」が点灯します。

2 パソコンからBluetoothデバイスの検索と機器登録をする

- FOMA端末が接続待機中に、パソコンで機器登録を行ってください。
- パソコンの操作方法の詳細は、ご使用になるパソコンの取扱説明書をお読みください。
  (ご覧になる取扱説明書によっては、「検索」の代わりに「探索」または「サーチ」、「機器登録」の代わりに「ペアリング」と表記されています。)

3 接続要求の画面が表示されたら「YES」を選択

4 Bluetoothパスキーを入力

- Bluetoothパスキーは半角英数字で4～16桁入力できます。
- FOMA端末とパソコンに同一のBluetoothパスキーを入力してください。

5 パソコンが機器登録されワイヤレス接続が開始される

接続が完了すると、「(青色)」が点滅します。

お知らせ

- ダイヤルアップ登録待機中はヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスの接続待機はできません。
- パソコンにFOMA端末を登録する際、パソコンが複数の機器を検索した場合は、機器名称でFOMA端末を判別してください。パソコンが同一名称の機器を複数検索した場合は、機器アドレスで判別してください。
- ダイヤルアップ登録待機中は、周囲のすべてのBluetooth機器から検索されますが、ダイヤルアップ通信サービス以外のサービスは接続できません。

■登録済みのパソコンと接続するには

登録済みのパソコンからFOMA端末に接続する場合、「接続待機」で「ダイヤルアップ」を接続待機に設定しておけば、パソコンから接続操作を行うとFOMA端末に接続できます。
「ダイヤルアップ登録待機」中でも接続できます。

モデムの確認をする

通信の設定を行う前にご使用になるモデムのモデム名やダイヤルアップ接続用に設定されたCOMポート番号を確認しておきます。

Windows 7の場合

1 「(スタート)」▶「デバイスとプリンター」を開く

2 「P05C」を開く▶「ハードウェア」タブをクリックする

3 モデム名またはCOMポート番号を確認する

Windows Vista、Windows XPの場合

1 「(スタート)」▶「コントロールパネル」を開く▶「システムとメンテナンス」を開く

<Windows XPの場合>
「スタート」→「コントロールパネル」を開く→「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」を開く

2 「ハードウェアとデバイスを表示」を開く▶「続行」をクリックする

<Windows XPの場合>
「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリックする

3 各デバイスをクリックして、モデム名またはCOMポート番号を確認する

「ポート(COMとLPT)」、「モデム」の下にモデム名またはCOMポート番号が表示されています。

ダイヤルアップ通信サービスを停止する

接続中のダイヤルアップ通信サービスを停止します。

1 MENU▶便利ツール▶Bluetooth▶登録機器リスト

- 「MENU▶本体設定▶外部接続▶Bluetooth▶登録機器リスト」の操作を行っても登録機器リストの画面が表示されます。

2 接続中のBluetooth機器を選択

3 ダイヤルアップ▶YES

ダイヤルアップ通信サービスが停止します。

Wi-Fi通信を準備する

Wi-Fi対応パソコンとFOMA端末をWi-Fi接続して、パケット通信を行います。

FOMA端末をアクセスポイントモードにする

1 **MENU▶便利ツール▶Wi-Fi▶アクセスポイントモード(親機)▶接続開始**

- 「MENU▶本体設定▶外部接続▶Wi-Fi▶アクセスポイントモード(親機)▶接続開始」の操作を行ってもアクセスポイントモードになります。
- アクセスポイントモードを開始すると「 」が表示されます。
- アクセスポイントモードを終了するには●(切断)または を押します。

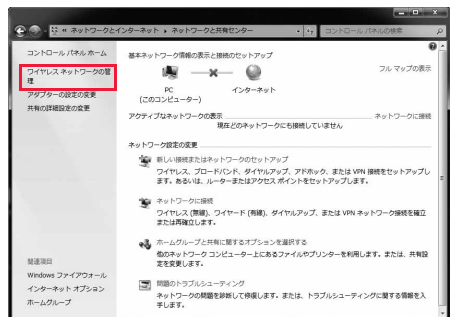
2 **TV(設定確認)を押し、FOMA端末のアクセスポイントモードの設定を確認する**

パソコンの接続設定をする

Windows 7の場合

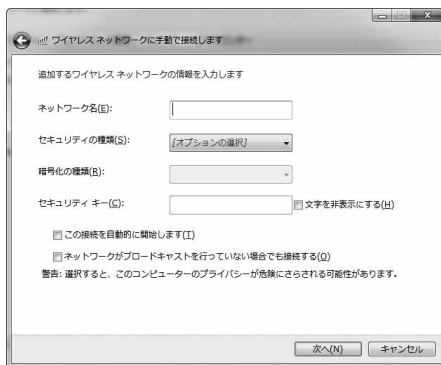
1 **「 (スタート)」▶「コントロールパネル」を開く▶「ネットワークとインターネット」をクリックする**

2 **「ネットワークと共有センター」をクリックする**

3 **「ワイヤレスネットワークの管理」をクリックする**

4 **「追加」をクリックする**

5 **「ネットワークプロファイルを手動で作成します」をクリックする**

6 「ネットワーク名」、「セキュリティの種類」の欄に、FOMA端末に設定されているESSIDとセキュリティ方式を設定し、「次へ」をクリックする

- 「セキュリティの種類」の「WPA2-パーソナル」は「WPA2-PSK」と同じ意味です。
- FOMA端末にセキュリティが設定されている場合は、「暗号化の種類」、「セキュリティキー」をFOMA端末と同じ設定にします。

7 「閉じる」をクリックする

ドコモ コネクションマネージャ

「ドコモ コネクションマネージャ」は、定額データ通信および従量データ通信を行うのに便利なソフトウェアです。mopera Uのお申込やお客様のご契約状況に応じたパソコンの設定を簡単に行うことができます。また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。

本書では、「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール方法までをご案内いたします。
端末を使ってインターネットに接続するためには、サービスおよびデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダ(mopera Uなど)のご契約が必要です。
詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

■従量制データ通信(ｉモードパケット定額サービスなど含む)のご利用について

パケット通信を利用して、画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロード(例:アプリケーションや音楽･動画データ、OS･ウイルス対策ソフトのアップデート)などのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額となる場合がありますのでご注意ください。なお、本FOMA端末をパソコンなどにUSBケーブルで接続してデータ通信を行う場合は、FOMAのパケット定額サービス「パケ･ホーダイ」、「パケ･ホーダイフル」の定額対象外通信となりますのでご注意ください。

■定額データプランのご利用について

定額データプランを利用するには、定額データ通信に対応した料金プラン･インターネットサービスプロバイダにご契約いただく必要があります。詳しくはドコモのホームページをご確認ください。

■moperaのご利用について

接続設定方法についてはmoperaのホームページをご確認ください。
http://www.mopera.net/mopera/support/index.html

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に

インストールの流れ

ステップ 1 **FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)または、FOMA USB接続ケーブル(別売)を用意する**

ステップ 2 **サービスおよびインターネットサービスプロバイダの契約内容を確認する**

ステップ 3 **「ドコモ コネクションマネージャ」以外の接続ソフトがインストールされている場合は、自動的に起動しないように設定を変更する**

●「ドコモ コネクションマネージャ」以外の接続ソフトのご利用についてはP.15参照。

■**Internet Explorerの設定について**

本ソフトをインストールする前に、Internet Explorerのインターネットオプションで、接続の設定を「ダイヤルしない」に設定してください。

1. Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」を選択する。
2. 「接続」タブを選択し、「ダイヤルしない」を選択する。
3. 「OK」をクリックする。

お知らせ

<「ドコモ コネクションマネージャ」以外の接続ソフトの利用について>

●本ソフトには、以下のソフトと同等の機能が搭載されているため、以下のソフトを同時にご利用いただく必要はありません。
必要に応じて、起動しない設定への変更やアンインストールを実施してください。
※同時利用いただく必要のないソフト
・mopera Uかんたんスタート
・Uかんたん接続設定ソフト
・FOMA PC設定ソフト
・FOMAバイトカウンタ
また、本ソフトでMzone(ドコモ公衆無線LANサービス)を利用する場合、以下の公衆無線LAN接続ソフトはアンインストールをおこなってください。
※以下のソフトを同時にインストールした場合、本ソフトでのMzone接続はご利用いただけません。
・U公衆無線LANユーティリティソフト
・ドコモ公衆無線LANユーティリティソフト
・ドコモ公衆無線LANユーティリティプログラム

ドコモ コネクションマネージャをインストールする

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。
「ドコモ コネクションマネージャ」を使うと、簡単な操作でダイヤルアップ、通信設定最適化や接続先(APN)の設定ができます。

- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。
- 起動しているアプリケーションをすべて終了してください。
  ウイルス対策ソフトを含む、Windows上に常駐しているプログラムも終了します。
  (例)タスクトレイに表示されているアイコンを右クリックし、「閉じる」または「終了」を選択します。

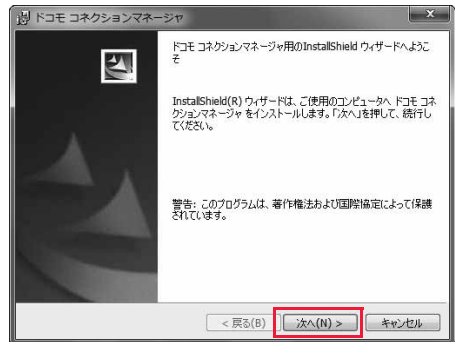
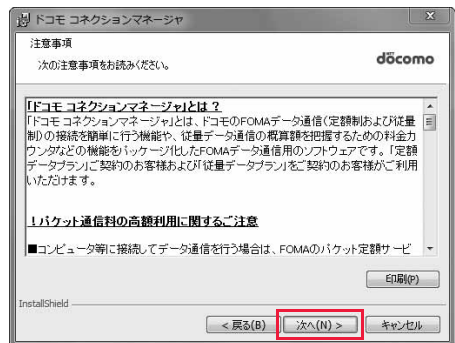
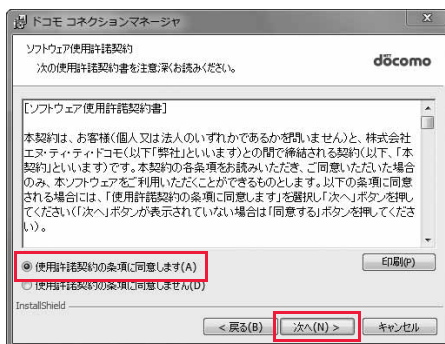
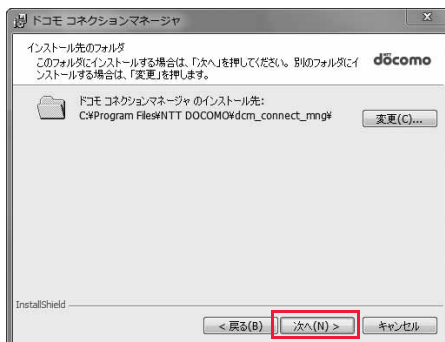
1 ドコモのホームページからドコモ コネクションマネージャをダウンロードする

http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/service/connection_manager/

2 ダウンロードした「dcm_connect_mng_setup.exe」をダブルクリックで実行し、「はい」をクリックする

- Windows Vistaの場合、「はい」の代わりに「続行」をクリックします。
- Windows XPの場合、ユーザーアカウントの制御画面は表示されません。

Windows XPで、MSXML6･Wireless LAN APIが環境にない場合は、「ドコモ コネクションマネージャ」をインストールする前に、それらをインストールする必要があります。確認の画面が表示されたときは「Install」をクリックして、MSXML6･Wireless LAN APIをインストールします。MSXML6･Wireless LAN APIのインストール完了後、Windowsを再起動すると、自動的に「ドコモ コネクションマネージャ」のインストールがはじまります。

3 「次へ」をクリックする

4 注意事項をご確認のうえ、「次へ」をクリックする

5 使用許諾契約書の内容を確認のうえ、契約内容に同意する場合は、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックする

6 インストール先のフォルダを確認して、「次へ」をクリックする

7 「インストール」をクリックする

インストールがはじまります。

8 「完了」をクリックする

これでインストールは完了です。

ドコモ コネクションマネージャを起動する

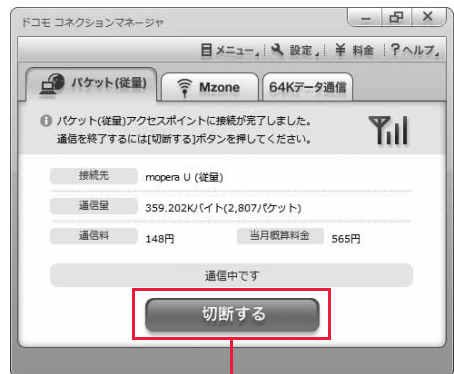
1 **「(スタート)」▶「すべてのプログラム」▶「NTT DOCOMO」▶「ドコモ コネクションマネージャ」▶「ドコモ コネクションマネージャ」**

「ドコモ コネクションマネージャ」が起動します。

2 **初回起動時には、自動的に設定ウィザードが表示されます。**

以降はソフトの案内に従って操作･設定をすることで、インターネットに接続する準備が整います。
詳しくは、「ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル」をご覧ください。

■切断する場合

ブラウザソフトやメールソフトを終了しただけでは、通信は切断されません。
通信をご利用にならない場合は、必ず「ドコモ コネクションマネージャ」の「切断する」をクリックして通信を切断してください。
OSアップデートなどにおいて自動更新を設定していると自動的にソフトウェアが更新され、パケット通信料が高額となる場合がございますのでご注意ください。

ダイヤルアップネットワークの設定をする

パケット通信の設定をする

「ドコモ コネクションマネージャ」を使わずに、パケット通信の接続を設定する方法について説明します。
パケット通信では、パソコンからさまざまな設定を行う場合にATコマンドを使用します。設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここでは、Windows標準添付の「ハイパーターミナル」を使って説明します。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、接続先（APN）の設定（P.22参照）は不要です。
発信者番号通知／非通知の設定（P.25参照）は必要に応じて行います。（「mopera U」または「mopera」をご利用の場合は、「通知」に設定する必要があります。）

- Windows 7、Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows 7、Windows Vistaの場合は、Windows 7対応またはWindows Vista対応のソフトを使って設定してください。（ご使用になるソフトの設定に従ってください。）

＜ATコマンドによるパケット通信設定の流れ＞

COMポート番号を確認する（P.20参照）

ATコマンド入力をサポートする通信ソフトを起動する（P.22手順3参照）

接続先（APN）の設定をする（P.23手順7参照）

発信者番号の通知／非通知を設定する（P.25手順2参照）

その他の設定をする（P.37参照）

通信ソフトを終了する（P.24手順9参照）

■ATコマンドについて

- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ATコマンドを入力することによって、パケット通信やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認（表示）ができます。
- 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1 ↵」と入力してください。

COMポート番号を確認する

手動で通信設定を行う場合、「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)のインストール後に組み込まれた「FOMA P05C」(モデム)に割り当てられたCOMポート番号を指定する必要があります。確認方法はご利用になるパソコンのOSによって異なります。

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合、接続先(APN)の設定が不要なため、モデムの確認をする必要はありません。

Windows 7の場合

1 「(スタート)」▶「コントロールパネル」を開く

- 「表示方法」が「カテゴリ」の場合は、「大きいアイコン」または「小さいアイコン」に変更します。

2 「電話とモデム」を開く

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番/エリアコード」を入力して、「OK」をクリックする

4 「モデム」タブを開き、「FOMA P05C」の「接続先」欄のCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする

- Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの「接続先」欄のCOMポート番号を確認してください。
- 確認したCOMポート番号は、接続先(APN)の設定(P.22参照)で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

Windows Vistaの場合

1 「(スタート)」▶「コントロールパネル」を開く

2 「コントロールパネル」の「ハードウェアとサウンド」から「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番/エリアコード」を入力して、「OK」をクリックする

4 「モデム」タブを開き、「FOMA P05C」の「接続先」欄のCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする

- Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの「接続先」欄のCOMポート番号を確認してください。
- 確認したCOMポート番号は、接続先(APN)の設定(P.22参照)で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

Windows XPの場合

1 「スタート」▶「コントロールパネル」を開く

2 「コントロールパネル」の「プリンタとその他のハードウェア」から「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番/エリアコード」を入力して、「OK」をクリックする

4 「モデム」タブを開き、「FOMA P05C」の「接続先」欄のCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする

- Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの「接続先」欄のCOMポート番号を確認してください。
- 確認したCOMポート番号は、接続先(APN)の設定(P.22参照)で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

接続先(APN)の設定をする

パケット通信を行う場合の接続先(APN)を設定します。接続先(APN)は10個まで登録でき、1～10の「cid」(P.24参照)という番号で管理されます。
「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、接続先(APN)の設定は不要です。
ここでは接続先(APN)が「XXX.abc」で、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)を利用した場合を例として説明します。実際のAPNはインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
ここでの設定はダイヤルアップネットワークの設定(P.26参照)での接続先番号となります。

Windows XPの例

1 **FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を接続する**

2 **FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02をパソコンに接続する**

3 **ハイパーターミナルを起動する**

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」を開きます。
ハイパーターミナル起動後に、「『既定のTelnet』プログラムにしますか?」と表示された場合、任意で設定します。設定内容につきましては、パソコンメーカおよびマイクロソフトにご確認ください。

4 **「名前」の欄に任意の名前を入力して、「OK」をクリックする**

ここでは例として「Sample」と入力します。

5 接続方法を選択する

＜「FOMA P05C」のCOMポート番号を選択できる場合＞

「接続方法」で「FOMA P05C」がインストールされたCOMポート番号を選択して「OK」をクリックします。このあと手順6へ進んでください。

- ここでは例として「COM3」を選択します。実際に「接続方法」で選択する「FOMA P05C」のCOMポート番号についてはP.20参照。

＜「FOMA P05C」のCOMポート番号を選択できない場合＞

「キャンセル」をクリックして「接続の設定」画面を閉じ、次の操作を行ってください。

(1)「ファイル」メニュー→「プロパティ」を選択します。
(2)「Sampleのプロパティ」画面の「接続の設定」タブの「接続方法」の欄で「FOMA P05C」を選択します。
(3)「国/地域番号と市外局番を使う」のチェックを外します。
(4)「OK」をクリックします。

このあと手順7へ進んでください。

6 COMポート番号のプロパティが表示されるので、「OK」をクリックする

- 手順5でCOMポート番号を選択した場合に表示されます。

7 接続先(APN)を設定する

AT+CGDCONT=cid,"PDP_type","APN"の形式で入力します。
cid：5～10までのうち任意の番号を入力します。
※すでにcidが設定してある場合は、設定が上書きされますので注意してください。
"PDP_type"については"PPP"または"IP"と入力します。
"APN"：APNを" "で囲んで入力します。
(例：cidの5番にXXX.abcというAPNを設定する場合)
　AT+CGDCONT=5,"PPP","XXX.abc"
入力後↵を押して、OKと表示されればAPNの設定は完了です。

- 現在のAPN設定を確認したい場合は、「AT+CGDCONT？↵」と入力します。APN設定が一覧で表示されます。

8 「OK」と表示されることを確認する

AT+CGDCONT=5,"PPP","XXX.abc"
OK

9 「ファイル」メニュー▶「ハイパーターミナルの終了」を選択して、ハイパーターミナルを終了する

- 「現在、接続されています。切断してもよろしいですか？」と表示されたときは、「はい」を選択してください。
- 「セッションXXXを保存しますか？」と表示されますが、特に保存する必要はありません。

お知らせ

- 接続先（APN）は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度FOMA端末に接続先（APN）を登録する必要があります。
- パソコン側の接続先（APN）を継続利用する場合は、同一cid番号に同一接続先（APN）をFOMA端末に登録してください。
- 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1 ↵」と入力してください。

■cid（登録番号）について

FOMA端末にはcid1からcid10までの登録番号があり、お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」が、cid2とcid3には「mopera.net」が、cid4には「mpr.ex-pkt.net」が接続先（APN）として登録されています。「mopera U」、「mopera」以外に接続する場合は、cid5～10のいずれかにプロバイダまたはネットワーク管理者より指示される接続先（APN）を設定する必要があります。

お買い上げ時のcid登録

登録番号（cid）	接続先（APN）
1	mopera.ne.jp (PPP)
2	mopera.net (PPP)
3	mopera.net (IP)
4	mpr.ex-pkt.net (PPP)
5～10	未設定

■cidに登録した接続先（APN）に接続するときの「電話番号」について

「＊99＊＊＊＜cid番号＞＃」

（例）cid5に登録した接続先（APN）に接続する場合

＊99＊＊＊5＃

■接続先（APN）設定のリセット／確認について

接続先（APN）設定のリセット／確認もATコマンドを使って行います。

接続先（APN）設定のリセット

リセットを行った場合、cid1の接続先（APN）設定が「mopera.ne.jp」（初期値）に、cid2とcid3の接続先（APN）設定が「mopera.net」（初期値）に、cid4の接続先（APN）設定が「mpr.ex-pkt.net」（初期値）に戻り、cid5～10の設定は未登録となります。

（入力方法）

AT＋CGDCONT=↵（すべてのcidをリセットする場合）

AT＋CGDCONT=〈cid〉↵（特定のcidのみリセットする場合）

接続先（APN）設定の確認

現在の設定内容を表示させます。

（入力方法）

AT＋CGDCONT?↵

発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信を行うときに、通知／非通知設定（接続先にお客様の発信者番号を通知するかどうかの設定）を行えます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。発信者番号の通知／非通知設定は、ダイヤルアップ接続を行う前にATコマンド（＊DGPIRコマンド）で設定できます。

1 「ハイパーターミナル」などの通信ソフトを起動する

- 「ハイパーターミナル」での操作方法についてはP.22参照。

2 ＊DGPIRコマンド（P.39参照）で発信者番号の通知／非通知を設定する

- 発信／着信応答のときに自動的に184（非通知）を付ける場合は、「AT＊DGPIR=1 ↵」と入力します。
- 発信／着信応答のときに自動的に186（通知）を付ける場合は、「AT＊DGPIR=2 ↵」と入力します。

```
Sample - ハイパーターミナル
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 通信(C) 転送(T) ヘルプ(H)
AT*DGPIR=1_
```

3 「OK」と表示されることを確認する

```
Sample - ハイパーターミナル
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 通信(C) 転送(T) ヘルプ(H)
AT*DGPIR=1
OK
_
```

お知らせ

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。
- 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1 ↵」と入力してください。

■ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定（P.26参照）でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます。

＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で186（通知）／184（非通知）の設定を行った場合、以下のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定（cid=3の場合）	＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
＊99＊＊＊3#	設定なし	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184＊99＊＊＊3#	設定なし	非通知（ダイヤルアップネットワークの184が優先される）
	非通知	
	通知	
186＊99＊＊＊3#	設定なし	通知（ダイヤルアップネットワークの186が優先される）
	非通知	
	通知	

- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、発信者番号の通知が必要です。

Windows 7でダイヤルアップネットワークの設定をする

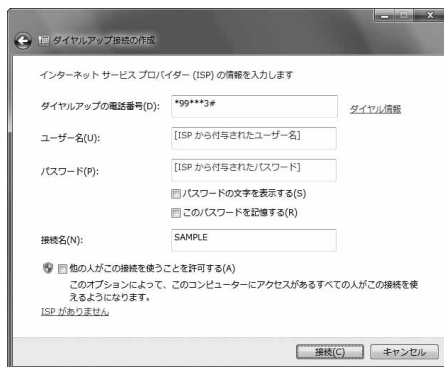
1 「(スタート)」▶「コントロールパネル」を開く▶「インターネットへの接続」▶「ダイヤルアップ」をクリックする

- すでに接続先が設定済みの場合は、既存の接続を使用するかどうかの確認画面が表示されます。この場合、「いいえ、新しい接続を作成します」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。

2 モデムの選択画面が表示された場合は、「FOMA P05C」をクリックする

- Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムのみチェックを付けてください。
- モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

3 「ダイヤルアップの電話番号」の欄に接続先番号を入力する

- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.24参照。

4 「ユーザー名」、「パスワード」の欄にインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力する

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

5 「接続名」の欄に任意の名前を入力して、「接続」をクリックする▶「スキップ」をクリックする

- ここでは例として「SAMPLE」と入力します。
- ここでは、すぐに接続せずに設定の確認のみを行います。

6 「閉じる」をクリックする

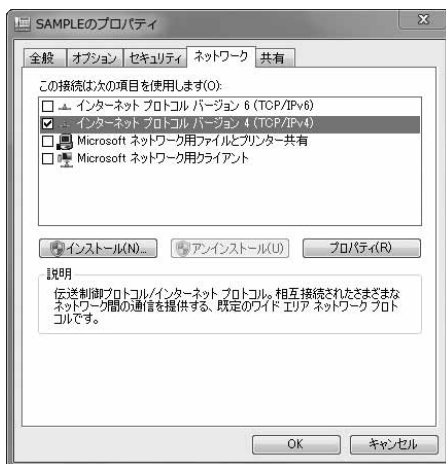
7 「(スタート)」▶「コントロールパネル」を開く▶「ネットワークの状態とタスクの表示」▶「アダプターの設定の変更」をクリックする

8 設定済みの接続先を選んで、右クリックから「プロパティ」を選択する▶「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」の欄で「モデム－FOMA P05C」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。また、複数のモデムにチェックが付いている場合は、⇧ボタンをクリックして「モデム－FOMA P05C」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」の優先順位を一番上にするか、「モデム－FOMA P05C」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」以外のモデムのチェックを外してください。
「ダイヤル情報を使う」にチェックされている場合にはチェックを外します。

- 「FOMA P05C」または「ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム」に割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.24参照。

9 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「この接続は次の項目を使用します」の欄は、「インターネットプロトコル バージョン4（TCP/IPv4）」を選択します。
一般ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

10 「オプション」タブをクリックして、「PPP設定」をクリックする

11 すべてのチェックを外して、「OK」をクリックする

12 手順9の画面に戻り、「OK」をクリックする

Windows Vistaでダイヤルアップネットワークの設定をする

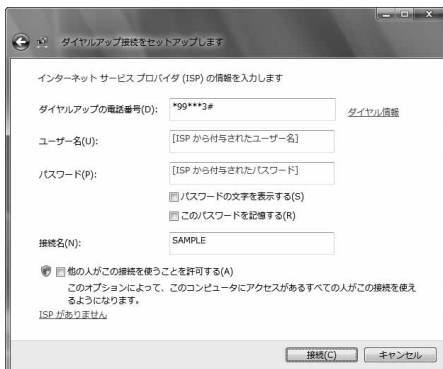
1 **「(スタート)」▶「接続先」▶「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックする**

2 **「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択して、「次へ」をクリックする**

3 **モデムの選択画面が表示された場合は、「FOMA P05C」をクリックする**

- Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムのみチェックを付けてください。
- モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

4 **「ダイヤルアップの電話番号」の欄に接続先番号を入力する**

- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.24参照。

5 **「ユーザー名」、「パスワード」の欄にインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力する**

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

6 **「接続名」の欄に任意の名前を入力して、「接続」をクリックする▶「スキップ」をクリックする**

- ここでは例として「SAMPLE」と入力します。
- ここでは、すぐに接続せずに設定の確認のみを行います。

7 **「接続をセットアップします」をクリックする▶「閉じる」をクリックする**

8 **「(スタート)」▶「接続先」▶接続済みの接続先を選んで、右クリックから「プロパティ」を選択する**

9 「全般」タブで設定を確認する

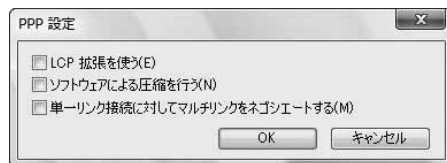
パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」の欄で「モデム－FOMA P05C」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。また、複数のモデムにチェックが付いている場合は、⇧ボタンをクリックして「モデム－FOMA P05C」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」の優先順位を一番上にするか、「モデム－FOMA P05C」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」以外のモデムのチェックを外してください。
「ダイヤル情報を使う」にチェックされている場合にはチェックを外します。

- 「FOMA P05C」または「ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム」に割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
mopera U以外の接続先番号についてはP.24参照。

10 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

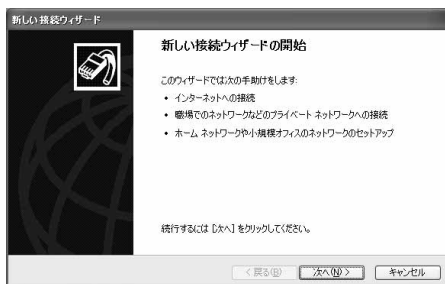
「この接続は次の項目を使用します」の欄は、「インターネットプロトコル バージョン4(TCP/IPv4)」を選択します。
「QoSパケットスケジューラ」は必要に応じて設定してください。
一般ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

11 「オプション」タブをクリックして、「PPP設定」をクリックする

12 すべてのチェックを外して、「OK」をクリックする

13 手順10の画面に戻り、「OK」をクリックする

Windows XPでダイヤルアップネットワークの設定をする

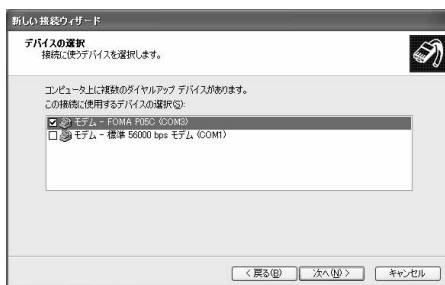
1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「新しい接続ウィザード」を開く

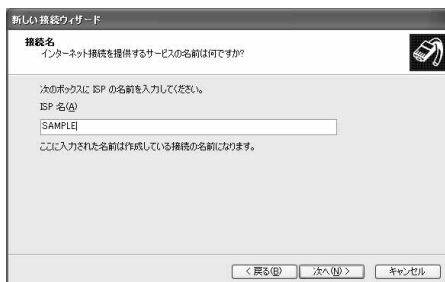
2 「新しい接続ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

3 「インターネットに接続する」を選択して、「次へ」をクリックする

4 「接続を手動でセットアップする」を選択して、「次へ」をクリックする

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して、「次へ」をクリックする

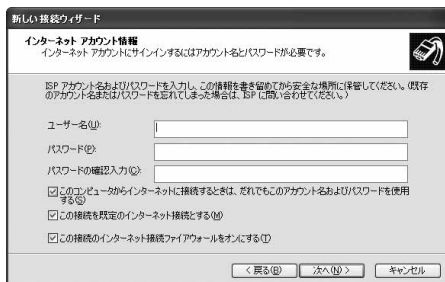
6 「デバイスの選択」画面が表示された場合は、「FOMA P05C」のみチェックを付けて「次へ」をクリックする

- Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムのみチェックを付けてください。
- 「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

7 「ISP 名」の欄に任意の名前を入力して、「次へ」をクリックする

- ここでは例として「SAMPLE」と入力します。

8 「電話番号」の欄に接続先番号を入力して、「次へ」をクリックする

●mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
mopera U以外の接続先番号についてはP.24参照。

9 「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」の欄にインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して、「次へ」をクリックする

●mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

10 「完了」をクリックする

11 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を開く

12 ダイヤルアップのアイコンを選択して、「ネットワークタスク」▶「この接続の設定を変更する」を選択する

ここでは手順7で入力した名前のアイコンをクリックします。

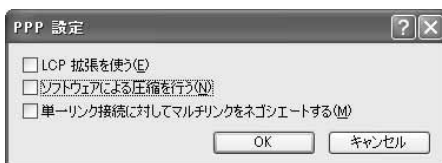
13 「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」の欄で「モデム－FOMA P05C」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。また、複数のモデムにチェックが付いている場合は、⇧ボタンをクリックして「モデム－FOMA P05C」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」の優先順位を一番上にするか、「モデム－FOMA P05C」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」以外のモデムのチェックを外してください。
「ダイヤル情報を使う」にチェックされている場合にはチェックを外します。

- 「FOMA P05C」または「ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム」に割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.24参照。

14 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」の欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
「この接続は次の項目を使用します」の欄は、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択します。
「QoSパケットスケジューラ」は設定変更ができませんので、そのままにしておいてください。
続いて「設定」をクリックします。
一般ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

15 すべてのチェックを外して、「OK」をクリックする

16 手順14の画面に戻り、「OK」をクリックする

ダイヤルアップ接続する

Windows 7でダイヤルアップ接続する

P.5の手順に従って、FOMA端末とパソコンを接続します。

1 **「　(スタート)」▶「コントロールパネル」を開く▶「インターネットへの接続」をクリックする**

2 **「はい、既存の接続を選びます」にチェックを付け、接続先を選択し「次へ」をクリックする**

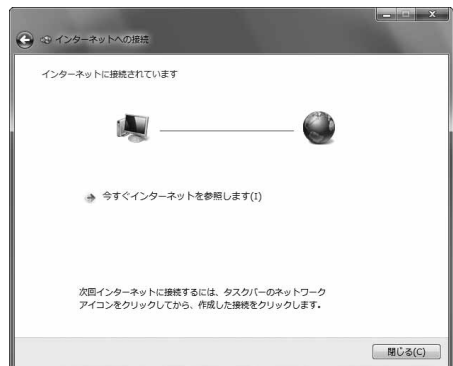
3 **内容を確認して「ダイヤル」をクリックする**

●mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

4 **接続中の状態を示す画面が表示される**

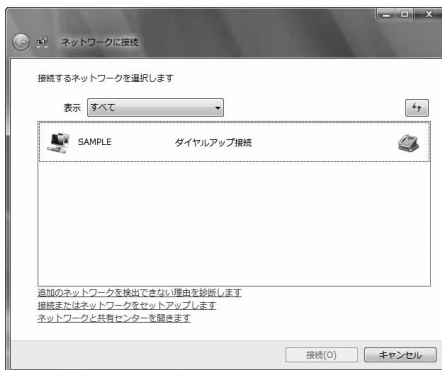
この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

5 **接続完了後、「閉じる」をクリックする**

●ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。

Windows Vistaでダイヤルアップ接続する

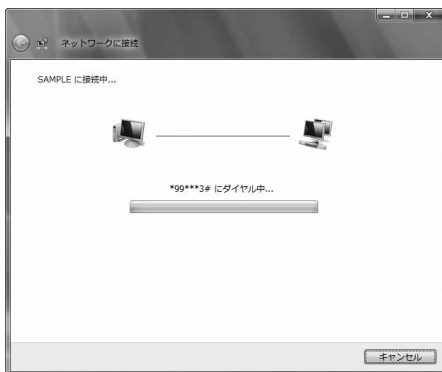
P.5の手順に従って、FOMA端末とパソコンを接続します。

1 「(スタート)」▶「接続先」を開く

2 接続先を選択して「接続」をクリックする

3 内容を確認して「ダイヤル」をクリックする

●mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

4 接続中の状態を示す画面が表示される

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

5 接続完了後、「閉じる」をクリックする

●ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。

Windows XPでダイヤルアップ接続する

P.5の手順に従って、FOMA端末とパソコンを接続します。

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を開く

2 接続先を開く

「ダイヤルアップネットワークの設定をする」で設定したISP名（P.30参照）のダイヤルアップの接続先アイコンを選択して「ネットワークタスク」→「この接続を開始する」を選択するか、接続先のアイコンをダブルクリックします。

3 内容を確認して「ダイヤル」をクリックする

●mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

4 接続中の状態を示す画面が表示されます

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

5 接続完了です

接続が完了すると、タスクバーのインジケータから、メッセージが数秒間表示されます。

●ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。

●メッセージが表示されない場合は、接続先の設定を再度確認してください。

お知らせ

●ダイヤルアップ設定を行ったFOMA端末でダイヤルアップ接続を行ってください。異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要になることがあります。

●通信中はFOMA端末の消費電力が大きくなります。

●パケット通信中は、FOMA端末に通信状態が表示されます。

「 」（通信中、データ送信中）　「 」（通信中、データ受信中）
「 」（通信中、データ送受信なし）　「 」（発信中、または切断中）
「 」（着信中、または切断中）

●64Kデータ通信中は、FOMA端末に「 」が表示されます。

通信を切断する

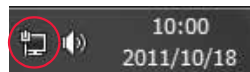
1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

2 接続済みの接続先を選択し、「切断」をクリックする

<Windows Vistaの場合>

「接続または切断」を選択し「切断」をクリックして、「閉じる」をクリックする

<Windows XPの場合>

「切断」をクリックする

お知らせ

●ブラウザソフトを終了しただけでは、通信回線は切断されない場合があります。確実に切断するためには、この手順に従って回線を切断してください。

●パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

ネットワークに接続できないときは

ネットワークに接続できない(ダイヤルアップ接続ができない)場合は、まず以下の項目について確認してください。

こんなときは	こうします
「P-05C」がパソコン上で認識できない	・お使いのパソコンが動作環境(P.3参照)を満たしているかを確認してください。 ・「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)がインストールされているか確認してください。 ・FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。 ・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)がしっかりと接続されているかを確認してください。 ・Bluetooth機器がダイヤルアップサービスで接続されているかを確認してください。
相手先に接続できない	・ID(ユーザー名)やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。 ・「mopera U」または「mopera」のように発信者番号の通知が必要な場合、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。 ・モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。 ・上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

64Kデータ通信の設定

「ドコモ コネクションマネージャ」を使わずに、64Kデータ通信の接続を設定する方法について説明します。

ダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定

64Kデータ通信のダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定はパケット通信での設定(P.19参照)と同じです。

以下の点に注意して操作してください。

- 64Kデータ通信では接続先(APN)の設定をする必要はありません。ダイヤルアップ接続の接続先にはインターネットサービスプロバイダまたはネットワークの管理者から指定された接続先の電話番号を入力してください。(mopera Uに接続する場合は「＊8701」、moperaに接続する場合は「＊9601」と電話番号欄に入力してください。)
- 「発信者番号通知／非通知の設定」、「その他の設定」は必要に応じて設定してください。
(mopera Uまたはmoperaに接続する場合、発信者番号の通知が必要です。)
- 設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワークの管理者にお問い合わせください。

接続・切断のしかた

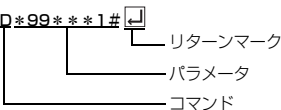
パケット通信での操作と同じです。P.18、P.33、P.35の手順に従って操作してください。

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の機能の設定や変更を行うためのコマンド（命令）です。

※ATコマンド一覧では、以下の略を使用しています。

[AT]： FOMA P05C Command Portで使用できるコマンドです。
[M]： FOMA P05C（モデム）で使用できるコマンドです。
[&F]： AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。
[&W]： AT&Wコマンドで設定が保存されるコマンドです。
ATZコマンドで設定値を呼び戻せます。

お知らせ

●外部機器から発信・ATコマンド発信を行った場合、2in1のAモード、デュアルモード中はAナンバー、Bモード中はBナンバーで発信します。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドの入力は通信ソフトのターミナルモード画面で行います。必ず半角英数字で入力してください。

●入力例

●ATコマンドはコマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、必ず1行で入力します。

お知らせ

●ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末（ターミナル）のように動作させるモードのことです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている回線に送られます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードとオンラインコマンドモードに切り替えるには、以下の2つの方法があります。

・「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。
・「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。

●オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替える場合は、「ATO↵」と入力します。

※USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

■設定の保存について

AT+CGDCONTコマンドによる接続先（APN）設定、AT+CGEQMIN/AT+CGEQREQコマンドによるQoS設定、AT＊DGAPL/AT＊DGARL/AT＊DGANSMコマンドによる着信許可・拒否設定、AT＊DGPIRコマンドによるパケット通信の番号通知・非通知の設定、およびAT+CLIRコマンドによる発番号通知制限の設定を除き、ATコマンドによる設定は、FOMA端末の電源OFF・ONまたは外部機器の取り外し時に初期化されてしまいますのでご注意ください。なお、[&W]が付いているコマンドについては、設定後に「AT&W↵」と入力することにより設定を保存できます。このとき、[&W]が付いている他の設定値も同時に保存されます。これらの値は、電源OFF・ON後であっても、「ATZ↵」と入力することにより、設定値を復元できます。

ATコマンド一覧

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
A/ [M]	直前に実行したコマンドを再実行します。またキャリッジリターンは不要です。	－	A/ OK
AT%V [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT%V Ver1.00 OK
AT&Cn [M] [&F][&W]	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	n=0：　CDは常にON n=1：　CDは相手モデムのキャリアに応じて変化します。（初期値）	AT&C1 OK
AT&Dn [M] [&F][&W]	DTEから受け取る回路ER信号がオン／オフ遷移したときの動作を選択します。	n=0：　ERの状態を無視します。（常にONとみなします。） n=1：　ERがONからOFFに変化すると、オンラインコマンド状態になります。 n=2：　ERがONからOFFに変化すると、オフラインコマンド状態になります。（初期値）	AT&D1 OK
AT&En [M] [&F][&W]	接続時の速度表示の仕様を選択します。	n=0：　無線区間通信速度を表示します。 n=1：　DTEシリアル通信速度を表示します。（初期値）	AT&E0 OK
AT&Fn [AT][M]	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	－
AT&Sn [M] [&F][&W]	DTEへ出力するデータセットレディ信号の制御を設定します。	n=0：　DRは常にON（初期値） n=1：　DRは回線接続時（通信呼確立時）にONとなります。	AT&S0 OK
AT&Wn [M]	現在の設定値を記憶します。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	－
AT＊DANTE [AT][M]	アンテナの本数を表示します。（0～3）	0：　FOMA端末のアンテナが圏外 1：　FOMA端末のアンテナが0本または1本 2：　FOMA端末のアンテナが2本 3：　FOMA端末のアンテナが3本	AT＊DANTE ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE=? ＊DANTE:(0-3) OK
AT＊DGANSM=n [M]	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。 本コマンドによる設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼に対し有効となります。	n=0：　着信拒否設定および着信許可設定を無効にします。（初期値） n=1：　着信拒否設定（AT＊DGARL）を有効にします。 n=2：　着信許可設定（AT＊DGAPL）を有効にします。 AT＊DGANSM?：現在の設定を表示します。	AT＊DGANSM=0 OK AT＊DGANSM? ＊DGANSM:0 OK
AT＊DGAPL=n [,cid] [M]	パケット着信呼に対して着信許可を行うAPNを設定します。 APNの設定は、AT+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	n=0：　<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加します。 n=1：　<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除します。 <cid>が省略された場合には、すべてのcidに適用します。 AT＊DGAPL?：着信許可リストを表示します。	AT＊DGAPL=0,1 OK AT＊DGAPL? ＊DGAPL:1 OK AT＊DGAPL=1 OK AT＊DGAPL? OK
AT＊DGARL=n [,cid] [M]	パケット着信呼に対して着信拒否を行うAPNを設定します。 APN設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	n=0：　<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加します。 n=1：　<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストから削除します。 cidが省略された場合には、すべてのcidに適用します。 AT＊DGARL?：着信拒否リストを表示します。	AT＊DGARL=0,1 OK AT＊DGARL? ＊DGARL:1 OK AT＊DGARL=1 OK AT＊DGARL? OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT＊DGPIR=n [M]	本コマンドの設定は、発信時、着信時に有効となります。 ダイヤルアップネットワークでの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます。（P.25参照）	n=0：　APNをそのまま使用します。（初期値） n=1：　APNに"184"を付加して使用します。（常に非通知） n=2：　APNに"186"を付加して使用します。（常に通知） AT＊DGPIR?：現在の設定を表示します。	AT＊DGPIR=0 OK AT＊DGPIR? ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW [AT][M]	受信電力指標を表示します。（0：最小値～75：最大値）	－	AT＊DRPW ＊DRPW:0 OK
+++ [M]	オンライン状態のとき、エスケープシーケンスが実行されると回線を切断することなくオンラインコマンド状態に移行します。	－	－
AT+CAOC [M]	現在もしくは直前呼の課金情報を表示します。	リザルト：+CAOC:"n" n：課金情報を16進数で表示します。	AT+CAOC +CAOC:"00001E" OK
AT+CBC [M]	バッテリー状態を表示します。	リザルト：+CBC:n,m n=0　：FOMA端末が充電池により動作している状態。 n=1　：充電中状態。 n=2　：充電池が取り外されている状態。 n=3　：電源供給に問題がある状態。 m=0～100：電池残量	AT+CBC +CBC:0,80 OK
AT+CBST=n,1,0 [M] [&W][&F]	利用するベアラサービスの設定を行います。	n=116：64000 bps (bit transparent)（初期値） n=134：64000 bps (multimedia)	AT+CBST=116,1,0 OK AT+CBST? +CBST:116,1,0 OK
AT+CDIP=n [M][AT] [&F][&W]	着信時に着サブアドレスをパソコンに表示するかどうかの設定をします。	n=0 ：着信時に着サブアドレスを表示しません。（初期値） n=1 ：着信時に着サブアドレスを表示します。 リザルト：+CDIP：<n>,<m> m=0：マルチナンバー未契約 m=1：マルチナンバー契約中 m=2：不明	AT+CDIP=0 OK AT+CDIP? +CDIP:0,1 OK
AT+CEER [AT][M]	直前の呼の切断理由を表示します。	<report> 切断理由一覧（P.46参照）	AT+CEER +CEER:36 OK
AT+CGDCONT [M]	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	P.44参照。	P.44参照。
AT+CGEQMIN [M]	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。	AT+CGEQMIN=［パラメータ］ P.45参照。 AT+CGEQMIN=? 設定可能な値のリストを表示します。 AT+CGEQMIN? 現在の設定を表示します。	P.45参照。
AT+CGEQREQ [M]	パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	AT+CGEQREQ=［パラメータ］ P.45参照。 AT+CGEQREQ=? 設定可能な値のリストを表示します。 AT+CGEQREQ? 現在の設定を表示します。	P.45参照。
AT+CGMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+CGMR 123451234512345б OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CGREG=n [M] [&F][&W]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。応答される通知により圏内／圏外を表示します。	n=0：　通知なし。（初期値） n=1：　通知あり。圏内・圏外が切り替わったときに通知します。 （問い合わせ） AT+CGREG? +CGREG：<n>,<stat> n：設定値 stat： 0：パケット圏外 1：パケット圏内 4：不明 5：パケット圏内（ローミング中）	AT+CGREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CGREG? +CGREG:1,0 OK （圏外を意味している） （圏外から圏内に移動した場合） +CGREG：1
AT+CGSN [M]	FOMA端末の製造番号を表示します。	－	AT+CGSN 123456789012345 OK
AT+CLIP=n [AT][M] [&F][&W]	64Kデータ通信／テレビ電話着信時に相手の発信番号をパソコンに表示できます。	n=0：　通知しません。（初期値） n=1：　通知します。 リザルト：+CLIP：<n>,<m> m=0：発信時の相手に番号を通知しないNW設定 m=1：発信時の相手に番号を通知するNW設定 m=2：不明	AT+CLIP=0 OK AT+CLIP? +CLIP:0,1 OK
AT+CLIR=n [M]	64Kデータ通信／テレビ電話通信を発信するとき、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。	n=0：　CLIRサービスの契約に従い、発番通知されます（されません）。 n=1：　通話相手に番号発信しません。 n=2：　通話相手に番号発信します。（初期値） リザルト：+CLIR：<n>,<m> m=0：CLIRは起動していません。（常時通知） m=1：CLIRは起動しています。（常時非通知） m=2：不明 m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）	AT+CLIR=0 OK AT+CLIR? +CLIR:0,1 OK AT+CLIR=? +CLIR:(0-2) OK
AT+CMEE=n [M] [&F][&W]	FOMA端末のエラーレポートの有無の設定を行います。	n=0：　通常のERRORリザルトを用います。（初期値） n=1：　+CME ERROR: <err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用います。 n=2：　+CME ERROR: <err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用います。 AT+CMEE?：現在の設定を表示します。 右記はFOMA端末や接続に異常がある場合のコマンドの実行例です。 +CME ERRORリザルトコードは下記のとおりです。 1：　no connection to phone 10：　SIM not inserted 15：　SIM wrong 16：　incorrect password 100：　unknown	AT+CMEE=0 OK AT+CNUM ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CNUM +CME ERROR：10 AT+CMEE=2 OK AT+CNUM +CME ERROR：SIM not inserted
AT+CNUM [AT][M]	FOMA端末の自局電話番号を表示します。	number：電話番号（2in1のモードがBモードの場合は、Bナンバーを表示します。） type　：129もしくは145 129: 国際アクセスコード+を含まない 145: 国際アクセスコード+を含む リザルト：+CNUM:,<number>,<type>	AT+CNUM +CNUM:,"+819012345678",145 OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+COPS=n,2,m [M]	接続する通信事業者を選択します。	n=0 ：オート（自動的にネットワークを検索して通信事業者を選択します。）（初期値） n=1 ：マニュアル（mに設定された通信事業者に接続します。） n=2 ：通信事業者との接続を解除（切断）します。 n=3 ：マッピングは行いません。 n=4 ：マニュアルオート（mに指定された通信事業者に接続できなかった場合に「オート」の処理を行います。） m ：国番号（MCC）と通信事業者番号（MNC）を16進数の値で表します。書式は以下の通りです。 Digit 1 of MCC･･･octet 1 bits 1 to 4. Digit 2 of MCC･･･octet 1 bits 5 to 8. Digit 3 of MCC･･･octet 2 bits 1 to 4. Digit 3 of MNC･･･octet 2 bits 5 to 8. Digit 2 of MNC･･･octet 3 bits 5 to 8. Digit 1 of MNC･･･octet 3 bits 1 to 4.	AT+COPS=1,2,"44F001" OK
AT+CPAS [M]	FOMA端末へ制御信号を送出できるかを表示します。	リザルト：+CPAS：n n=0 ：FOMA端末に対し、制御信号の送受信が可能である。 n=1 ：FOMA端末に対し、制御信号の送受信が不可能である。 n=2 ：不明(制御信号の送受信は保証されない) n=3 ：FOMA端末に対し、制御信号の送受信が可能であり、かつ着信中である。 n=4 ：FOMA端末に対し、制御信号の送受信が可能であり、かつ通信中である。	AT+CPAS +CPAS:0 OK
AT+CPIN=n,m [M][AT]	UIMに関するパスワード(PIN1/PIN2)の入力を行います。	UIMがPIN1/PIN2入力待ち状態の時 n ：PIN1/PIN2 UIMがPIN1/PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち状態の時 n ：PINロック解除コード m：新しいPIN1/PIN2 AT+CPIN? ：現在のSIMに関して要求されているコード入力の状態を表示します。 リザルト：+CPIN：<state> <state>=READY ：コード入力要求なし <state>=SIM PIN ：PIN1コード入力待ち <state>=SIM PIN2 ：PIN2コード入力待ち <state>=SIM PUK ：PIN1ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち <state>=SIM PUK2 ：PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち	AT+CPIN="1234" OK AT+CPIN="12345678","1234" OK AT+CPIN? +CPIN:SIM PIN OK
AT+CR=n [M] [&F][&W]	回線接続時にCONNECTのリザルトコードを表示する前に、ベアラサービス種別を表示します。	n=0： 表示しません。（初期値） n=1： 表示します。 <serv>： パケット通信を意味する"GPRS"のみ表示します。（回線種別により"SYNC"、"AV64K"を表示します。） AT+CR?：現在の設定値を表示します。	AT+CR=1 OK ATD＊99＊＊＊1# +CR：GPRS CONNECT
AT+CRC=n [AT][M] [&F][&W]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	n=0： +CRINGを使用しません。（初期値） n=1： +CRING.<type>を使用します。 AT+CRC?で現在の設定を表示します。 +CRINGの書式は次のとおりです。 +CRING：<type> PPPパケット呼着信時 +CRING：GPRS "PPP",,,<APN>	AT+CRC=0 OK AT+CRC? +CRC：0 OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CREG=n [AT][M] [&F][&W]	圏内・圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します。	n=0：　通知なし。（初期値） n=1：　通知あり。圏内・圏外が切り替わったときに通知します。 （問い合わせ） AT+CREG? +CREG：<n>,<stat> n：　設定値 stat： 0：　音声圏外 1：　音声圏内 4：　不明 5：　音声圏内（ローミング中）	AT+CREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CREG? +CREG：1,0 OK (圏外を意味している） （圏外から圏内に移動した場合） +CREG：1
AT+CUSD=n,"<str>",0 [M] [&F][&W]	ネットワークに対して、付加サービスの設定や問い合わせを行います。	n=0 ：中間リザルトを表示しません。（初期値） n=1 ：中間リザルトを表示します。 <str>：サービスコード 中間リザルト：m,"<str>",0 m=0：設定完了を示します。 m=1 ：ネットワークからさらに情報が要求されていることを示します。	AT+CUSD=0, OK AT+CUSD=1,"*148*1*0000#",0 +CUSD:0,"148*7#",0 OK
AT+FCLASS=n [M] [&F][&W]	FOMA端末に通信種別を設定します。	n=0：データ通信（初期値）	AT+FCLASS=0 OK
AT+GCAP [M]	FOMA端末がサポートするATコマンドのリストを表示します。	リザルト +GCAP：n n=+CGSM　：GSMコマンドの一部または全部をサポートします。 n=+FCLASS：+FCLASSコマンドをサポートします。 n=+W　　：+Wコマンドをサポートします。	AT+GCAP +GCAP:+CGSM,+FCLASS,+W OK
AT+GMI [M]	メーカ名（Panasonic）を表示します。	−	AT+GMI Panasonic OK
AT+GMM [M]	FOMA端末の製品名（FOMA P-05C）を表示します。	−	AT+GMM FOMA P05C OK
AT+GMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT+GMR Ver1.00 OK
AT+IFC=n,m [M] [&F][&W]	フロー制御方式の選択を行います。	n：　DCE by DTE m：　DTE by DCE 0：フロー制御なし 1：XON／XOFFフロー制御 2：RS／CS(RTS/CTS)フロー制御 初期値はn,m=2,2 AT+IFC?で設定値を問い合わせます。	AT+IFC=2,2 OK
AT+WS46=n [M]	FOMA端末の無線通信網を選択します。	FOMA端末では本コマンドによる無線通信網の選択は行わないため、モード設定に対してはERRORを応答します。 n=12：GSM/GPRS n=22：W-CDMA（Wideband CDMA） n=25：自動選択	AT+WS46=22 ERROR AT+WS46? 25 OK
ATA [AT][M]	FOMA端末が着信したモードに従って着信処理を行います。	−	RING ATA CONNECT
ATD [AT][M]	FOMA端末に対してパラメータ、ダイヤルパラメータの指定に従って自動発信処理を行います。	<cid>：1〜10。+CGDCONTで設定したAPNを表します。cid1に発信する場合、「ATD＊99＊＊＊#」と省略できます。	ATD＊99＊＊＊1# CONNECT
ATEn [AT][M] [&F][&W]	コマンドモードにおいてDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	n=0：　エコーバックなし n=1：　エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATHn [AT][M]	FOMA端末に対してオンフック動作を行います。	n=0：　回線を切断します。（省略可）	（パケット通信中） +++ ATH NO CARRIER

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATIn [AT][M]	認識コードを表示します。	n=0：「NTT DoCoMo」を表示します。 n=1：製品名を表示します。（+GMMと同じ） n=2：FOMA端末のバージョンを表示します。（+GMRと同じ） n=3：ACMP情報要素を表示します。 n=4：FOMA端末で通信可能な機能の詳細を表示します。	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMA P05C OK
ATOn [M]	通信中にオンラインコマンドモードから、オンラインデータモードに戻ります。	n=0：オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。（省略可）	ATO CONNECT
ATQn [M] [&F][&W]	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	n=0：リザルトコードを表示します。（初期値） n=1：リザルトコードを表示しません。	ATQ0 OK ATQ1 (このとき、OKは応答されません。)
ATS0=n [M] [&F][&W]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	n=0：自動着信しません。（初期値） n=1～255：指定したリング回数で自動着信します。 （n≧10のとき、パケット（PPP）着信の場合は、自動着信せず約30秒で切断されます。） ATS0?で設定値を問い合わせます。	ATS0=0 OK ATS0? 000 OK
ATS2=n [M] [&F]	エスケープキャラクタの設定を行います。	n=43：初期値 n=127：エスケープ処理は無効。 ATS2?で設定値を問い合わせます。	ATS2=43 OK ATS2? 043 OK
ATS3=n [M] [&F]	キャリッジリターン（CR）キャラクタの設定を行います。	n=13：初期値（n=13のみ指定可） ATS3?で設定値を問い合わせます。	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=n [M] [&F]	ラインフィード（LF）キャラクタの設定を行います。	n=10：初期値（n=10のみ指定可） ATS4?で設定値を問い合わせます。	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK
ATS5=n [M] [&F]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	n=8：初期値（n=8のみ指定可） ATS5?で設定値を問い合わせます。	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATS30=n [M][&F]	不活動タイマ（分）を設定します。ユーザーデータの送受信がないと、設定した時間以上で切断します。本コマンドの設定は、64Kデータ通信に限ります。設定が0の場合、不活動タイマOFFとなります。	n=0～255（初期値は0）（単位：分）	ATS30=0 OK
ATS103=n [M][&F]	着サブアドレスの区切りのキャラクタを選択します。	n=0：＊（アスタリスク） n=1：／（スラッシュ）（初期値） n=2：￥またはバックスラッシュ	ATS103=0 OK
ATS104=n [M][&F]	発サブアドレスの区切りのキャラクタを選択します。	n=0：＃（シャープ） n=1：%（パーセント）（初期値） n=2：&（アンド）	ATS104=0 OK
ATVn [M] [&F][&W]	すべてのリザルトコードを数字表記または英文字表記に設定します。	n=0：リザルトコードを数値で返送します。 n=1：リザルトコードを文字で返送します。（初期値）	ATV1 OK
ATXn [M] [&F][&W]	接続時のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。 また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。	n=0：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示なし。 n=1：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示あり。 n=2：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出なし、速度表示あり。 n=3：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出あり、速度表示あり。 n=4：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出あり、速度表示あり。（初期値）	ATX1 OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATZn [M]	設定を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	（オンライン時） ATZ NO CARRIER （オフライン時） ATZ OK
AT¥Sn [M]	現在設定されている各コマンド、Sレジスタの内容を表示します。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	AT¥S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=000 S104=000 OK
AT¥Vn [M] [&F][&W]	接続時の応答コード仕様の選択を行います。	n=0： 拡張リザルトコードを使用しません。（初期値） n=1： 拡張リザルトコードを使用します。	AT¥V0 OK

※以下のコマンドは、エラーにはなりませんがコマンドの動作はしません。
・AT（ATのみの入力）
・ATP（パルス設定）
・ATS8（カンマダイヤルによるポーズ時間設定）
・ATT（トーン設定）
・ATS6（ダイヤルするまでのポーズ時間設定）
・ATS10（自動切断遅延時間設定）

ATコマンドの補足説明

●コマンド名：　　+CGDCONT=[パラメータ]　　[M]
・概要
パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
・書式
+CGDCONT=[<cid>[,"<PDP_type>"[,"<APN>"]]]
・パラメータ説明
パケット発信時の接続先（APN）を設定します。設定例は以下のコマンド実行例を参照してください。
<cid>※　　：1～10
<PDP_type>：PPPまたはIP
<APN>※　：任意
※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
FOMA端末では1～10が登録できます。お買い上げ時、<cid>=1にはmopera.ne.jp(PPP)が、<cid>=2にはmopera.net(PPP)が、<cid>=3にはmopera.net(IP)が、<cid>=4にはmpr.ex-pkt.net(PPP)が初期値として登録されていますので、cidは5～10に設定します。
<APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。
・パラメータを省略した場合の動作
+CGDCONT=　　：すべての<cid>に対し初期値を設定します
+CGDCONT=<cid>　：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGDCONT=?　　：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGDCONT?　　：現在の設定を表示します。
・コマンド実行例
AT+CGDCONT=5,"PPP","abc"
OK
※abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cidが5の場合）
※本コマンドは設定コマンドですが、＆Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。＆F、Zによるリセットも行われません。

●コマンド名：　+CGEQMIN=[パラメータ]　[M]

・概要

パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている4パターンが設定できます。

・書式

+CGEQMIN=[<cid>[,,<Maximum bitrate UL>[,<Maximum bitrate DL>]]]

・パラメータ説明

<cid>※　：1～10
<Maximum bitrate UL>※　：なし（初期値）、2048
<Maximum bitrate DL>※　：なし（初期値）、7232

※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
<Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最大通信速度[kbps]の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、2048および7232を設定した場合はこれらの値未満での速度の接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGEQMIN=　：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQMIN=<cid>　：指定された<cid>を初期値に設定します。

・コマンド実行例

以下の4パターンのみ設定できます。((1)の設定が各cidに初期値として設定されています。)

(1)上り/下りすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが5の場合）
AT+CGEQMIN=5
OK

(2)上り2048kbps/下り7232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが6の場合）
AT+CGEQMIN=6,,2048,7232
OK

(3)上り2048kbps/下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが7の場合）
AT+CGEQMIN=7,,2048
OK

(4)上りすべての速度/下り7232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが8の場合）
AT+CGEQMIN=8,,,7232
OK

※本コマンドは設定コマンドですが、＆Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。＆F、Zによるリセットも行われません。

●コマンド名：　+CGEQREQ=[パラメータ]　[M]

・概要

パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている1パターンのみで初期値としても設定されています。

・書式

+CGEQREQ=[<cid>]

・パラメータ説明

<cid>※：1～10

※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGEQREQ=　：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQREQ=<cid>　：指定された<cid>を初期値に設定します。

・コマンド実行例

以下の1パターンのみ設定できます。
（各cidに初期値として設定されています。）

(1)NWが設定する任意の速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが5の場合）
AT+CGEQREQ=5
OK

※本コマンドは設定コマンドですが、＆Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。＆F、Zによるリセットも行われません。

●コマンド名：　+CLIP

・概要

"AT+CLIP=1"の場合のリザルトが下記の書式で表示されます。
+CLIP：<number><type>

・コマンド実行例

AT+CLIP=1
OK
RING
+CLIP："09012345678",49

切断理由一覧

■64Kデータ通信

値	理由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手が呼び出し中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、もしくは着信を受けました。

■パケット通信

値	理由
27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークより切断されました。
33	要求したサービスオプションは申し込まれていません。
36	正常に切断されました。

リザルトコード

■リザルトコード一覧

数字表示	文字表示	意味
0	OK	正常に実行しました
1	CONNECT	相手と接続しました
2	RING	着信が来ています
3	NO CARRIER	回線が切断されました
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません
7	BUSY	話中音の検出中です
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です
101	DELAYED	リダイヤル規制時間内

■拡張リザルトコード

&E0のとき
FOMA端末－基地局間の接続速度を表示します。

数字表示	文字表示	接続速度
121	CONNECT 32000	32000bps
122	CONNECT 64000	64000bps
125	CONNECT 384000	384000bps
133	CONNECT 3648000	3648000bps
135	CONNECT 7232000	7232000bps

&E1のとき

数字表示	文字表示	接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

お知らせ

- ATVnコマンド(P.43参照)がn=1に設定されている場合には文字表示形式(初期値)、n=0に設定されている場合には数字表示形式でリザルトコードが表示されます。
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)やBluetooth通信で接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- 「RESTRICTION」(数字表示:100)が表示された場合には、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

■通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続
3	AV64K	テレビ電話64Kで接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■リザルトコード表示例

- ATX0が設定されている場合
  AT¥Vコマンド（P.44参照）の設定に関わらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。
  文字表示例：　ATD＊99＊＊＊1#
  　　　　　　　CONNECT
  数字表示例：　ATD＊99＊＊＊1#
  　　　　　　　1
- ATX1が設定されている場合※1
  ・ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）
  接続完了のときに、CONNECT＜FOMA端末－PC間の速度＞の書式で表示します。
  文字表示例：　ATD＊99＊＊＊1#
  　　　　　　　CONNECT 460800
  数字表示例：　ATD＊99＊＊＊1#
  　　　　　　　1 21
  ・ATX1、AT¥V1が設定されている場合※1
  接続完了のときに、以下の書式で表示します。
  CONNECT＜FOMA端末－PC間の速度＞PACKET＜接続先APN＞/＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞/＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞※2
  文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
  　　　　　　CONNECT 460800 PACKET
  　　　　　　mopera.ne.jp /2048/7232
  数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
  　　　　　　1215
  ※1 ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。
  　AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。
  ※2 無線基地局から通知された最高速度を表示するものであり、実際の速度を保証するものではありません。

区点コード一覧

＜区点コード一覧表の見かた＞

最初に「区点1～3桁目」の数字を入力してから、次に「区点4桁目」の数字を入力します。

●区点コード一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
	【		あ		】					
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	【		い		】					
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	【		う		】					
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	【		え		】					
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	【		お		】					
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	【		か		】					
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	【		き		】					
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	【		く		】					
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	【		け		】					
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	【		こ		】					
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	【		さ		】					
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	【		し		】					
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	【		す		】					
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	【		せ		】					
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	【		そ		】					
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	【		た		】					
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	【		ち		】					
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	【		つ		】					
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	【		て		】					
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	【		と		】					
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	【		な		】					
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	【		に		】					
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	【		ぬ		】					
390									濡	
	【		ね		】					
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
	【		の		】					
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	【		は		】					
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	【		ひ		】					
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	【		ふ		】					
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	【		へ		】					
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	【		ほ		】					
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	【		ま		】					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	【		み		】					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	【		む		】					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	【		め		】					
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	【		も		】					
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	【		や		】					
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	【		ゆ		】					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	【		よ		】					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	【		ら		】					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	【		り		】					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	【		る		】					
466	瑠	塁	涙	累	類					
	【		れ		】					
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	【		ろ		】					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	【		わ		】					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

'11.6(第1版)
F0511-1